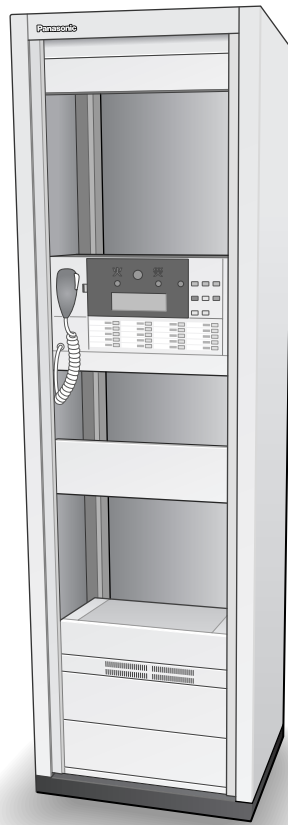


Panasonic[®]

工事説明書 書き込み編

ラック形非常用放送設備

品番 WL-8000/WL-8500



※イラストはWL-8500です。

このたびは、ラック形非常用放送設備 WL-8000/WL-8500シリーズをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 工事の前に、この工事説明書「書き込み編」と別冊の設置工事編・取扱説明書をあわせてよくお読みください。
- この工事説明書「書き込み編」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 運用開始後の非常放送設定の変更は、所轄消防署の確認が必要です。

はじめに

本書について

本機の工事説明書は、本書と設置工事編の2部構成になっています。
本書は放送機能を非常操作ユニット（WK-ER500）の液晶画面と、本機のマイクドア内のスイッチ操作で設定する方法について説明します。
本機の設置のしかたについては、工事説明書 設定工事編をお読みください。

本書の構成

本書は、次の内容で構成されています。

- ・ 導入編
- ・ 設定編

登録商標・商標について

- ・ CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は、米国SanDisk社の商標です。
- ・ SDロゴは商標です。
- ・ そのほか、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本商品に関して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本製品の破損など。
- ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われたことによる損害・被害。
- ④本商品の故障・不具合以外の何らかの理由または原因により、映像が表示などできないことによる不便・損害・被害。
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、またはその結果被る不便・損害・被害。

用語について

本書で使用する用語について説明します。

- ・ PCカード
PC Card Standard タイプIIに準拠したカードです。ここでは、コンパクトフラッシュ（別売品）にPCカードアダプターを装着したもの、またはSDメモリーカード（別売品）にPCカードアダプターを装着したものを使用します。

記号のみかた



：該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



：使用上のヒントが書かれています。

PCカードについて

- ・設定データ、内蔵音源データ、増設階情報データ、動作履歴は、PCカードを使用し、非常操作ユニット（WK-ER500）と設定支援ソフトの間をデータのやり取りを行います。



必要なPCカードの空き容量の目安は以下のとおりです。

- ・設定データ ————— 900 Kbyte
- ・内蔵音源データ ————— 7.2 Mbyte
- ・増設階情報データ ————— 16 Mbyte
- ・動作履歴 ————— 500 Kbyte

- ・動作確認済みPCカードは次のとおりです。

1) SDメモリーカード装着済みPCカード

動作確認済みSDメモリーカードはパナソニック株式会社製です（64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB）。

※miniSDカード、microSDカードおよびSDHCメモリーカードには、対応しておりません。

2) コンパクトフラッシュ装着済みPCカード

動作確認済みコンパクトフラッシュ、PCカードアダプターは販売店（工事店）または販売会社にお問い合わせください。

- ・PCカード内フォルダー構成には制限があります。

PCカードのドライブ直下に置くファイル数（フォルダー数含む）は、35以下にしてください。

36以上の場合、ファイルを認識できないことがあります。その場合、使用しないファイルをフォルダーに移動し、ファイル数（フォルダー数）を35以下にします。

もくじ

はじめに

本書について	2
本書の構成	2
登録商標・商標について	2
免責について	2
用語について	2
記号のみかた	2
もくじ	4

導入編

書き込みとは	5
書き込み作業の流れ	10
画面操作	19
書き込みに使用するキー・スイッチ	19
操作方法	20
画面の流れ	24
書き込み設定画面	24
設定項目一覧	48

設定編

設定編について	57
設定表の作成	58
出火階・連動階設定表（作成例）	62
入出力設定表（作成例）	63
書き込み作業	65
書き込み作業の開始と終了	65
システム構成登録	71
非常放送設定	89
緊急放送設定	101
入出力設定	110
スピーカー回線登録	132
その他の設定	133
動作履歴	146
高度な設定	151
注意喚起画面一覧	175
設定表	176
非常用放送設備（出火階・連動階設定表）	176
非常用放送設備（入出力設定表）	177

書き込みとは

本機は、建物の規模や放送の目的によって、多様化する放送機能を「書き込み」によって設定できます。書き込みにより作成されたデータを「システム設定データ」と呼びます。

書き込みの操作は、非常操作ユニット（WK-ER500）の液晶画面とマイクドア内のスイッチで行います。また、あらかじめ設定支援ソフトで作成したシステム設定データや音源データは、PCカードを使用して非常操作ユニットに書き込みができます。

書き込みには、以下の8項目あります。

1. システム構成 (→71ページ)

本機のシステム構成を確認・設定します。

機能	内容
初期化 (→72ページ)	<ul style="list-style-type: none">・システムを新規に構成した場合に実行します。・下記の機器の台数や、ディップスイッチ設定などのシステム構成情報を、非常操作ユニットの内蔵コンピューターが自動取得します。そのあと取得したシステム構成情報に適合するスイッチ、スピーカー回線情報などを自動で初期設定します。 増設用操作ユニット（WK-EX510/520、WR-EX510/520） 増設用出力制御ユニット（WU-ER551/552） 拡張制御ユニット（WU-EX590） 非常制御出力ユニット（WU-EM552） 入力マトリクスユニット（WU-MX544） 非常リモコン（WR-EC500） マルチリモコンマイク（WR-MC100A）など
更新 (→75ページ)	<ul style="list-style-type: none">・システム構成を変更した場合に実行します。・この設定でシステム構成情報を自動更新しますが、スイッチ、スピーカー回線情報などは更新されません。ユニットを追加した場合は、「確認／設定」で、手動で追加設定が必要です。
確認／設定 (→76ページ)	<ul style="list-style-type: none">・初期化または、更新で取得したシステム構成情報を確認します。・手動でのシステム構成情報を追加・修正します。

2. 非常放送 (→89ページ)

非常放送に必要な各種設定をします。

機能	内容	
階別信号スイッチ (→89ページ)	<ul style="list-style-type: none">・階別信号に対応する非常選択スイッチ番号と、音声警報の出火発生場所（出火階情報）を設定します。	
出火連動設定 (→92ページ)	<ul style="list-style-type: none">・出火階に対応する非常選択スイッチ番号と、それに連動する連動階の非常選択スイッチ番号を設定します。	
音声警報 (→94ページ)	発信機・手動起動設定	<ul style="list-style-type: none">・手動起動、発信機や非常電話による起動時の音声警報を設定します。
	発報連動	<ul style="list-style-type: none">・自動火災感知器からの起動時に発報放送を行うかの設定をします。
	感知器連動	<ul style="list-style-type: none">・自動火災感知器からの起動時に、全館に非常放送を行うか、または出火階・連動階に非常放送を行うかの設定をします。
	言語設定	<ul style="list-style-type: none">・音声警報を放送する言語を設定します。
	発報放送	<ul style="list-style-type: none">・発報放送が起動してからの発報放送の繰り返し回数と、繰り返し間隔を設定します。
	火災移行時間 (第1タイマー)	<ul style="list-style-type: none">・発報放送が起動してから、火災放送を自動的に放送するまでの時間を設定します。
	一斉火災移行時間 (第2タイマー)	<ul style="list-style-type: none">・火災放送が起動してから、全館に火災放送を自動的に放送するまでの時間を設定します。
手動連動	<ul style="list-style-type: none">・手動起動時の連動階への放送を設定します。	
汎用出力有無 (→100ページ)	<ul style="list-style-type: none">・非常放送時に汎用出力の使用の有無を設定します。	

書き込みとは

3. 緊急放送 (→101ページ)

緊急放送時に必要な各種設定します。

機能	内容
緊急放送スイッチ (→101ページ)	・ 緊急放送スイッチを押したときに放送する、放送エリアと放送する音声を設定します。
緊急外部制御入力 (→104ページ)	・ 緊急外部制御入力端子をメイクしたときに放送する放送エリアや放送する音声、優先順位を設定します。
EMG24V一斉 (→108ページ)	・ 緊急放送時にEMG24Vブレイク一斉端子の使用の有無を設定します。
汎用出力有無 (→108ページ)	・ 緊急放送時に汎用出力の使用の有無を設定します。
ライン2設定 (→109ページ)	・ 非常操作ユニット (WK-ER500) ライン2入力を、緊急専用にするか業務と兼用に するか設定します。

4. 入出力設定 (→110ページ)

各スイッチまたは接点が起動したときに、どの音声を、どのスピーカー回線から放送するか設定します。

機能	内容	
本体スイッチ (→111ページ)	非常選択スイッチ	・ 非常操作ユニット (WK-ER500)、非常リモコン (WR-EC500) 共通の非常放送、緊急放送、業務放送兼用の放送階 選択スイッチです。 ・ 各スイッチ起動で放送する放送エリアを設定します。
	業務選択スイッチ	・ 非常操作ユニット (WK-ER500)、非常リモコン (WR-EC500) 共通の業務放送専用のブロック選択スイッチです。 ・ 各スイッチ起動で放送する音声と放送エリアを設定します。
外部制御入力 (→115ページ)	・ 非常操作ユニット (WK-ER500) の業務放送での優先順位を設定します。	
外部制御入力 (→115ページ)	・ 外部からの起動によって、緊急放送または、業務放送を行うための入出力制御ユニ ット (WU-ER550) にある接点入力です。 ・ 各外部制御入力には、放送する音声、放送エリア、優先放送の設定をします。	
リモコンマイク (WR-201/205A/ 210A、WU-RM205) (→120ページ)	・ ブロック選択スイッチ、一斉放送スイッチにより、業務放送を行います。 ・ 各ブロック選択スイッチの放送エリア、優先放送を設定します。 ・ 一斉放送スイッチの優先放送の設定をします。 ・ リモコンマイク音声の接続先を設定します。 ・ 各設定は全リモコンマイクで共通です。	
マルチリモコンマイク (WR-MC100A) (→123ページ)	・ ブロック選択スイッチ、一斉放送スイッチにより、業務放送を行います。 ・ 各ブロックスイッチの放送エリア、優先順位を設定します。 ・ マルチリモコン個々の一斉スイッチの優先放送を設定をします。 ・ マルチリモコンマイク個々の音声の接続先を設定します。 ・ 各設定はマルチリモコンごとに行います。	
非常リモコン (WR-EC500) (→126ページ)	・ 各非常リモコンの業務放送での優先順位を設定します。 ・ 放送エリア、放送する音声は、本体スイッチで設定した情報と同じになります。	
チャイム起動 (→127ページ)	・ チャイム起動放送を行うための入出力制御ユニット (WU-ER550) にある接点です。 ・ チャイム起動放送の放送エリア、優先放送、優先順位を設定します。	
ページング起動 (→129ページ)	・ ページング起動放送を行うための入出力制御ユニット (WU-ER550) にある接点です。 ・ ページング起動放送の放送エリア、優先放送、優先順位を設定します。	
BGM起動 (→131ページ)	・ BGM起動放送を行うための入出力制御ユニット (WU-ER550) にある接点です。 ・ BGM起動放送の放送エリアを設定します。	

5. スピーカー回線登録 (多元システム時のみ) (→132ページ)

入力マトリクスユニット (WU-MX544) の各音声出力チャンネルに接続されているスピーカー回線番号を登録します。

6. その他の設定 (→133ページ)

状態出力、汎用出力の設定と、非常操作ユニット (WK-ER500) に保存する各種データを設定します。

機能	内容	
状態出力 (→134ページ)	<ul style="list-style-type: none"> 入出力制御ユニット (WU-ER550) にある汎用出力端子に、システムの運用状態に対応した状態出力が出力されます。 入出力制御ユニット (WU-ER550) の汎用出力端子を設定により (→82ページ) 状態出力に設定できます。 状態出力は、非常放送中、緊急放送中、業務放送中、発報放送中など、27種類の状態から複数を設定できます。 	
汎用出力 (→135ページ)	<ul style="list-style-type: none"> 入出力制御ユニット (WU-ER550) にある汎用出力端子に、スイッチ状態に対応した汎用出力が出力されます。 汎用出力は、非常選択スイッチ、業務選択スイッチ、緊急放送スイッチ、汎用出力スイッチ、外部制御入力起動、チャイム起動、ページング起動、BGM起動に対して複数設定できます。 	
PCカード (→136ページ)	設定データ	・システム設定データをPCカードへ読出／保存します。
	本体増設階情報	・非常用増設階情報音源データ (60音源以内) をPCカードへ読出／保存します。
	ボード増設階情報	・非常用増設階情報音源データ (61音源以上) をPCカードへ読出／保存します。
	内蔵音源	・業務／緊急放送で使用する内蔵音源データをPCカードへ読出／保存します。
最小構成設定 (→144ページ)	・非常操作ユニット (WK-ER500) に登録しているシステム設定データを最小構成状態に戻します。	
パスワード変更 (→145ページ)	・「書き込み」モードの入力パスワードを変更します。	

書き込みとは

基本システムを動作させるには、前述の項目1～6の設定が必要です。下記の2項目は、システムを拡張する場合または、本機に搭載された新しい機能を使用する場合に設定します。

7. 動作履歴 (→146ページ)

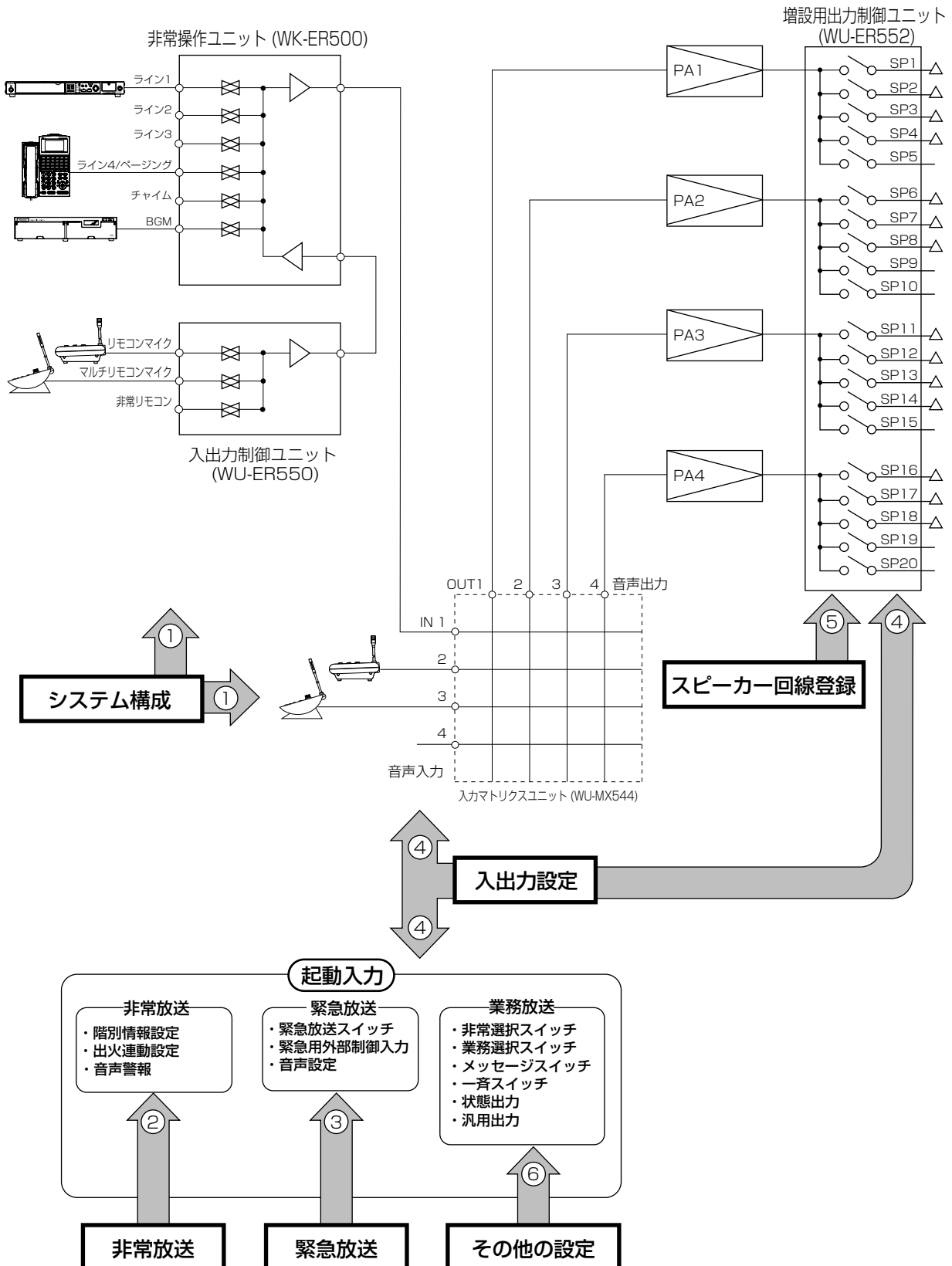
本機の動作履歴を液晶画面へ表示、PCカードへ保存します。また、動作履歴を消去できます。

8. 高度な設定 (→151ページ)

機能	内容	
拡張外部制御入力 (→152ページ)	・ 拡張制御ユニット (WU-EX590)、非常制御出力ユニット (WU-EM552) にある拡張外部制御入力端子を設定します。(システム構成設定で拡張制御ユニット/非常制御出力ユニットの入力端子機能を拡張外部制御入力に設定している場合)	
	業務放送用	・ 業務放送で使用する拡張外部制御入力ごとに、放送する音声、放送エリア、優先放送、優先順位を設定します。
	緊急放送用	・ 緊急放送で使用する拡張外部制御入力ごとに、放送する音声、放送エリア、優先順位を設定します。
グループ化 (外部制御グループ) (→159ページ)	・ 入出力制御ユニット (WU-ER550)、拡張制御ユニット (WU-EX590)、非常制御出力ユニット (WU-EM552) にある外部制御入力端子または、拡張外部制御入力端子 (システム構成設定で拡張制御ユニット/非常制御出力ユニットの入力端子機能を拡張外部制御入力に設定している場合) のグループ設定を行う。	
	グループ作成	・ 外部制御入力の放送エリアの加算機能を使う場合に設定します。放送エリアは各外部制御入力端子が持つ情報をそのまま使用します。放送する音声、優先順位はグループ単位で設定します。
	グループ解除	・ 外部制御のグループを解除します。
一斉スイッチ (→164ページ)	・ 非常リモコン (WR-EC500)、マルチリモコンマイク (WR-MC100A)、リモコンマイク (WR-210/205A/210Aなど) の一斉スイッチの放送エリアを設定します。	
拡張汎用出力 (→167ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拡張制御ユニット (WU-EX590) にある汎用出力端子に、スイッチ状態に対応した汎用出力が出力されます。 ・ 汎用出力は、非常選択スイッチ、業務選択スイッチ、緊急放送スイッチ、汎用出力スイッチ、外部制御入力、チャイム起動、ページング起動、BGM起動に対して複数設定できます。 	
メッセージスイッチ (→168ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 増設用操作ユニット (WK-EX520、WR-EX520) をシステム構成情報で音源/汎用スイッチに設定している場合にのみ設定できます。 ・ 各スイッチに内蔵音源と再生回数を設定します。 	
コールサイン (→169ページ)	・ 非常操作ユニット (WK-ER500)、非常リモコン (WR-EC500)、マルチリモコンマイク (WR-MC100A)、リモコンマイク (WR-201/205A/210A)、ページングのコールサインスイッチ個々に使用するコールサイン音源を設定します。	
EMG24V個別 (→174ページ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 非常制御出力ユニット (WU-EM552) 出力の非常放送、緊急放送時の動作を設定します。 ・ 対象スピーカー回線、緊急放送時の使用の有無を設定します。 	

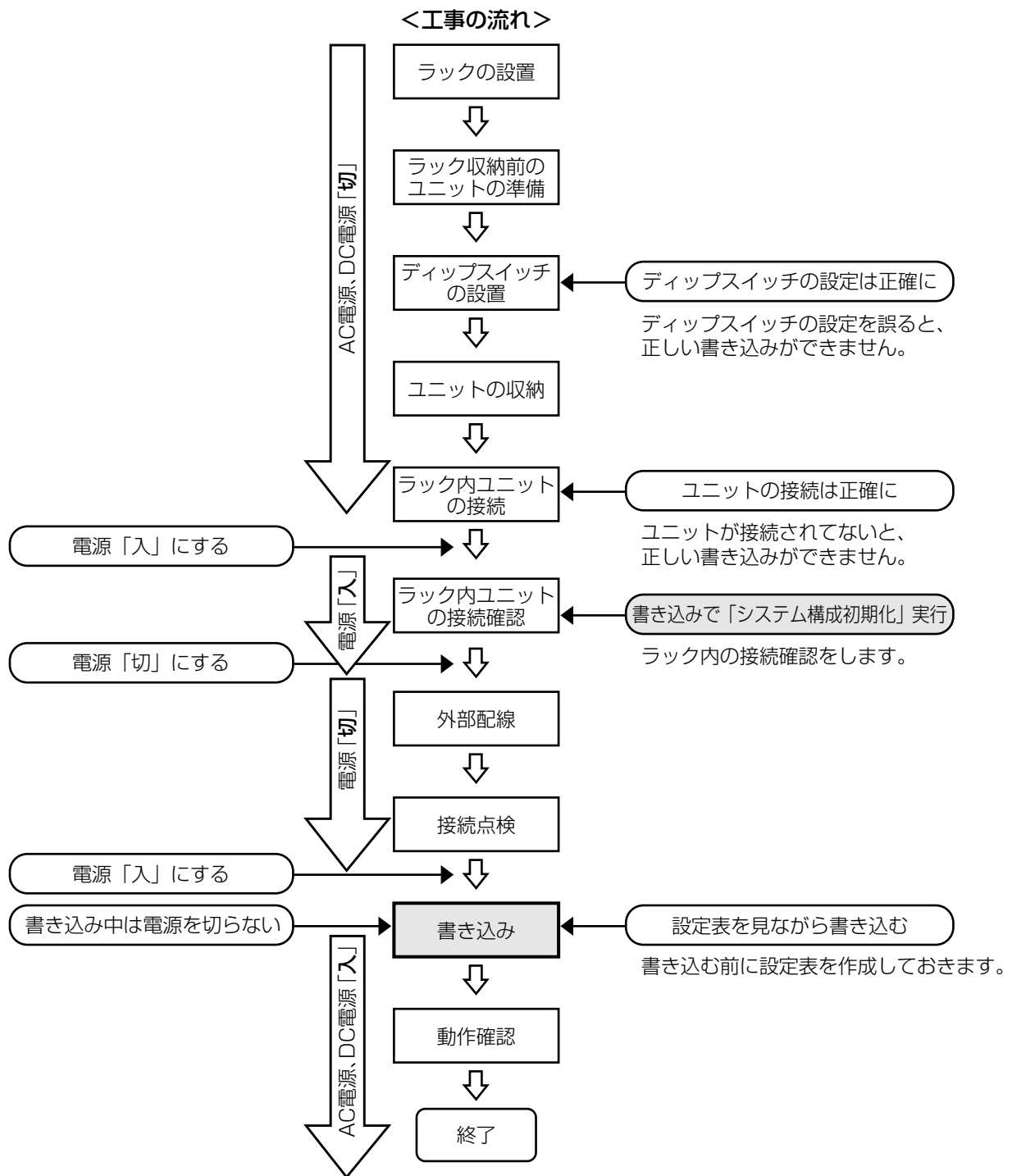
書き込み内容1～6項を、多元システム音声系統図の中に位置づけると下図のようになります。

書き込みと音声系統図の関係（多元システム時）



書き込み作業の流れ

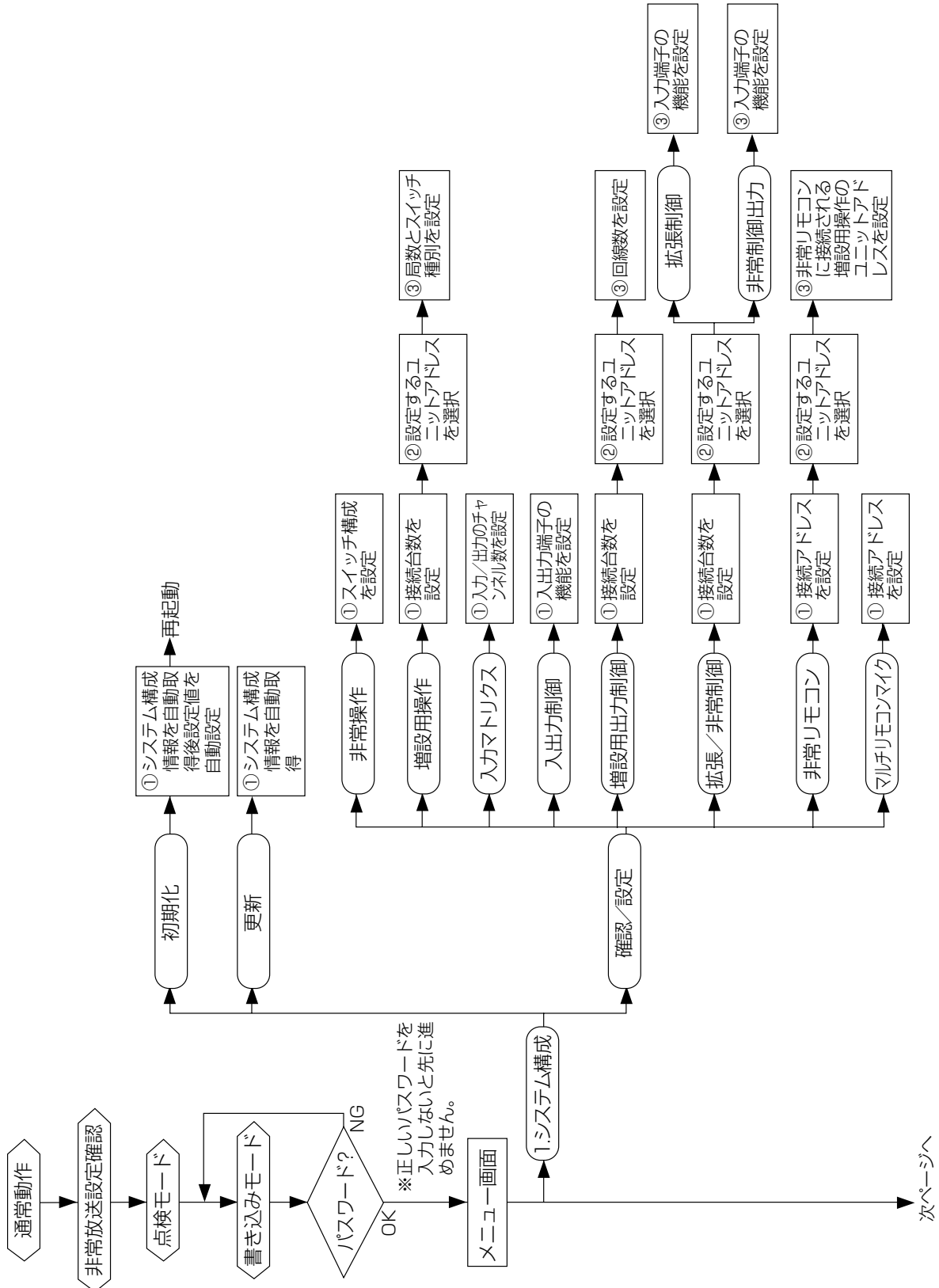
設置工事における書き込み作業の位置づけは、以下のようになります。

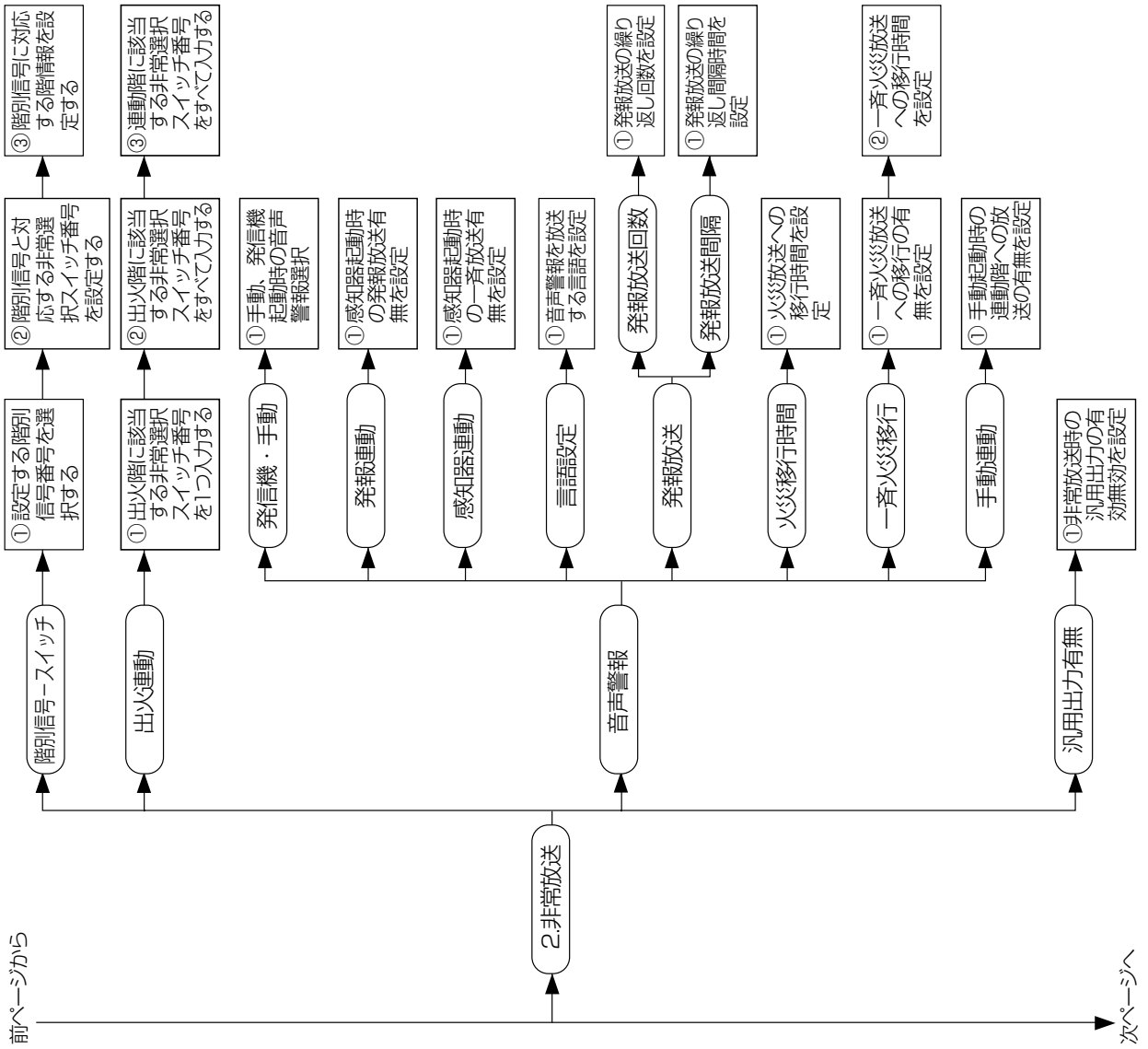


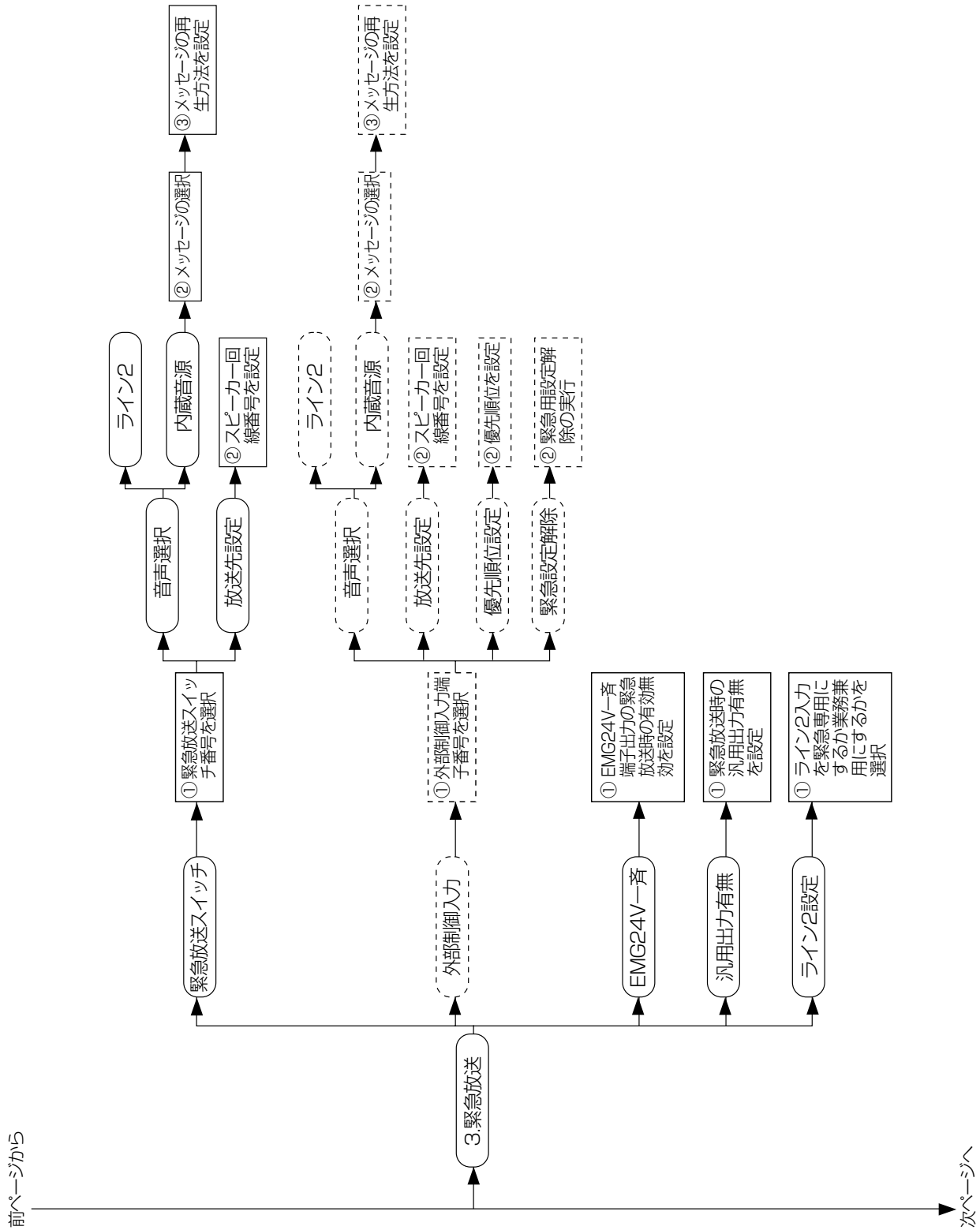
書き込み作業の流れ

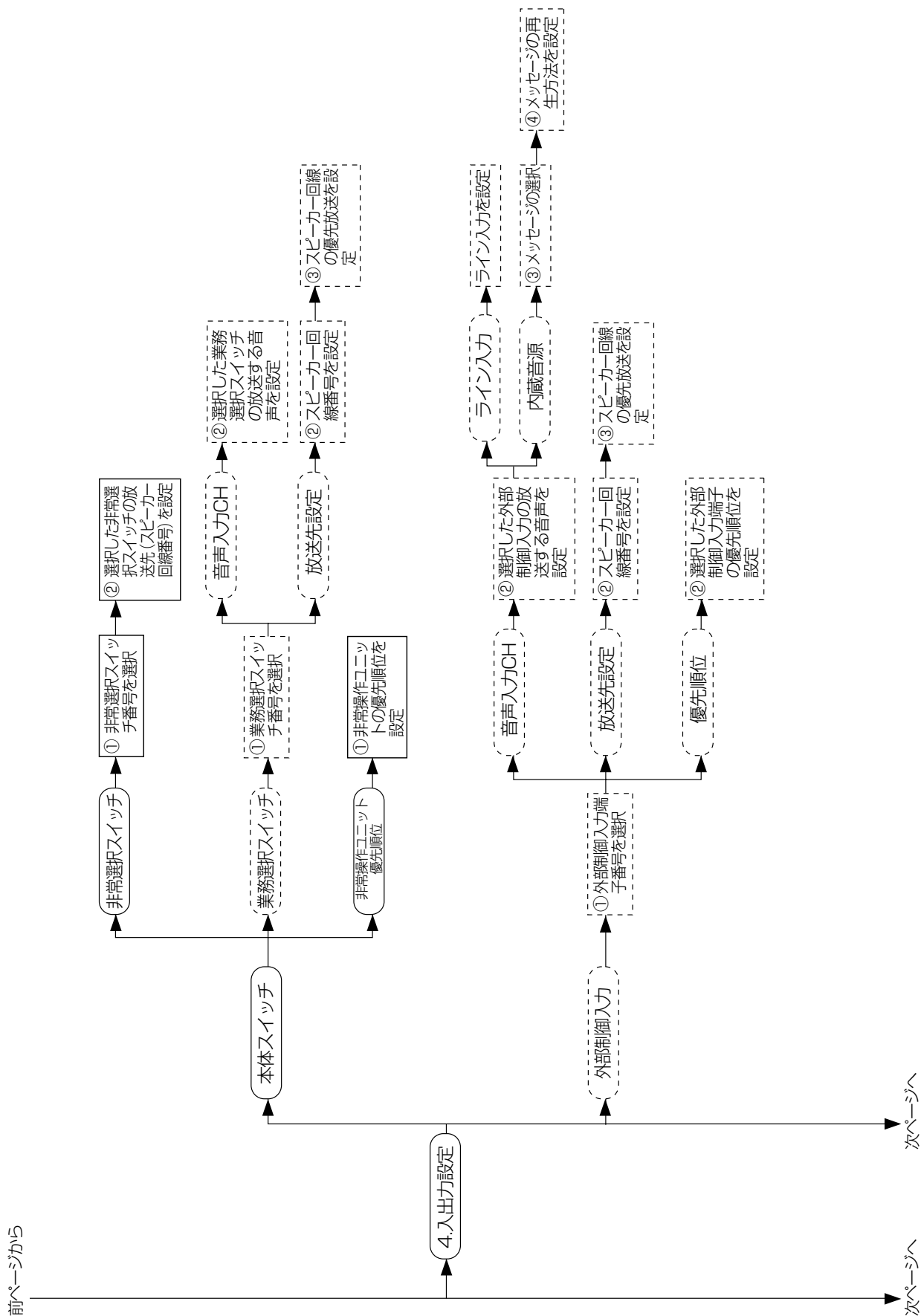
書き込み操作の流れは次のとおりです。

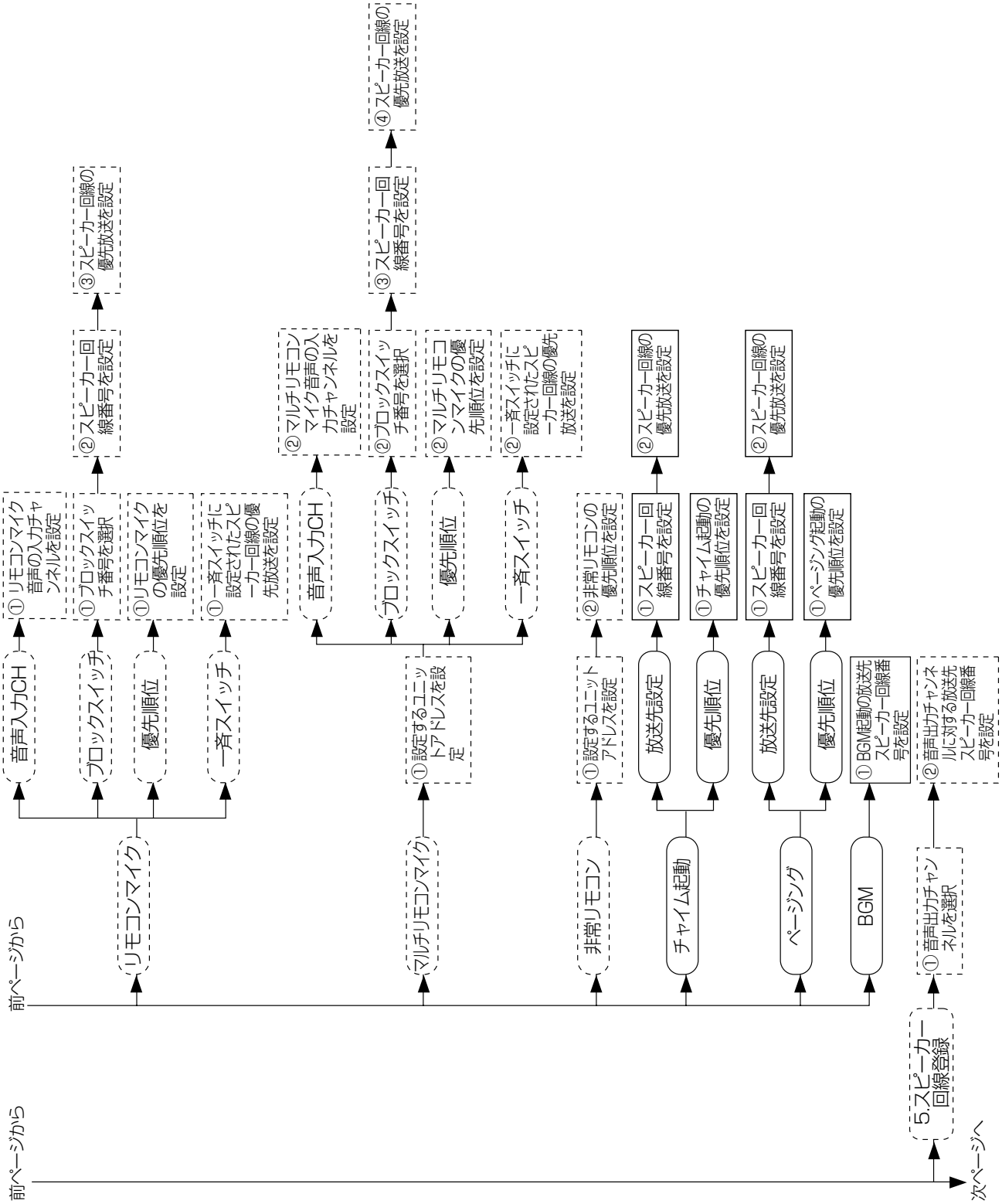
- 「1.システム構成」で未設定のユニットや機能は、液晶画面に表示されません。([] 表示か所)

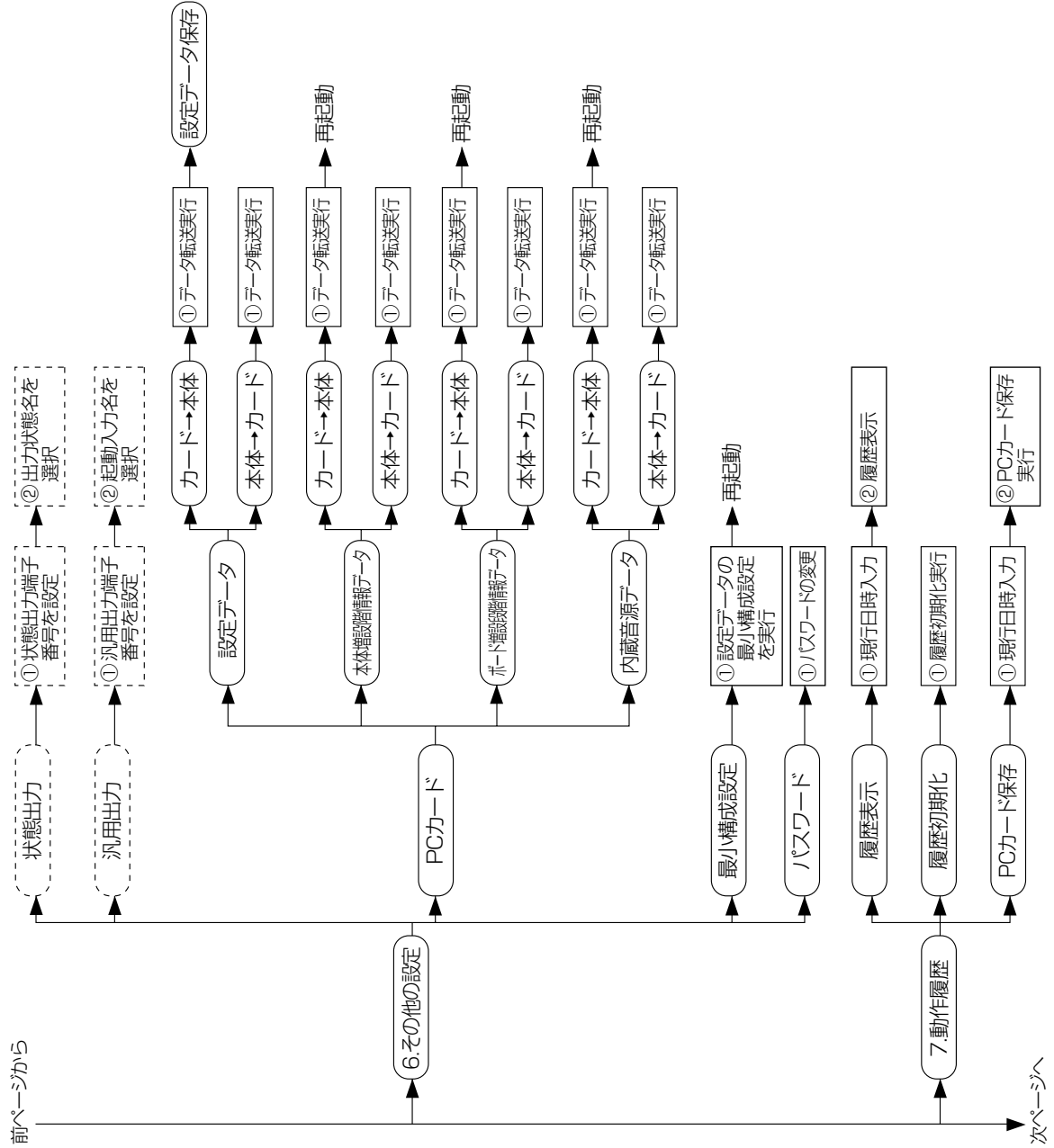


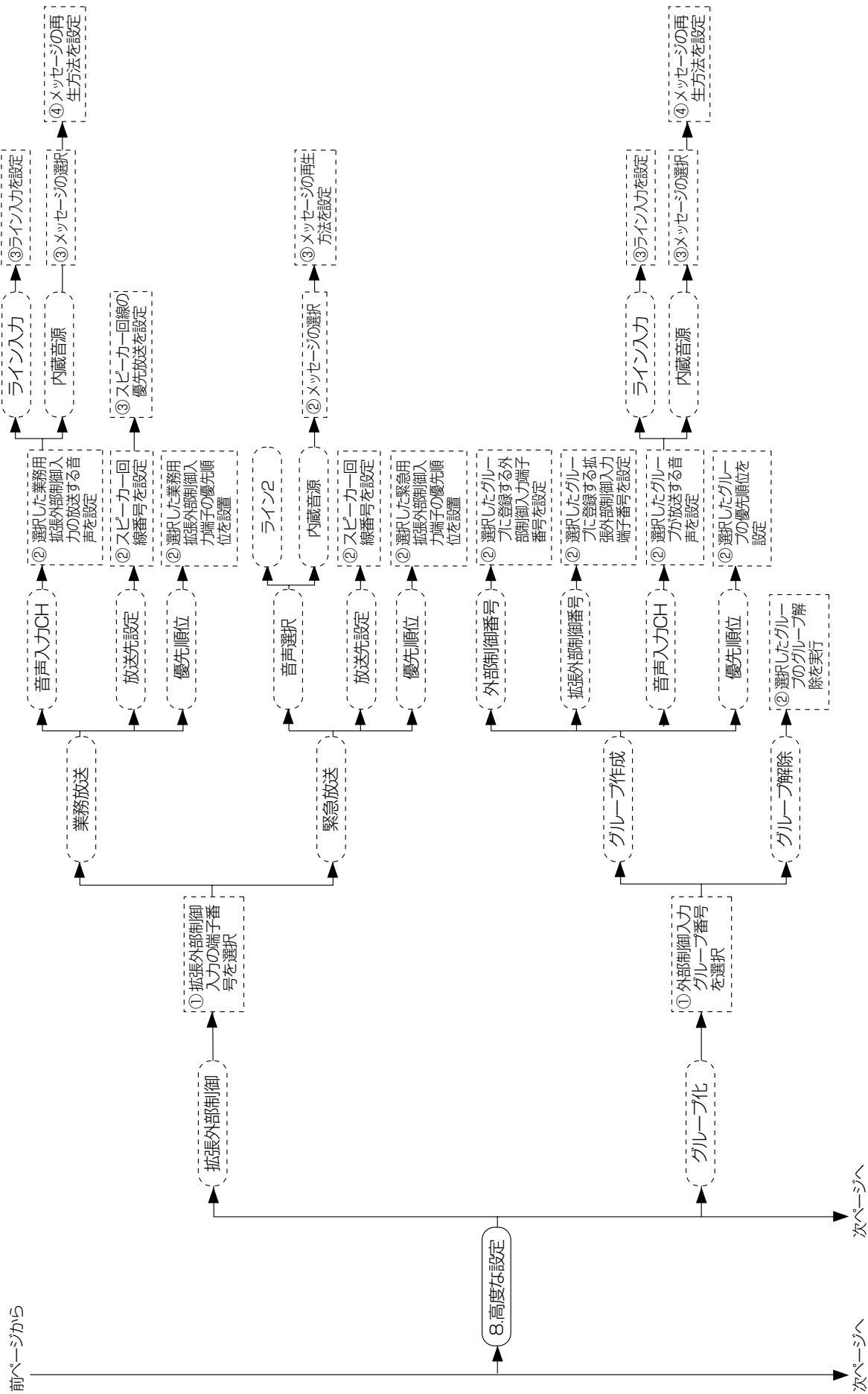


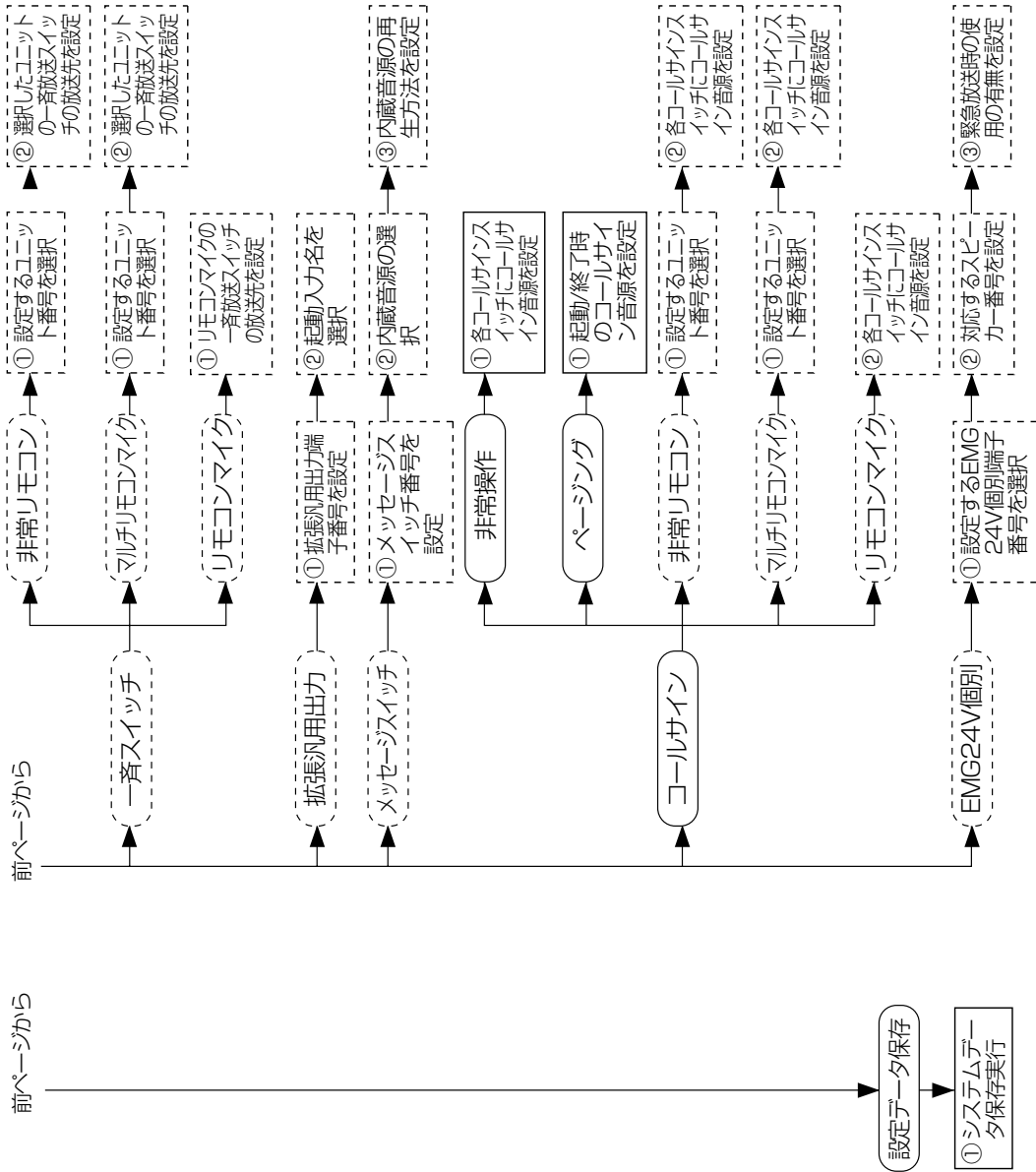










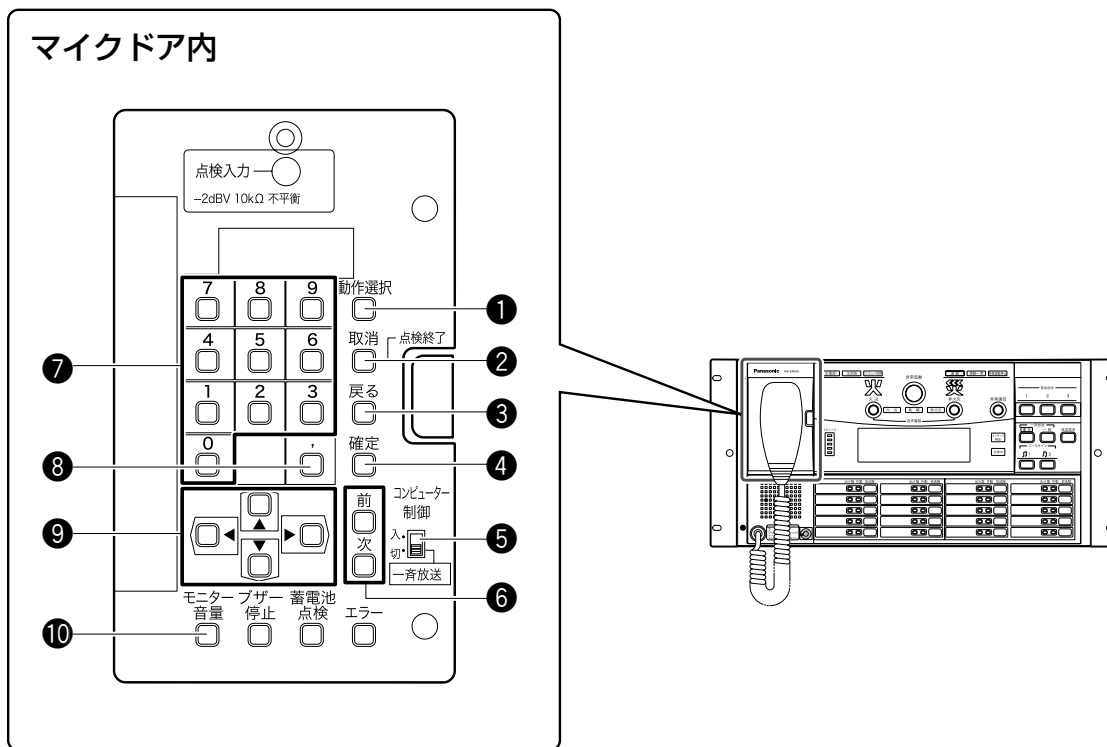


※書き込みモード中に、**動作選択**スイッチを押すと、設定データ保存画面へ移行します。

画面操作

書き込みに使用するキー・スイッチ

書き込みの操作は、非常操作ユニット（WK-ER500）のマイクポケット内のスイッチで行います。



●スイッチの機能

No.	機能	内容
①	動作選択スイッチ	動作モードを選択したり、書き込みモードに切り替えるときに押します。書き込みモード中は、書き込みを終了します。
②	取消スイッチ	設定画面で入力した項目の値を取り消します。1回押しで1文字消去になります。
③	戻るスイッチ	前の画面に戻ります。
④	確定スイッチ	設定内容を確定します。
⑤	コンピューター制御スイッチ	通常は「入」の位置にします。スイッチを「切」にすると、非常操作ユニット（WK-ER500）、非常リモコン（WR-EC500）、増設用出力ユニット（WU-ER551/552）、拡張制御ユニット（WU-EX590）、非常制御出力ユニット（WU-EM552）のコンピューターが停止し、強制的に一齐放送状態となり、本体マイクでの放送が可能です。
⑥	前画面スイッチ	複数ページに渡る画面の場合、前の画面に切り替わります。
	次画面スイッチ	複数ページに渡る画面の場合、次の画面に切り替わります。
⑦	テンキー（0～9）	設定画面での数字入力、メニュー画面での項目を選択します。
⑧	カンマキー（,）	設定画面で数字を複数入力するときに使用します。
⑨	上方向（▲）キー	カーソルを上方向に移動します。
	下方向（▼）キー	カーソルを下方向に移動します。
	左方向（◀）キー	カーソルを左に移動します。
	右方向（▶）キー	カーソルを右に移動します。
⑩	モニター音量スイッチ	階情報設定時に、選択した階情報をモニタースピーカの音声で確認できます。（→90ページの6番）

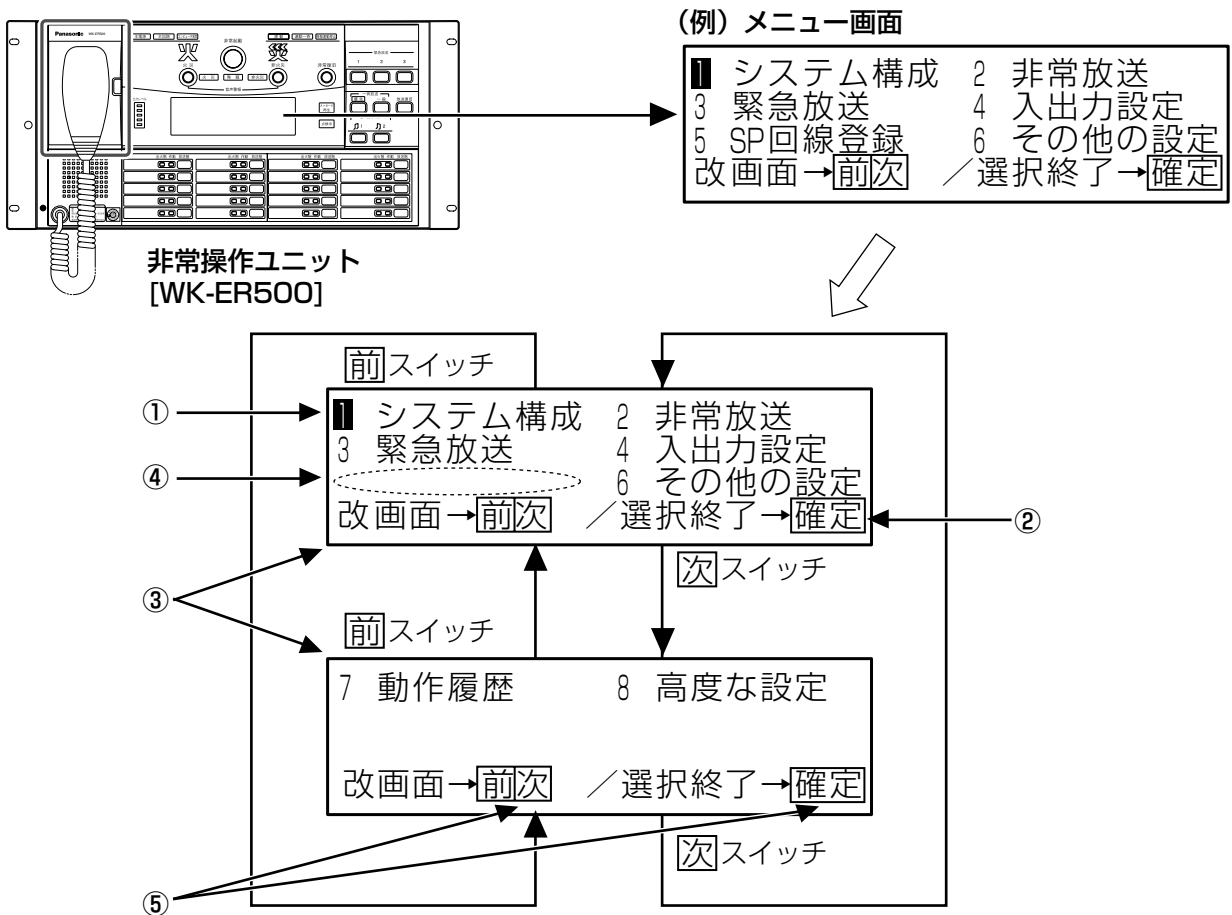
操作方法

書き込みでは、非常操作ユニット（WK-ER500）の液晶画面に、設定に必要な情報が表示されます。ここでは、代表的な画面を例に、書き込みでの液晶画面表示とキー・スイッチ操作について説明します。

●メニュー選択

メニュー画面の項目番号を指定することで、1つの項目を選択します。

メニュー画面の操作は、以下のように行います。



- ① 選択されている項目（カーソル位置）の番号が反転表示されます。
- ② 項目の選択は、選択したい項目の番号に方向キーを使いカーソルを合わせ、**確定**を押します。
選択したい項目の番号をテンキーで直接入力することもできます。
- ③ 選択項目が複数画面に渡る場合は、**次**スイッチ、**前**スイッチを押して、画面を切り替えます。
- ④ システム構成により、設定不要な項目については、メニュー画面に表示されません。
(この例では、「5」の項目が表示されていません。)
- ⑤ 文字（囲み文字）は、キー・スイッチ名を表示しています。

●数値入力

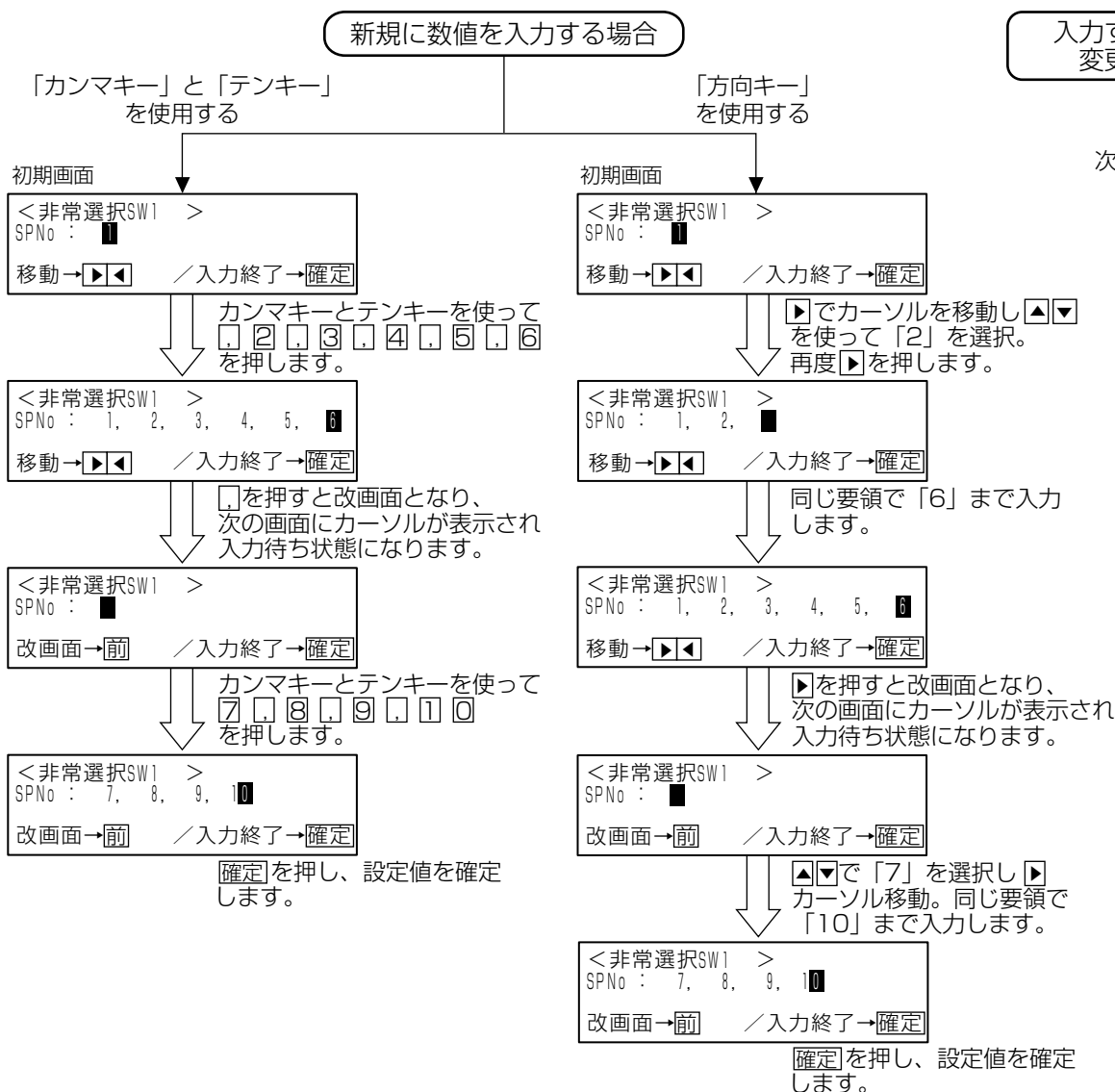
書き込みでは、数値入力で設定する場合があります。

ここでは、「非常選択SW放送先設定」画面を例に入力方法を説明します。

(例)「非常選択SW放送先設定」画面

```
<非常選択SW1 >
SPNo : 1, 2, 3, 4, 5, 6
改画面→[左] / 入力終了→[確定]
```

```
<非常選択SW1 >
SPNo : 7, 8, 9, 10
改画面→[右] / 入力終了→[確定]
```



- 設定した値は、[確定] を押すことで確定します。
- **重要** [確定] を押さずに設定画面を抜けた場合は、設定値は更新されません。

新規に数値を入力する場合

前ページへ

入力済み設定値を変更する場合

変更前画面

<非常選択SW1 >
SPNo : 7, 8, 9, 20
改画面→前 / 入力終了→確定

取消を2回押し
「20」を消します。

<非常選択SW1 >
SPNo : 7, 8, 9, ■
改画面→前 / 入力終了→確定

新たに「10」を入力します。

変更後画面

<非常選択SW1 >
SPNo : 7, 8, 9, 10
改画面→前 / 入力終了→確定

確定を押し、設定値を確定します。

●項目選択

書き込みでは、項目を選択して設定する場合があります。

ここでは、「汎用出力起動元選択」画面を例に、入力方法を説明します。

(例)「汎用出力起動元選択」画面

<拡張汎用出力138>
起動元選択
非常選択SW1 , 緊急放送3
改画面→次 / 選択終了→確定

<拡張汎用出力138>
起動元選択
業務選択SW25
改画面→前 / 選択終了→確定

新規に設定を入力する場合

初期画面

<拡張汎用出力138>
起動元選択
[]
移動→[] / 選択終了→確定

[]/[]を使って「非常選択SW1」を選択して、[]を押します。

<拡張汎用出力138>
起動元選択
非常選択SW1 []
移動→[] / 選択終了→確定

[]/[]を使って「緊急放送3」を選択します。

<拡張汎用出力138>
起動元選択
非常選択SW1 , 緊急放送3
移動→[] / 選択終了→確定

[]を押すと改画面となり、次の画面にカーソルが表示され入力待ち状態になります。

<拡張汎用出力138>
起動元選択
[]
改画面→前 / 選択終了→確定

[]/[]を使って「業務放送SW25」を選択し[]を押したあと、同じ要領で「拡張外部140」を入力します。

<拡張汎用出力138>
起動元選択
業務選択SW25 , 拡張外部140
改画面→前 / 選択終了→確定

[]を押し、設定値を確定します。

入力済み設定値を変更する場合

変更前画面

<拡張汎用出力138>
起動元選択
非常選択SW1 , 外部制御20
改画面→次 / 選択終了→確定

[]/[]を使って変更した項目にカーソルを移動します。

<拡張汎用出力138>
起動元選択
非常選択SW1 外部制御20
改画面→次 / 選択終了→確定

[]を押して「外部制御20」を消去します。

<拡張汎用出力138>
起動元選択
非常選択SW1 業務選択SW25
改画面→次 / 選択終了→確定

[]/[]を使って空白欄にカーソルを移動し、[]/[]を使って「緊急放送2」を選択します。

<拡張汎用出力138>
起動元選択
非常選択SW1 , 業務選択SW25
改画面→次 / 選択終了→確定

<拡張汎用出力138>
起動元選択
緊急放送2
改画面→前 / 選択終了→確定

[]を押し、設定値を確定します。



●設定した値は、[]を押すことで確定します。

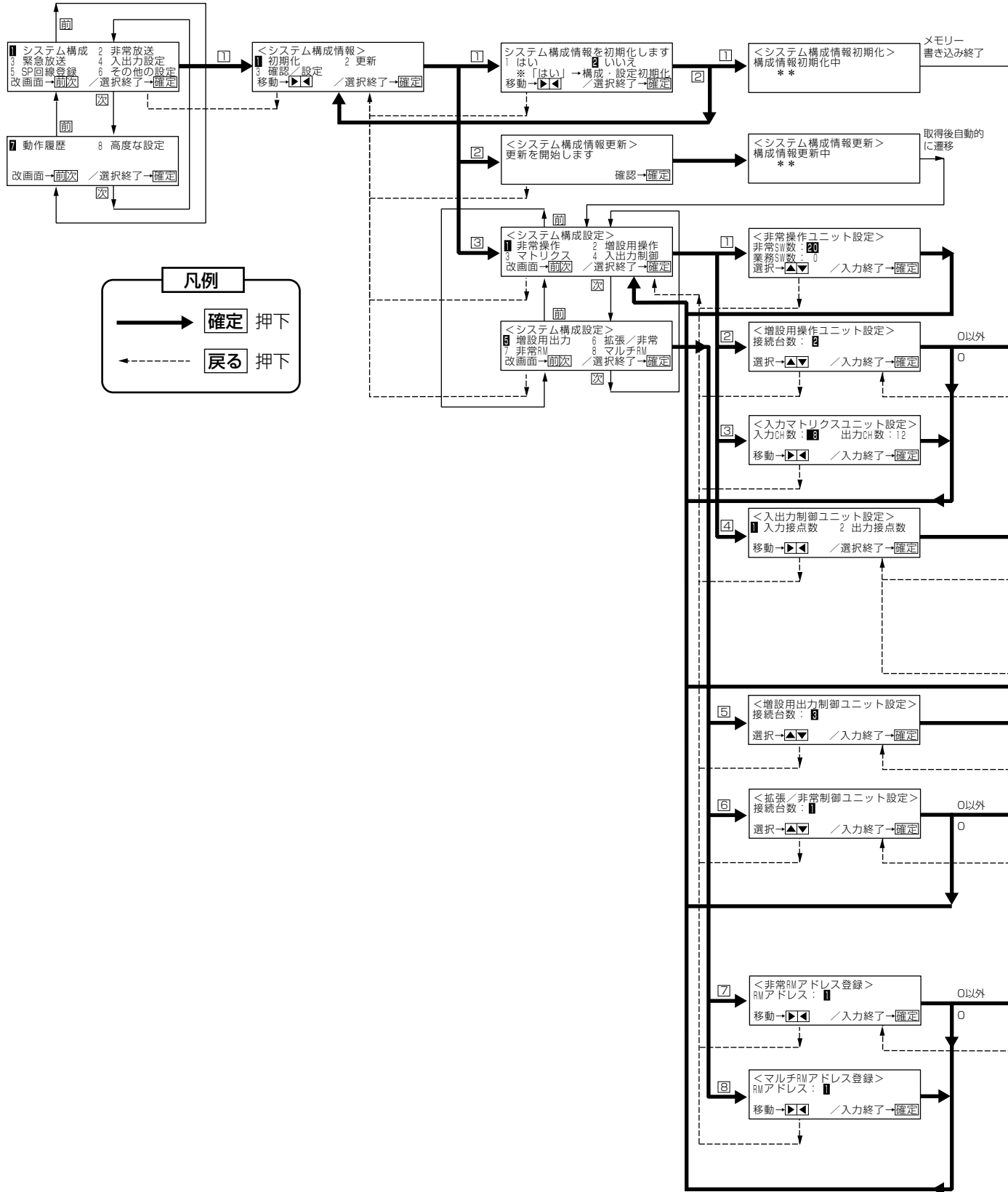
[]を押さずに設定画面を抜けた場合は、設定値は更新されません。

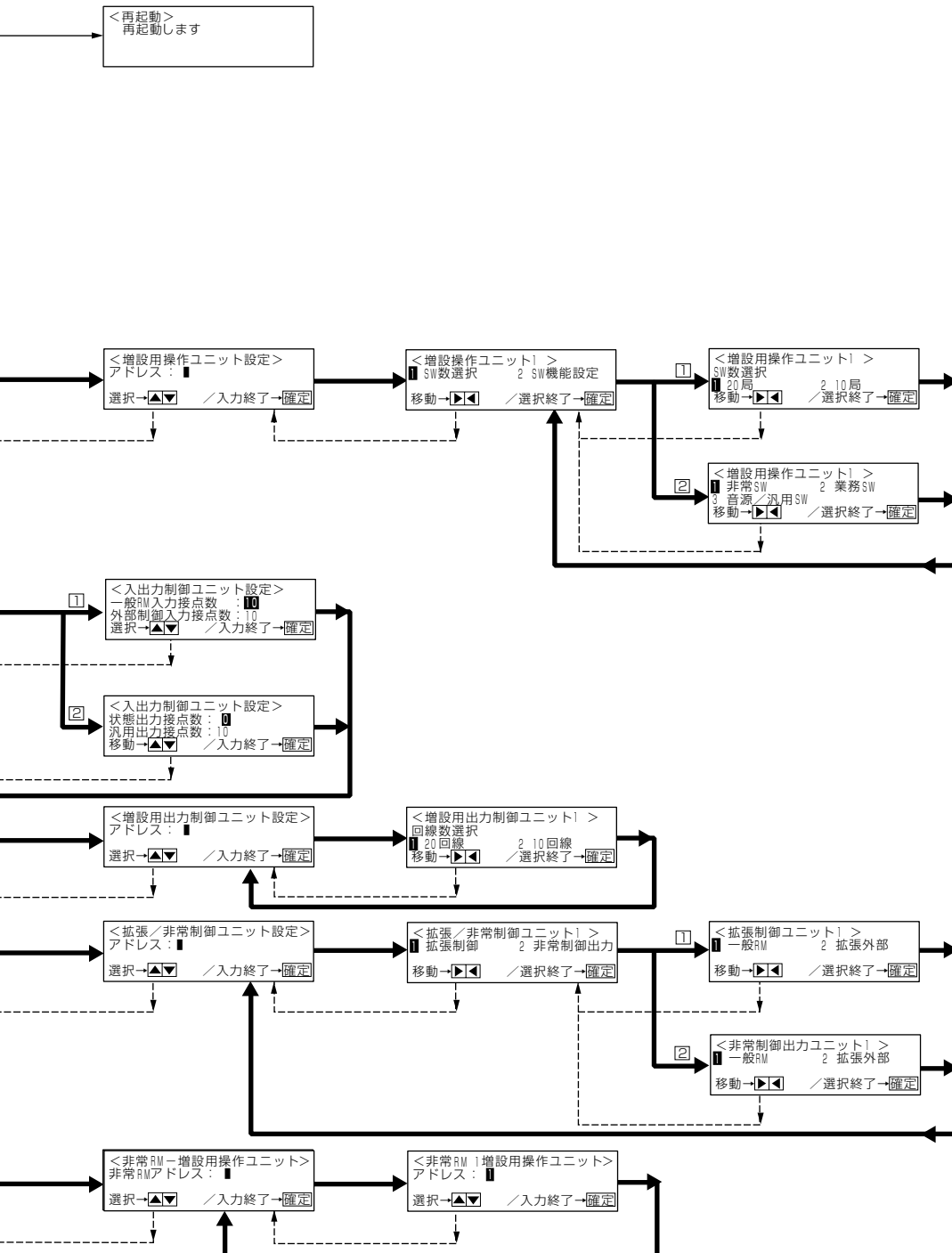
画面の流れ

書き込み設定画面

書き込み設定の液晶画面の流れを示します。

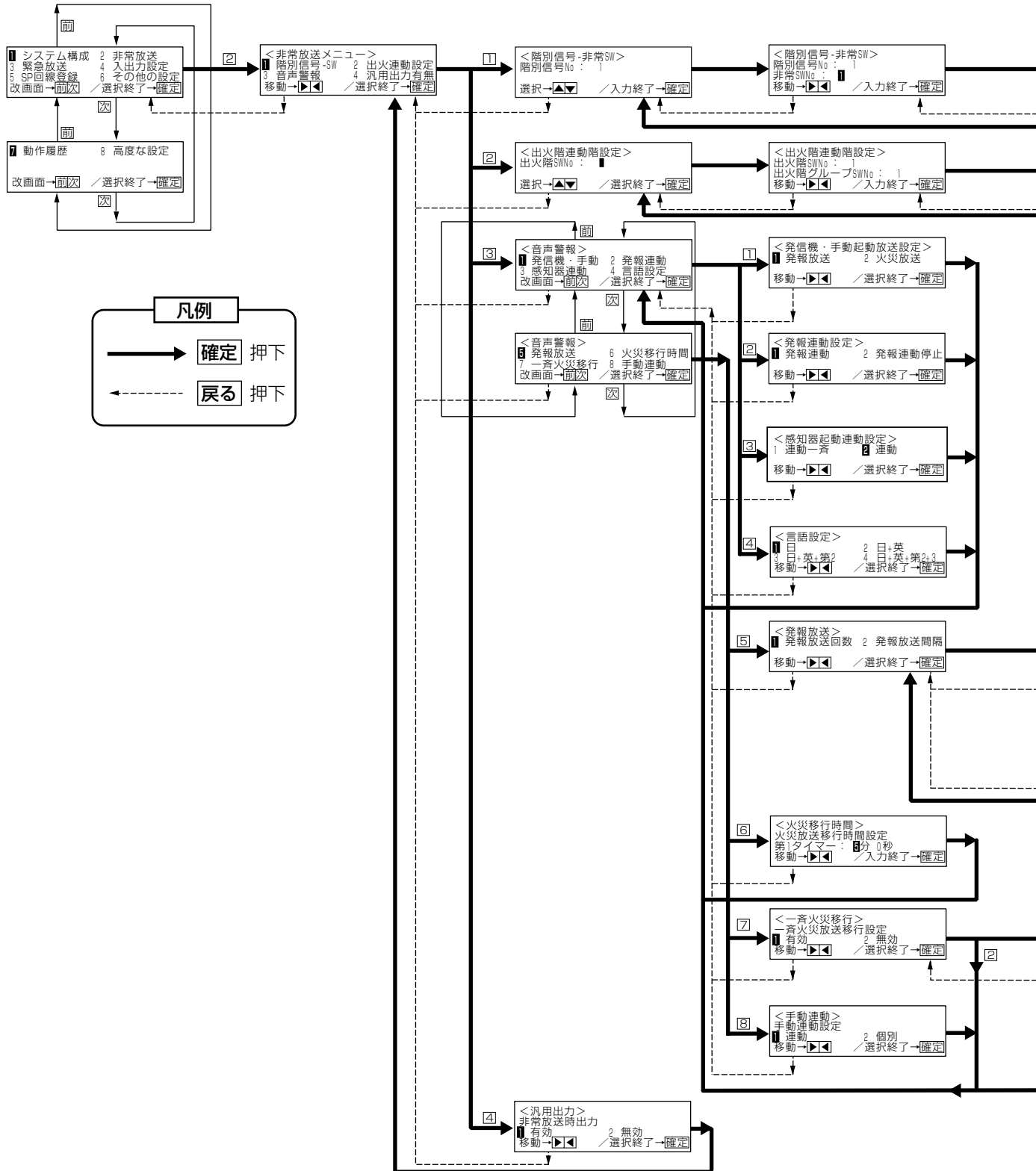
1. システム構成

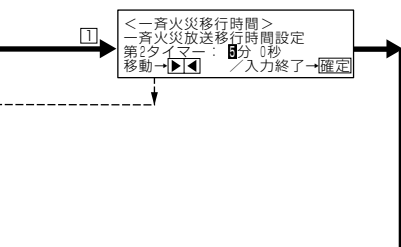
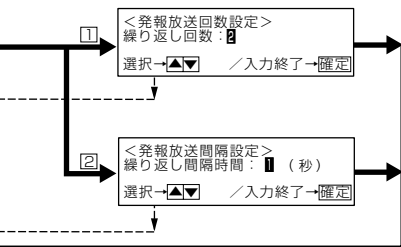
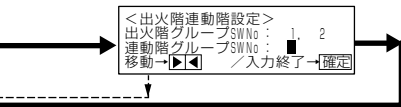




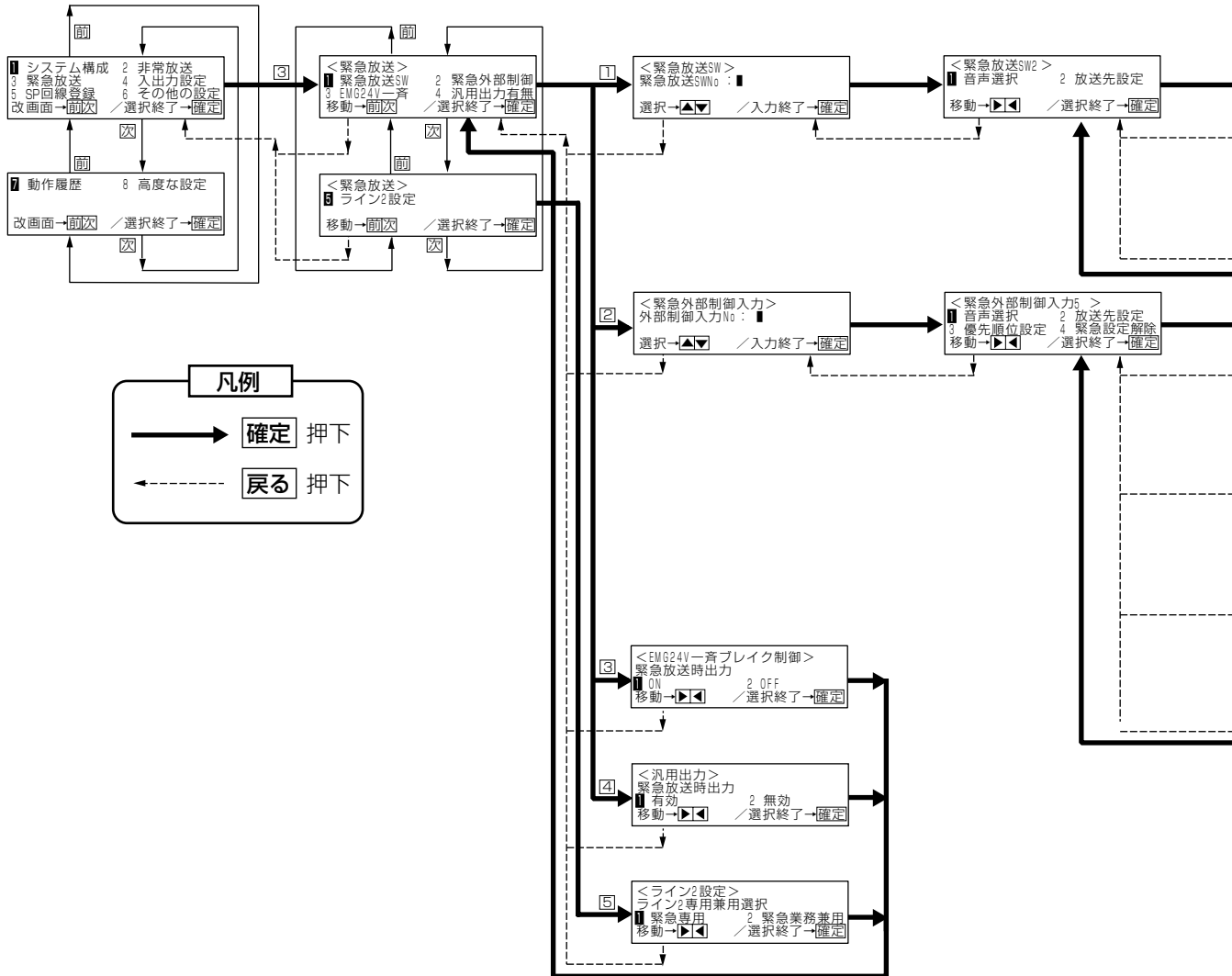
画面の流れ

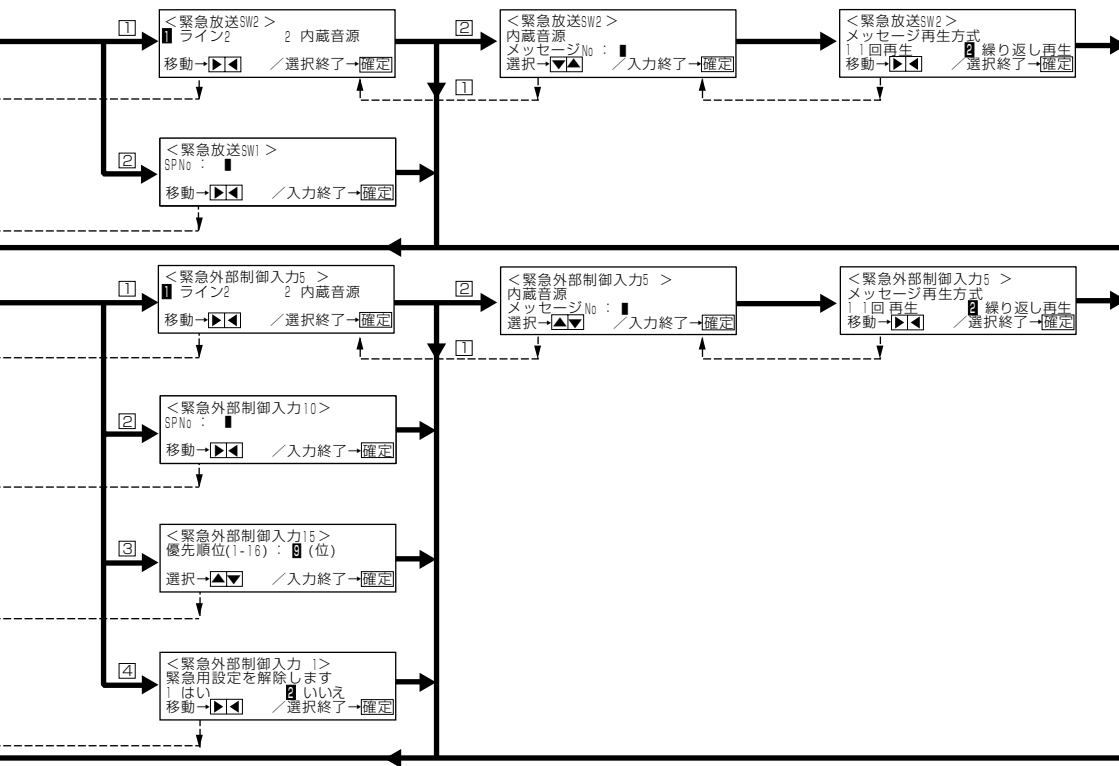
2. 非常放送



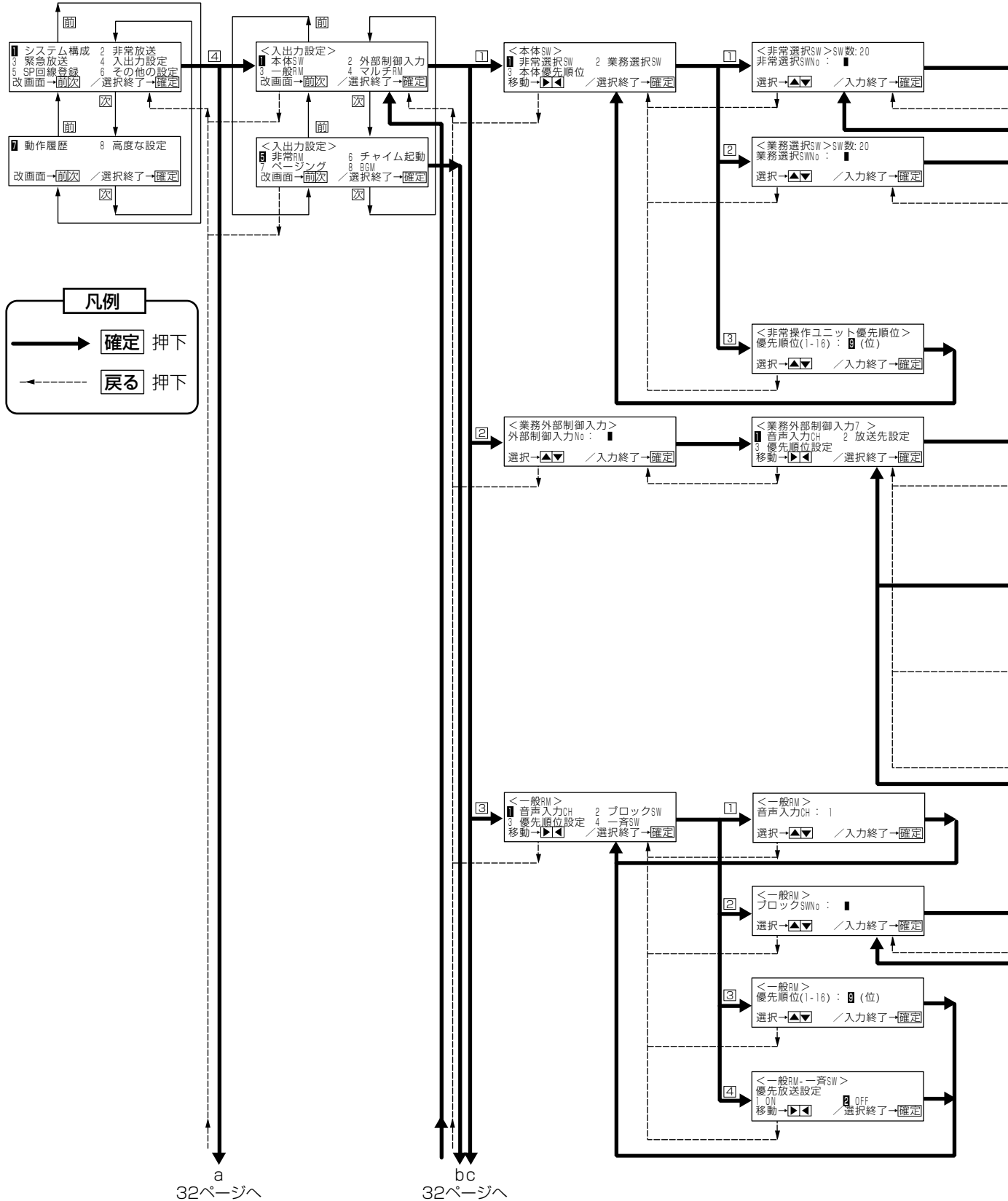


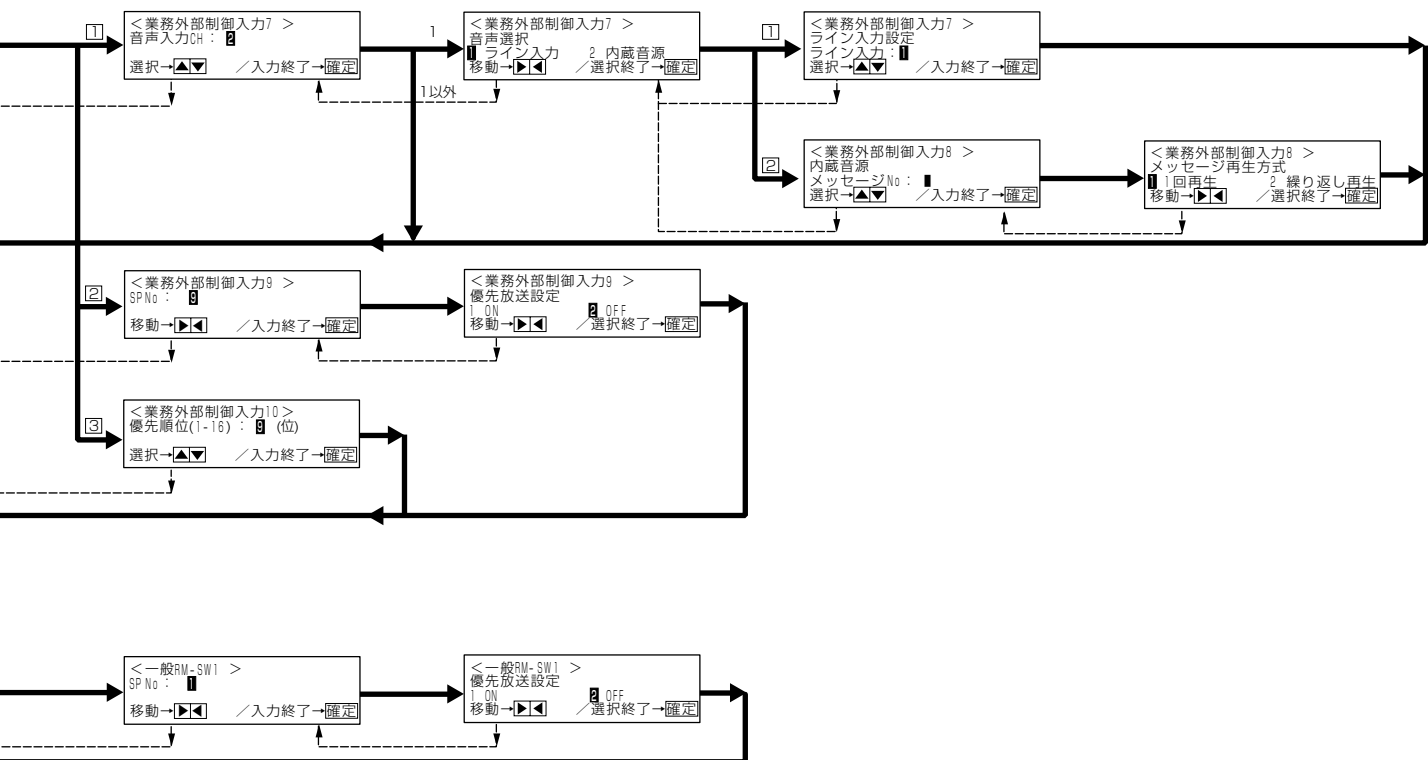
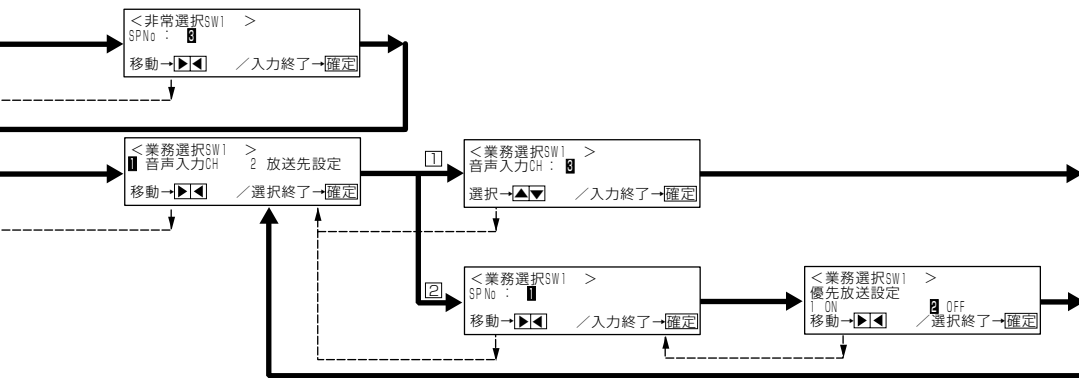
3. 緊急放送

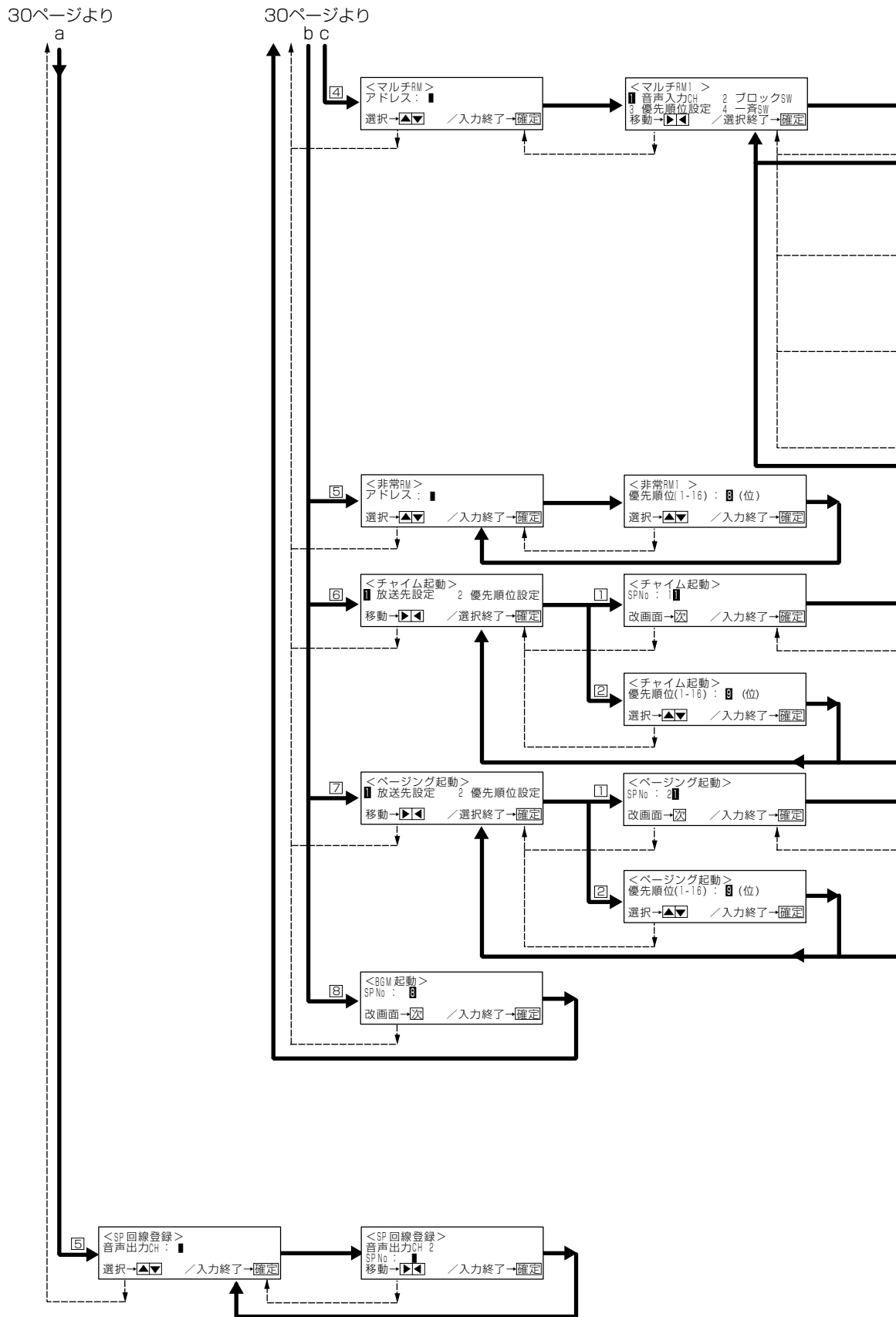




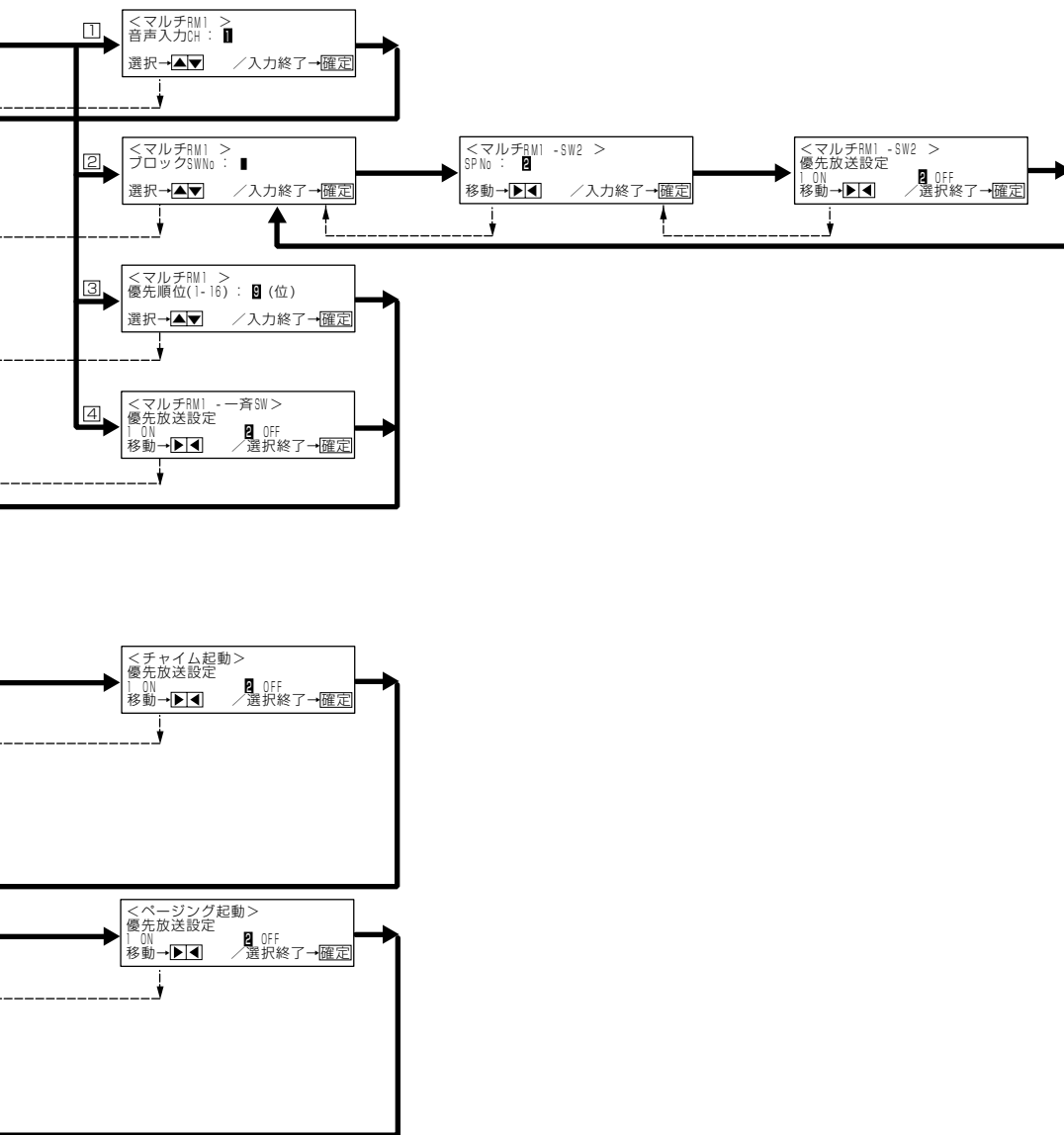
4. 入出力設定



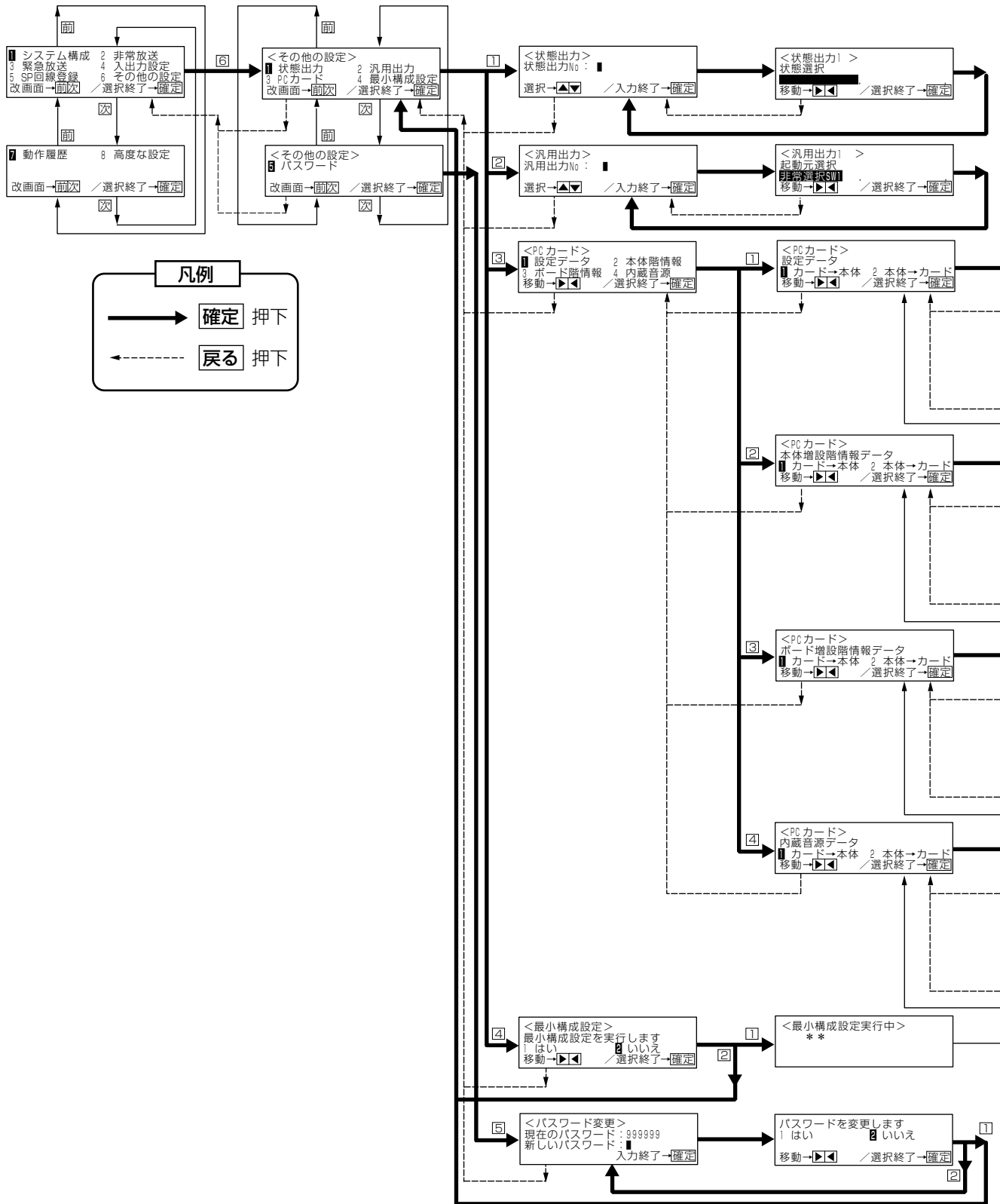


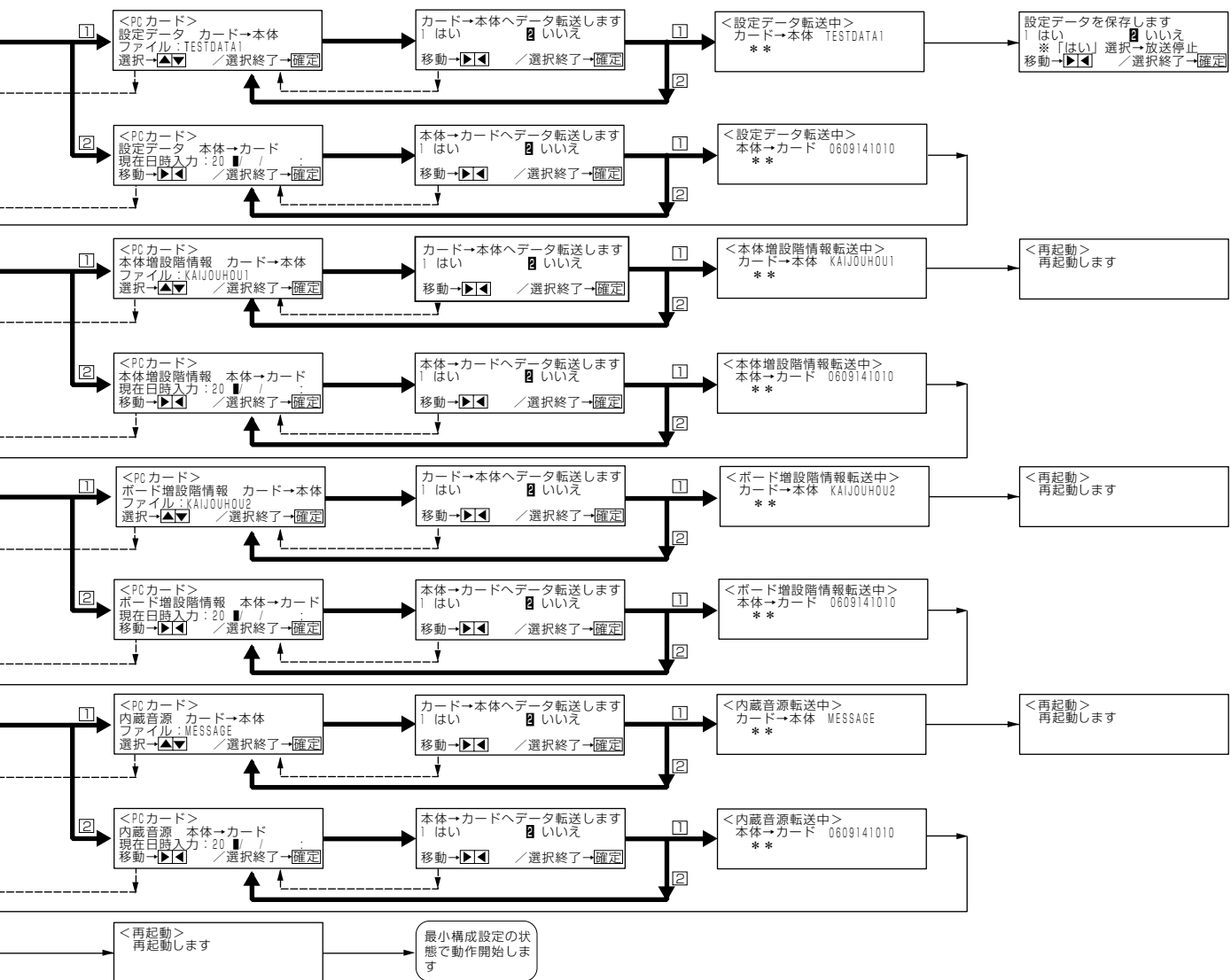


5.スピーカー回線登録

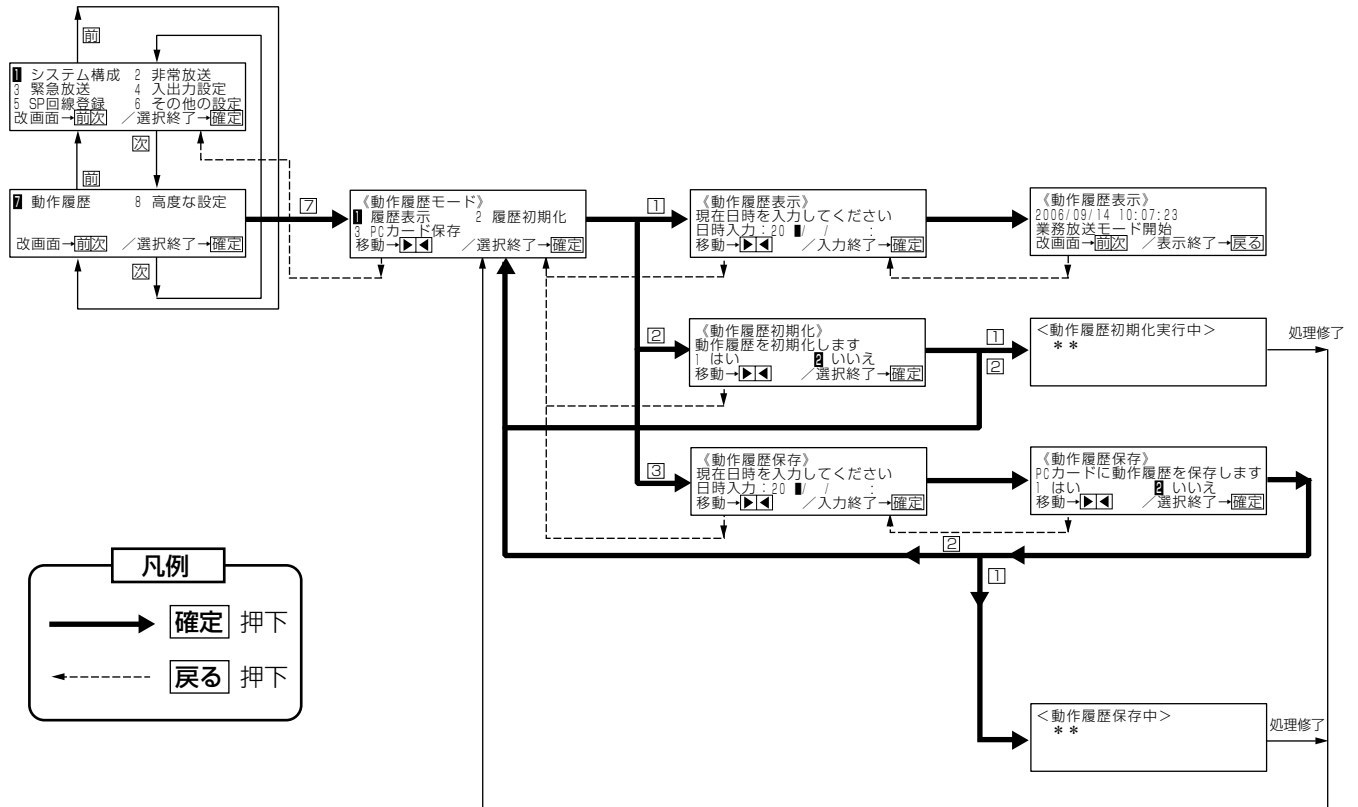


6. その他の設定

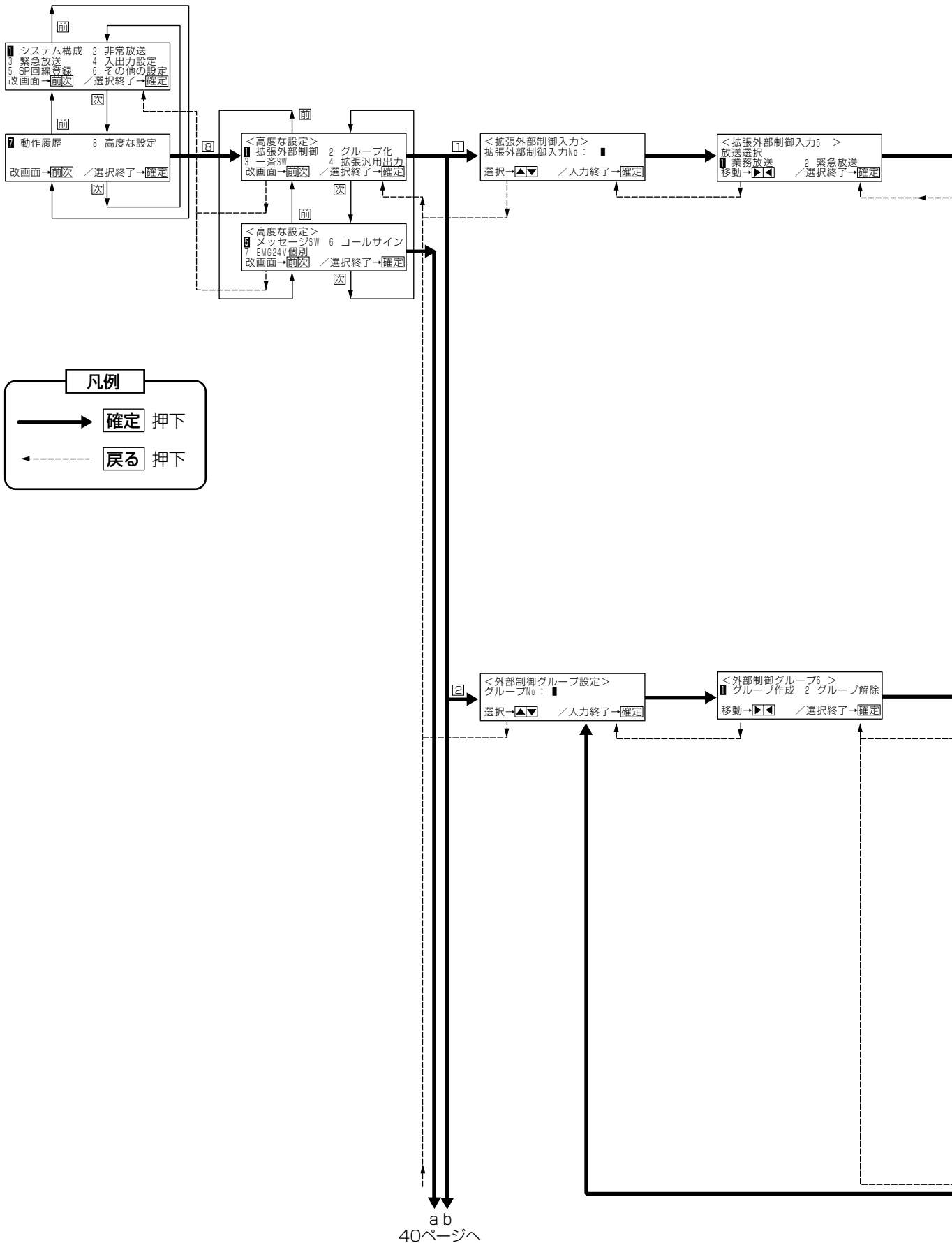


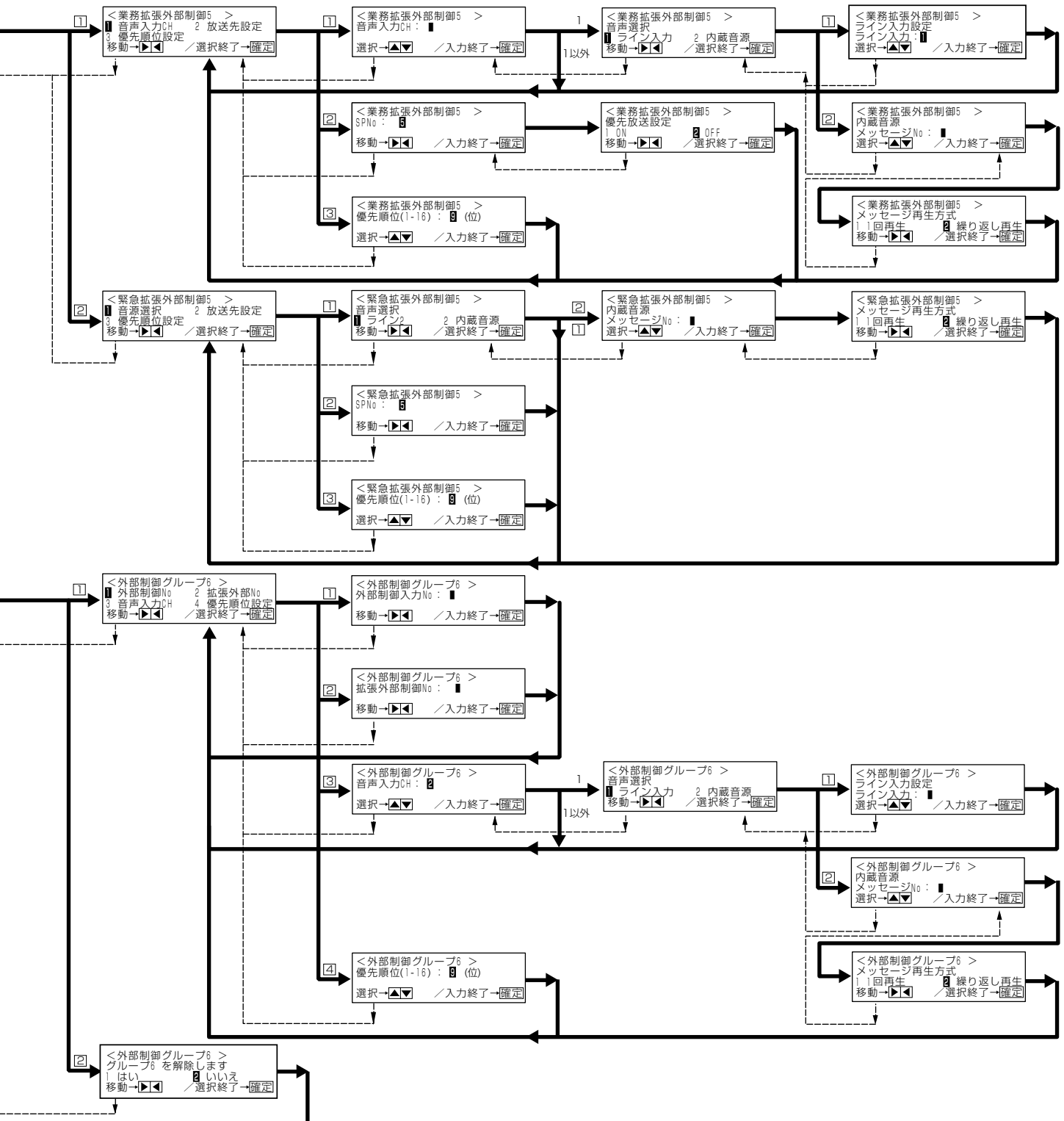


7. 動作履歴

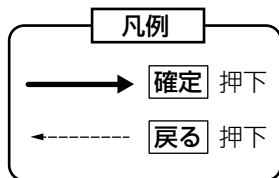
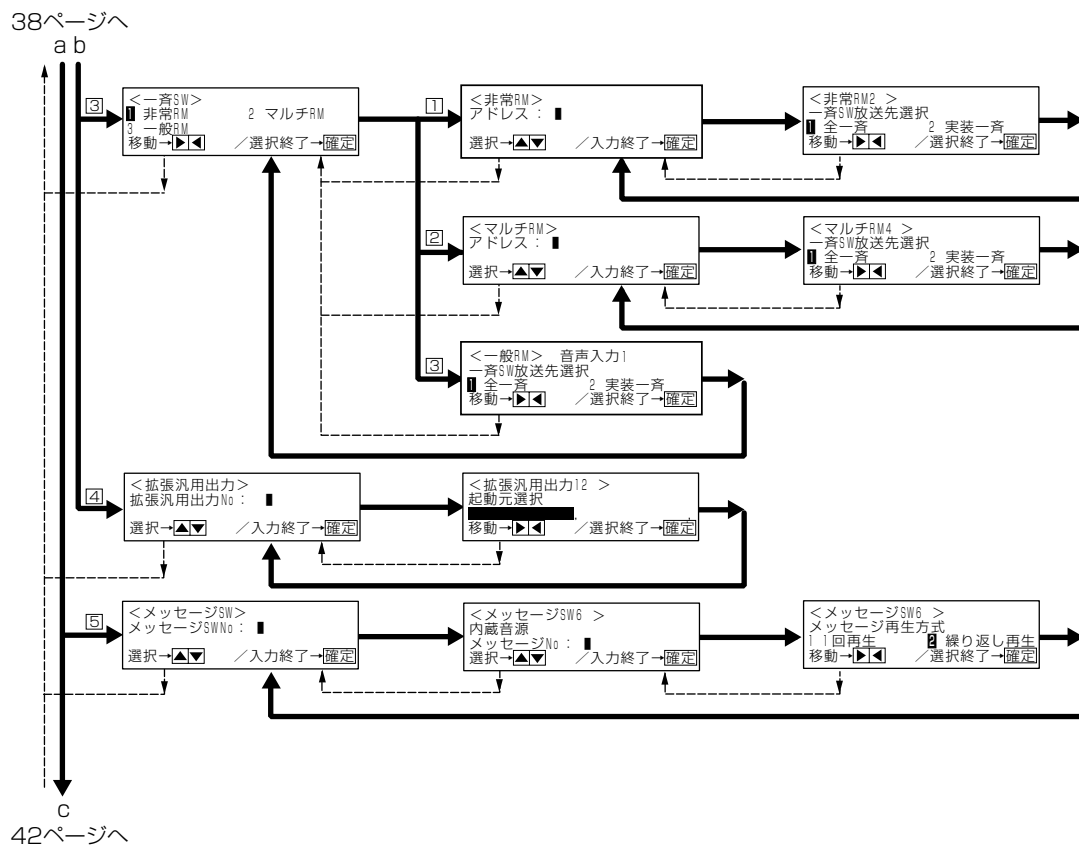


8. 高度な設定



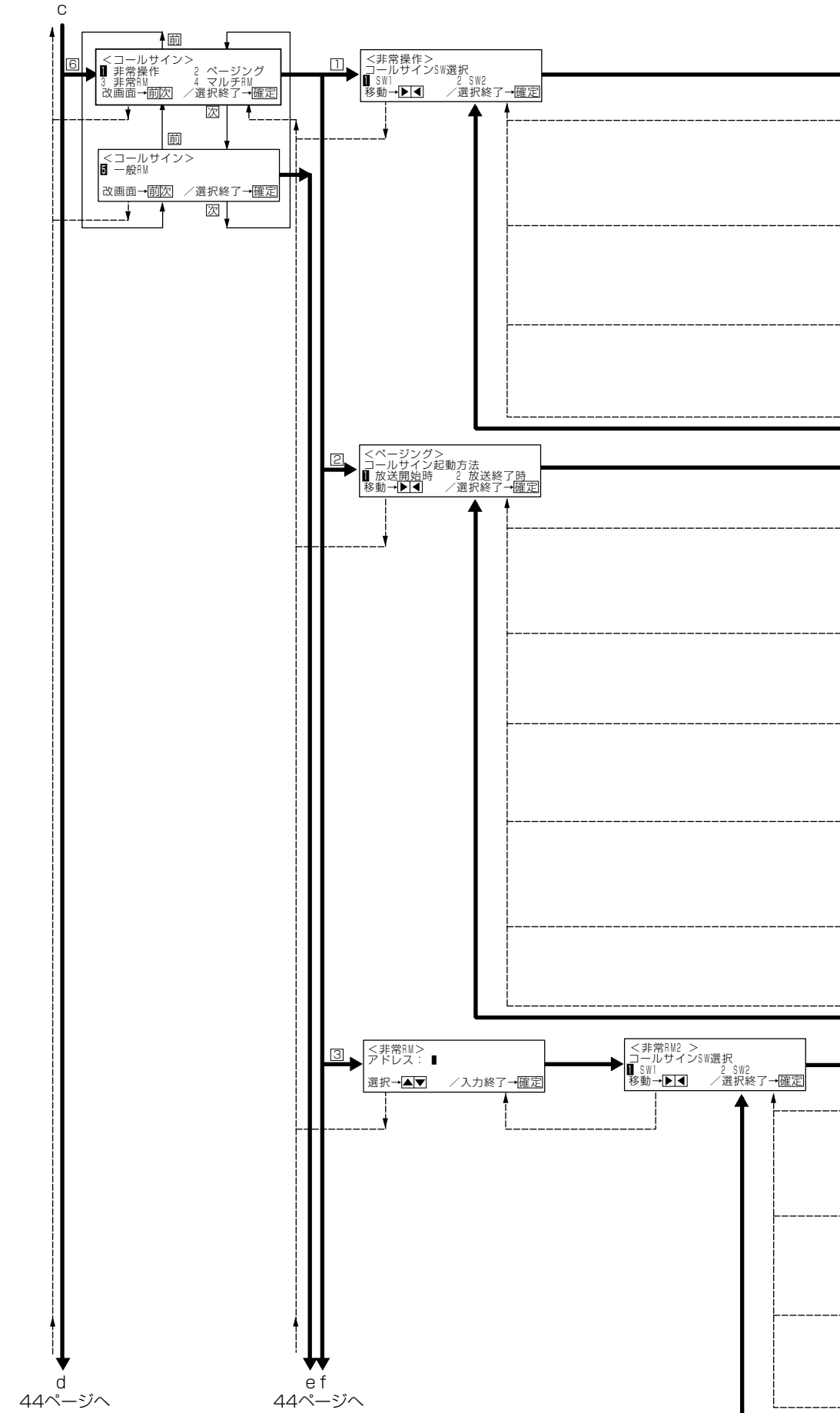


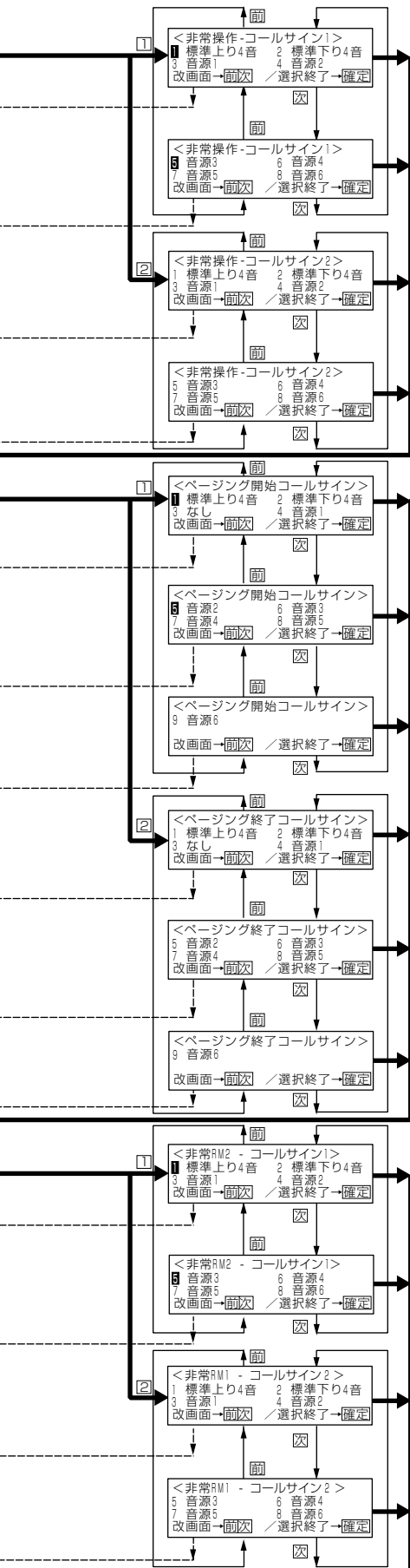
画面の流れ



画面の流れ

40ページより

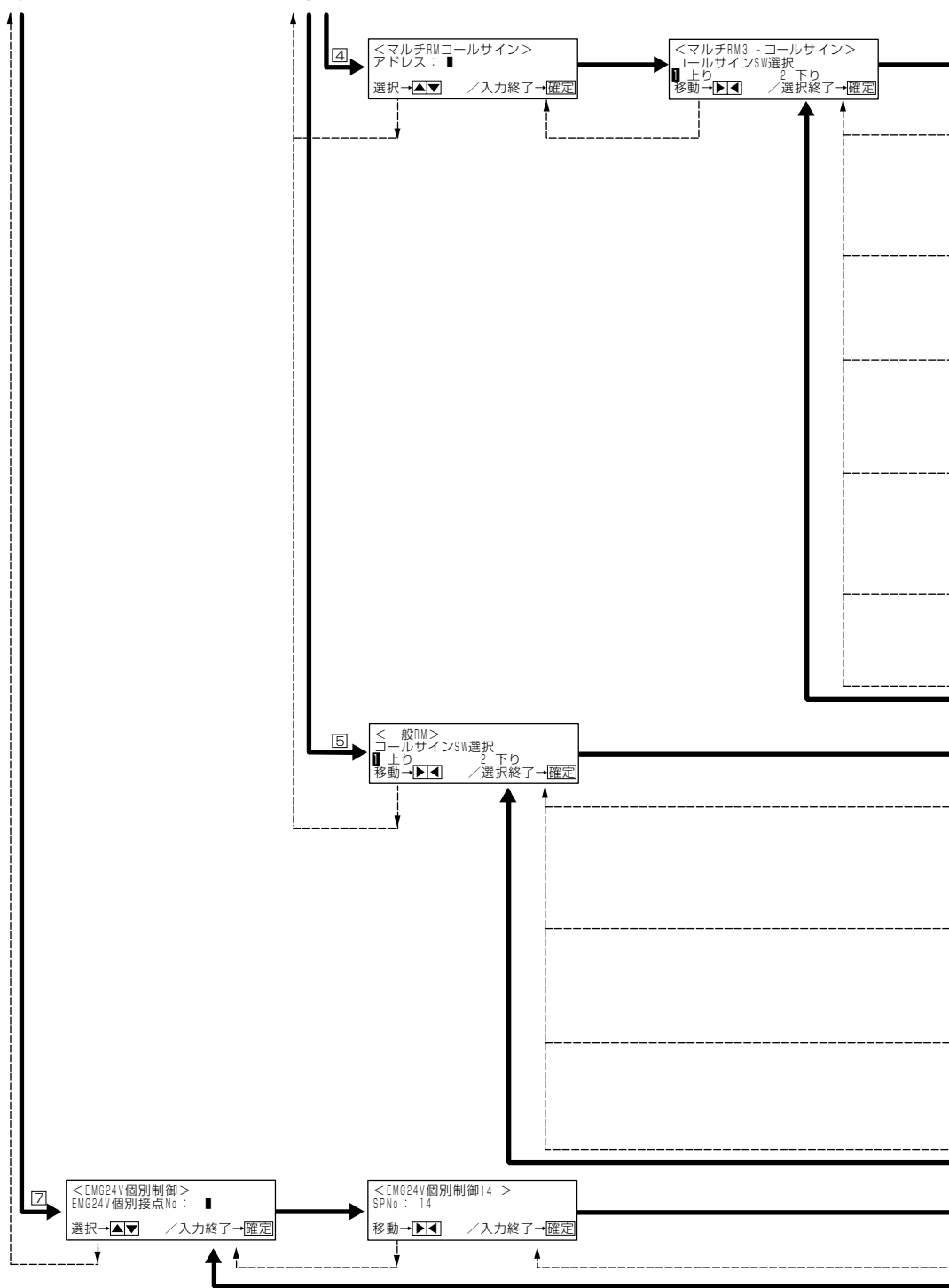


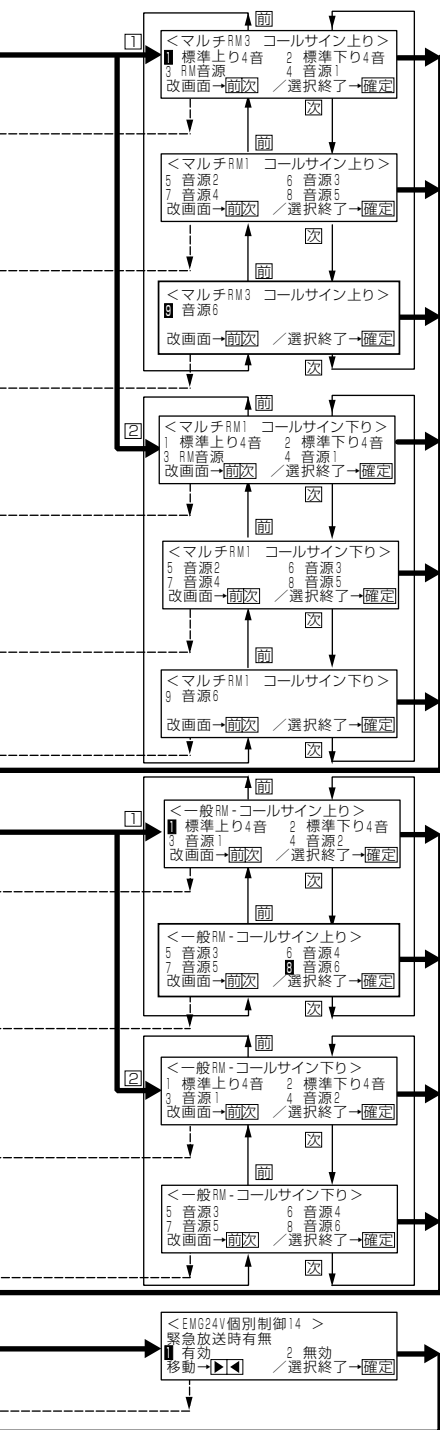


画面の流れ

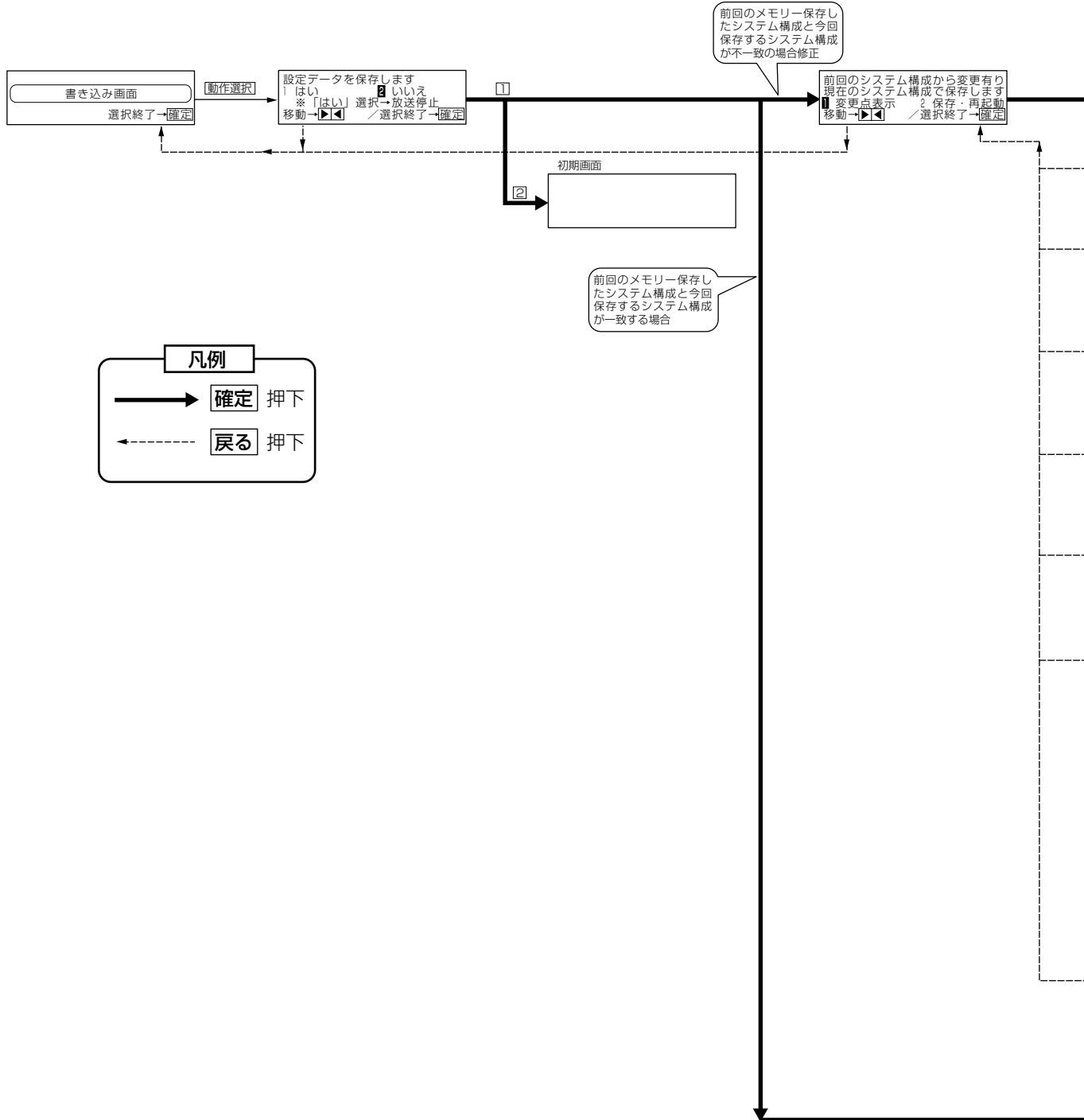
42ページより
d

42ページより
e f





9. 設定データの保存



設定項目一覧

書き込みで設定できる設定項目一覧を示します。

「非常操作ユニット (WK-ER500) による書き込み」は、下記の項目を選択して設定します。

「その他の設定→PCカード」では、設定支援ソフトで作成したシステム設定データを、PCカードを使用して非常操作ユニットに書き込みができます。

● システム構成登録

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
非常操作ユニット (WK-ER500) スイッチ機能設定	ユニット内の20局のスイッチ機能を設定します。	非常選択スイッチ：20/15/10/5/0 業務選択スイッチ：0/5/10/15/20	76
増設用操作ユニット (WK-EX510/520、WR-EX510/520) ユニット台数設定	非常操作ユニットに接続する、増設用操作ユニットの台数を設定します。	0~16 (※)	77
増設用操作ユニット設定	設定する増設用操作ユニットアドレスを設定します。	1~16	
スイッチ数設定	スイッチ数を表示します。	10/20 (※)	
機能設定	スイッチ機能をユニット単位で設定します。	非常用/業務用/音源/汎用	
入力マトリクスユニット (WU-MX544) 入出力チャンネル数設定	入力マトリクスユニットの入出力チャンネル数を設定します。 1ユニット (4CH×4CH) を最大16台設定できます。	入力CH：1/4/8/12/16/20/24/28/32 出力CH：1/4/8/12/16/20/24/28/32 (※)	79
入出力制御ユニット (WU-ER550) 入力接点数選択	入力20接点の機能を設定します。	一般リモコン：20/15/10/5/0 外部制御入力：0/5/10/15/20	80
出力接点数選択	出力10接点の機能を設定します。	汎用出力：10/5/0 状態出力：0/5/10	
増設用出力制御ユニット (WU-ER551/552) ユニット台数設定	増設用出力制御ユニットの台数を設定します。	1~17 (※)	83
増設用出力制御ユニット設定	設定する増設用出力制御ユニットアドレスを設定します。	1~17	
回線数設定	回線数を設定します。	10/20 (※)	
拡張/非常制御ユニット ユニット台数設定	拡張制御/非常制御出力ユニットの合計接続台数を設定します。	0~7 (※)	84
ユニット設定	設定する拡張制御/非常制御出力ユニットアドレスを設定します。	1~7	
ユニット種別設定	ユニット種別を設定します。	拡張制御ユニット /非常制御出力ユニット (※)	
拡張制御ユニット (WU-EX590) 設定	拡張制御ユニットを設定した場合の入力接点の種別を設定します。	一般リモコン /拡張外部制御入力 (※)	
非常制御出力ユニット (WU-EM552) 設定	非常制御出力ユニットを設定した場合の入力接点の種別を設定します。	一般リモコン /拡張外部制御入力 (※)	
非常リモコン (WR-EC500) アドレス登録	接続した非常リモコンの全アドレスを設定します。	0~8 (※)	87
非常リモコン設定	設定する非常リモコンのユニットアドレスを設定します。	1~8	
増設用操作ユニット (WK-EX510/520、WR-EX510/520) 設定	非常リモコンに接続する増設用操作ユニットの全アドレスを設定します。	1~16 (※)	
マルチリモコンマイク (WR-MC100A) アドレス登録	接続したマルチリモコンマイクの全アドレスを設定します。	0~8 (※)	88

(※)：自動取得ができる値

● 非常放送設定

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ	
階別信号No設定	階別信号Noを表示します。	1～340 ※システム構成登録による。	89	
階別信号—非常スイッチ設定	階別信号Noに対する非常選択スイッチを設定します。	1～340（複数設定可能） ※システム構成登録による。		
階別信号—階情報No設定	階別信号Noに対する音声警報の階情報を設定します。	0～66 ^{※1} 0～66、101～160 ^{※2} 0～66、101～440 ^{※3}		
出火連動設定	階別信号を設定した非常選択スイッチを出火階として設定します。	1～340 ※システム構成登録による。	92	
出火階設定				
出火階グループ設定		1つの階別信号に対して複数の出火階を持つ場合は、出火階グループとしてすべての非常選択スイッチを設定します。		1～340（複数設定可能） ※システム構成登録による。
連動階グループ設定		1つの出火階グループに対する連動階を設定します。 連動階が複数ある場合は、その階すべてを連動階グループとして非常選択スイッチを設定します。		1～340（複数設定可能） ※システム構成登録による。
音声警報	発信機や非常電話による起動、または手動起動の音声警報について設定します。	発報放送／火災放送	94	
発信機・手動起動設定				
発報連動設定		感知器起動時に自動的に発報放送をするか設定します。		発報連動／発報連動停止
感知器起動連動設定		火災警報装置から信号を受信したときに、出火階と連動階に放送するか、全館一斉に放送するかを設定します。		連動／連動一斉
放送言語選択		音声警報の言語を設定します。		日本語 日本語+英語 日本語+英語+第2外国語 ^{※3} 日本語+英語+第2外国語+第3外国語 ^{※3}
発報放送設定		発報放送の繰り返し回数を設定します		2～5回／繰り返し
発報放送回数設定				
発報放送間隔設定				発報放送を繰り返して放送するときの間隔を設定します。
火災放送移行タイマー設定		非常放送起動時に発報放送開始または、火災音鳴動開始から火災放送へ移行する時間を設定します。		2：00～59：59（秒単位）
一斉火災放送移行タイマー設定		火災放送から一斉火災放送へ移行するか設定します。		有効／無効
移行タイマー有無設定				
タイマー設定	火災放送開始から一斉火災放送への移行時間を設定します。		0、2：00～59：59（秒単位）	
手動連動	手動起動時に連動階に放送するか設定します。	連動／個別		
汎用出力	非常放送時に汎用出力を出力するか設定します。	有効／無効	100	

※1：増設階情報データ未登録時

※2：本体増設階情報データ登録時

※3：ボード増設階情報データ登録時

設定項目一覧

● 緊急放送設定

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ		
緊急放送スイッチ	緊急放送に使用するスイッチNoを設定します。	1～3	101		
緊急放送スイッチ設定					
音声設定				使用する音声を設定します。	ライン2／メッセージ音源
メッセージ音源設定				音声にメッセージ音源を設定した場合の、使用するメッセージ音源Noを設定します。	1～10 ※メッセージ音源を使用するには、内蔵音源の登録が必要です。
メッセージ音源再生回数設定				音声にメッセージ音源を設定した場合の、再生回数を設定します。	1回再生／繰り返し再生
放送先設定	放送先（スピーカー回線）を設定します。	1～340（複数設定可能） ※システム構成登録による。			
緊急外部制御入力	緊急放送に使用する接点Noを設定します。（入出力制御ユニット接続分）	0～20 ※システム構成登録による。	104		
外部制御入力接点設定					
音声設定				使用する音声を設定します。	ライン2／メッセージ音源
メッセージ音源設定				音声にメッセージ音源を設定した場合の、使用するメッセージ音源Noを設定します。	1～10 ※メッセージ音源を使用するには、内蔵音源の登録が必要です。
メッセージ音源再生回数設定				音声にメッセージ音源を設定した場合の、再生回数を設定します。	1回再生／繰り返し再生
放送先設定				放送先（スピーカー回線）を設定します。	1～340（複数設定可能） ※システム構成登録による。
優先順位設定				緊急放送時の優先順位を設定します。	1～16
設定解除	緊急用設定を解除します。	はい／いいえ			
EMG24Vブレイカー斉制御	緊急放送時のEMG24Vブレイカー斉制御をするか設定します。	ON/OFF	108		
汎用出力	緊急放送時の汎用出力を使用するか設定します。	有効／無効	108		
ライン2設定	非常操作ユニットのライン2入力を緊急放送専用か、業務放送と兼用か設定します。	緊急専用／緊急業務兼用	109		

● 入出力設定

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
本体スイッチ	設定する非常選択スイッチNoを表示します。	1～340 ※システム構成登録による。	111
非常選択スイッチ設定			
放送先設定	放送先（スピーカー回線）を設定します。	1～340（複数設定可能） ※システム構成登録による。 ※1つの放送先は、1つの非常選択スイッチのみ設定できます。	
業務選択スイッチ設定	設定する業務選択スイッチNoを表示します。	1～335 ※システム構成登録による。	
音声入力チャンネル設定	使用する音声の入力マトリクスユニットでの入力チャンネルを設定します。	1～32 ※システム構成登録による。 ※本体接続の場合は「1」に設定。	
放送先設定	放送先（スピーカー回線）を設定します。	1～340（複数設定可能） ※システム構成登録による。 ※1つの放送先は、複数の業務選択スイッチに設定できます。	
優先放送設定	放送先の優先放送（アッテネーター制御）を行うか設定します。	ON/OFF ※「ON」設定でアッテネーター無効です。	
本体優先順位	非常操作ユニットの業務放送時の優先順位を設定します。	1～16	116
業務外部制御入力	業務放送で使用する外部制御入力の接点Noを設定します。（入出力制御ユニット接続分）	0～20 ※システム構成登録による。 ※緊急放送用に設定済み外部制御入力は使用できません。	
外部制御入力接点設定			
音声入力チャンネル設定	使用する音声の入力マトリクスユニットでの入力チャンネルを設定します。	1～32 ※システム構成登録による。 ※本体接続の場合は「1」に設定。	
音声設定	音声入力チャンネルを「1」に設定した場合の使用する音声を設定します。	ライン入力／メッセージ音源	
入力ライン設定	音声にライン入力を設定した場合の、使用する入力ラインを設定します。	1～4 ※ライン2を緊急専用を設定している場合、「2」に設定できません。	
メッセージ音源設定	音声にメッセージ音源を設定した場合の、使用する内蔵音源Noを設定します。	1～10 ※メッセージ音源を使用するには、内蔵音源登録が必要です。	
メッセージ音源再生回数設定	音声にメッセージ音源を設定した場合の、再生回数を設定します。	1回再生／繰り返し再生	
放送先設定	放送先（スピーカー回線）を設定します。	1～340（複数設定可能） ※システム構成登録による。	
優先放送設定	放送先の優先放送（アッテネーター制御）を行うか設定します。	ON/OFF ※「ON」設定でアッテネーター無効です。	
優先順位設定	業務放送時の優先順位を設定します。	1～16	
リモコンマイク (WR-201/205A/210A、WU-RM205)	リモコンマイクの音声出力を接続する、入力マトリクスユニットの入力チャンネルを設定します。	1～32 ※システム構成登録による。 ※本体接続の場合は「1」に設定。	120
音声入力チャンネル設定			
ブロックスイッチ設定	リモコンマイクのブロックスイッチを設定します。	1～160 ※システム構成登録による。	
放送先設定	放送先（スピーカー回線）を設定します。	1～340 ※システム構成登録による。	
優先制御設定	放送先の優先制御（アッテネーター制御）を行うか設定します。	ON/OFF ※「ON」設定でアッテネーター無効です。	
優先順位	リモコンマイクの業務放送時の優先順位を設定します。	1～16	

設定項目一覧

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
リモコンマイク (WR-201/ 205A/210A、WU-RM205)	リモコンマイクの、一斉スイッチの放送 先の優先放送 (アッテネーター制御) を 行うか設定します。	ON/OFF ※「ON」設定でアッテネーター 無効です。	122
一斉スイッチ優先放送設定			
マルチリモコンマイク (WR-MC100A)	設定するマルチリモコンマイクのユニ ットアドレスを設定します。	1~8 ※システム構成登録による。	123
ユニット設定			
音声入力チャンネル設定	マルチリモコンマイクの音声出力を接 続する入力マトリクスユニットの入力 チャンネルを設定します。	1~32 ※システム構成登録による。 ※本体接続の場合は「1」に設定。	
ブロックスイッチ設定	マルチリモコンマイクのブロックスイ ッチを設定します。	1~20	
放送先設定	ブロックスイッチの放送先 (スピーカ ー回線) を設定します。	1~340 (複数設定可能) ※システム構成登録による。	
優先放送設定	ブロックスイッチの放送先の優先放送 (アッテネーター制御) を行うか設定 します。	ON/OFF ※「ON」設定でアッテネーター 無効です。	
優先順位	マルチリモコンマイクの業務放送時の 優先順位を設定します。	1~16	
一斉スイッチ優先放送 設定	マルチリモコンマイクの一斉スイッ チの放送先の優先放送 (アッテネーター 制御) を行うかどうか設定します。	ON/OFF ※「ON」設定でアッテネーター 無効です。	
非常リモコン (WR-EC500)	設定する非常リモコンのユニットアド レスを設定します。	1~8 ※システム構成登録による。	126
ユニット設定			
優先順位	非常リモコンの業務放送時の優先順位 を設定します。	1~16	
チャイム起動	チャイム起動放送の放送先 (スピーカ ー回線) を設定します。	1~340 (複数設定可能) ※システム構成登録による。	127
放送先設定			
優先放送設定	チャイム起動放送の、放送先の優先放 送 (アッテネーター制御) を行うか設 定します。	ON/OFF ※「ON」設定でアッテネーター 無効です。	
優先順位	チャイム起動放送の業務放送時の優先 順位を設定します。	1~16	
ページング起動	ページング起動放送の放送先 (スピー カー回線) を設定します。	1~340 (複数設定可能) ※システム構成登録による。	129
放送先設定			
優先放送設定	ページング起動放送の、放送先の優先 放送 (アッテネーター制御) を行うか 設定します。	ON/OFF ※「ON」設定でアッテネーター 無効です。	
優先順位	ページング起動放送の業務放送時の優 先順位を設定します。	1~16	
BGM起動	BGM起動放送の放送先 (スピーカー 回線) を設定します。	1~340 (複数設定可能) ※システム構成登録による。	131
放送先設定			

● スピーカー回線登録

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
音声出力チャンネル設定	入力マトリクスユニットの出力チャンネルを設定します。	1～32 ※システム構成登録による。	132
放送先設定	設定した出力チャンネルの放送先（スピーカー回線）を設定します。	1～340（複数設定可能） ※システム構成登録による。	

● その他の設定

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
状態出力	入出力制御ユニットの状態出力Noを設定します。	1～10 ※システム構成登録による。	134
状態出力設定			
状態選択	設定した状態出力をオンにする条件を設定します。	全27種類（複数設定可能） 非常放送中、発報放送中、火災放送中、一斉火災放送中、非火災放送中、非常操作マイク放送中、非常リモコンマイク放送中（1～8個別）、緊急放送中、業務放送中、システム設定中、点検モード中、EMG24Vプレイク異常発生中、スピーカー回線異常発生中、外部機器異常発生中、通信異常発生中、リモコン電源異常発生中、本体マイク異常発生中、非常蓄電池異常発生中、業務蓄電池異常発生中、増設ボード異常中	
汎用出力	汎用出力Noを設定します。（入出力制御ユニット接続分）	1～10 ※システム構成登録による。	135
汎用出力設定			
起動元設定	設定した汎用出力の起動元を設定します。	非常選択スイッチ1～340 業務選択スイッチ1～335 汎用出力スイッチ1～10 緊急放送スイッチ1～3 外部制御入力1～20 拡張外部制御入力1～140 チャイム起動 ページング起動 BGM起動 （複数設定可能）	
パスワード変更	書き込みモードへ入るパスワードを設定します。	000000～999999（数字6けた）	145

設定項目一覧

● 高度な設定

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
拡張外部制御入力	拡張外部制御入力の接点Noを設定します。（拡張制御ユニットまたは非常制御出力ユニット接続分）	1～140 ※システム構成登録による。	152
拡張外部制御入力設定			
種別選択	接点が業務放送用か緊急放送用か設定します。	業務放送／緊急放送	153
業務用拡張外部制御入力	使用する音声の入力マトリクスユニットでの入力チャンネルを設定します。	1～32 ※システム構成登録による。 ※本体接続の場合は「1」に設定。	
音声入力チャンネル設定			
業務用音声設定	音声入力チャンネルを「1」に設定した場合の使用する音声を設定します。	ライン入力／メッセージ音源	
入力ライン設定	音声にライン入力を設定した場合の、使用する入力ラインを設定します。	1～4 ※ライン2を緊急専用を設定している場合、「2」に設定できません。	
メッセージ音源設定	音声にメッセージ音源を設定した場合の、使用するメッセージ音源Noを設定します。	1～10 ※メッセージ音源を使用するには、内蔵音源登録が必要です。	
メッセージ音源再生回数設定	音声にメッセージ音源を設定した場合の再生回数を設定します。	1回再生／繰り返し再生	
業務用接点放送先設定	放送先（スピーカー回線）を設定します。	1～340（複数設定可能） ※システム構成登録による。	
優先放送設定	放送先の優先放送（アッテネーター制御）を行うか設定します。	ON/OFF ※「ON」設定でアッテネーター無効です。	
業務用優先順位設定	業務放送時の優先順位を設定します。	1～16	
緊急用拡張外部制御入力	使用する音声を設定します。	ライン2／メッセージ音源	156
緊急用音声設定			
メッセージ音源設定	音声にメッセージ音源を設定した場合の、使用するメッセージ音源Noを設定します。	1～10 ※メッセージ音源を使用するには、内蔵音源登録が必要です。	
メッセージ音源再生回数設定	音声にメッセージ音源を設定した場合の、再生回数を設定します。	1回再生／繰り返し再生	
緊急用接点放送先設定	放送先（スピーカー回線）を設定します。	1～340（複数設定可能） ※システム構成登録による。	
緊急用優先順位設定	緊急放送時の優先順位を設定します。	1～16	
グループ化	設定する外部制御入力グループのNoを表示します。	1～20	159
グループ設定			
外部制御入力設定	グループに登録する外部制御入力接点Noを設定します。	1～20（複数設定可能） ※システム構成登録による。	
拡張制御入力設定	グループに登録する拡張外部制御入力接点Noを設定します。	1～140（複数設定可能） ※システム構成登録による。	
音声入力チャンネル設定	使用する音声の入力マトリクスユニットでの入力チャンネルを設定します。	1～32 ※システム構成登録による。 ※本体接続の場合は「1」に設定。	

設定項目一覧

設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
音声設定	音声入力チャンネルを「1」に設定した場合の使用する音声を設定します。	ライン入力／メッセージ音源	159
入力ライン設定	音声にライン入力を設定した場合の、使用する入力ラインを設定します。	1～4 ※ライン2を緊急専用に設定している場合、「2」に設定できません。	
メッセージ音源設定	音声にメッセージ音源を設定した場合の、使用するメッセージ音源Noを設定します。	1～10 ※メッセージ音源を使用するには、内蔵音源登録が必要です。	
メッセージ音源再生回数設定	音声にメッセージ音源を設定した場合の、再生回数を設定します。	1回再生／繰り返し再生	
優先順位	グループの業務放送時の優先順位を設定します。	1～16	
グループ解除	グループ化を解除します。	はい／いいえ	
一斉スイッチ	設定する非常リモコンのユニットアドレスを設定します。	1～8 ※システム構成登録による。	164
非常リモコン(WR-EC500)ユニット設定			
一斉スイッチ放送先選択	非常リモコンの一斉スイッチの放送先を、自ユニットの全非常選択スイッチの総和にするか、非常操作ユニットの一斉スイッチと同じにするか選択します。	実装一斉／全一斉	
マルチリモコンマイクユニット(WR-MC100A)設定	設定するマルチリモコンマイクのユニットアドレスを設定します。	1～8 ※システム構成登録による。	
一斉スイッチ放送先選択	マルチリモコンマイクの一斉スイッチの放送先を、自ユニットの全ブロックスイッチの総和にするか、非常操作ユニットの一斉スイッチと同じにするか選択します。	実装一斉／全一斉	
リモコンマイク(WR-201/205A/210A)一斉スイッチ放送先選択	リモコンマイクの一斉スイッチの放送先を、自ユニットの全ブロック放送スイッチの総和にするか、非常操作ユニットの一斉スイッチと同じにするか選択します。	実装一斉／全一斉	
拡張汎用出力	設定する拡張汎用出力Noを表示します。(拡張制御ユニット接続分)	1～140 ※システム構成登録による。	167
拡張汎用出力設定			
起動元設定	拡張汎用出力の起動元を設定します。	非常選択スイッチ1～340 業務選択スイッチ1～335 汎用出力スイッチ1～10 緊急放送スイッチ1～3 外部制御入力1～20 拡張外部制御入力1～140 チャイム起動 ページング起動 BMG起動 (複数設定可能)	
メッセージスイッチ	設定するメッセージスイッチNoを表示します。	1～10 ※システム構成による	168
メッセージスイッチ設定			
メッセージ音源設定	スイッチが使用するメッセージ音源Noを設定します。	1～10 ※メッセージ音源を使用するには、内蔵音源登録が必要です。	
メッセージ再生回数設定	メッセージ音源の再生回数を設定します。	1回再生／繰り返し再生	

設定項目一覧

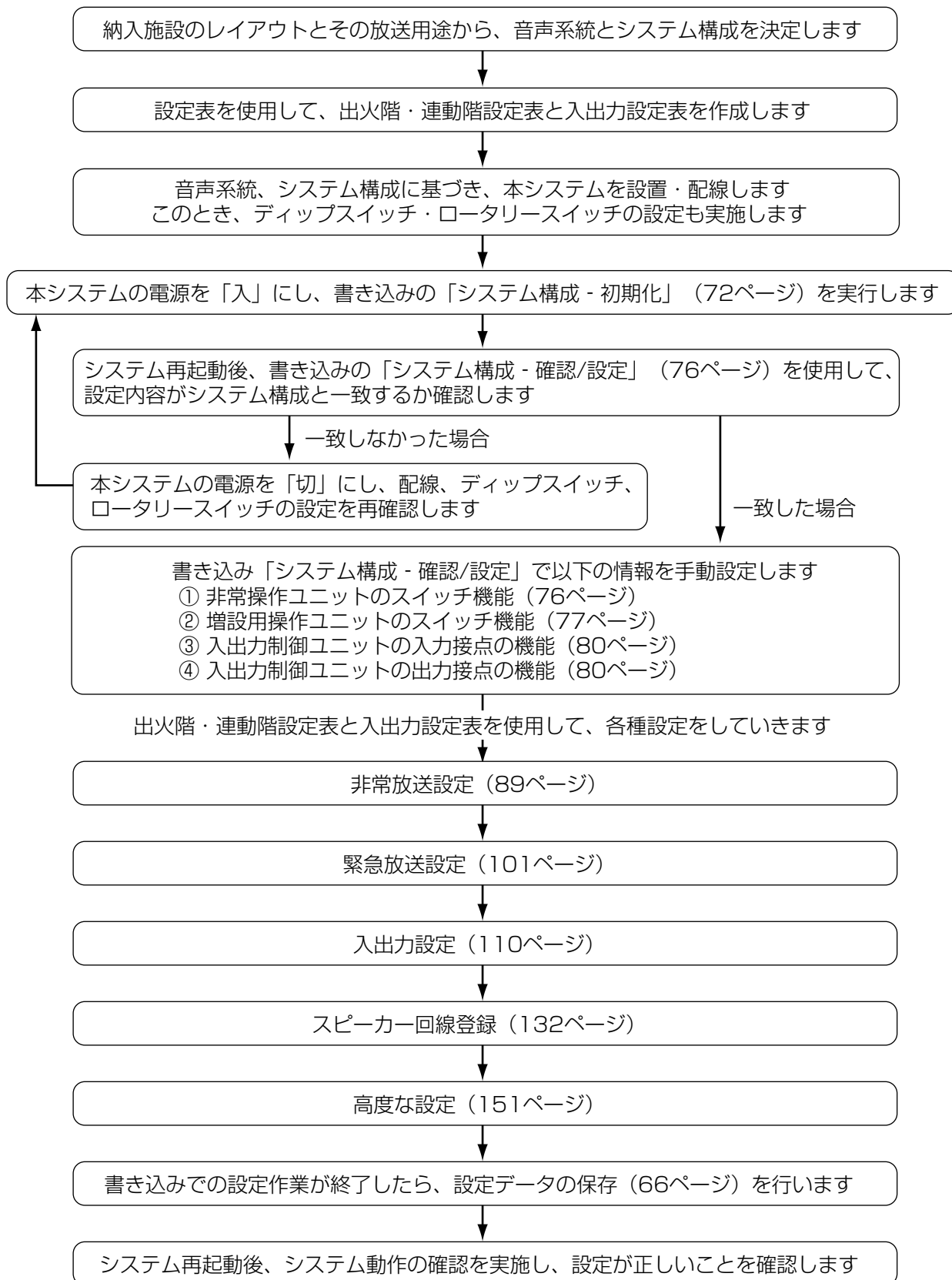
設定項目	設定内容	設定値	参照ページ
コールサイン		1～8	169
非常操作スイッチ1設定	非常操作ユニットのコールサイン1スイッチのコールサイン音源を設定します。	「1」：標準上り4音 「2」：標準下り4音 「3」：音源1 「4」：音源2 「5」：音源3 「6」：音源4 「7」：音源5 「8」：音源6 ※音源1～6を使用するには、内蔵音源登録が必要です。	
非常操作スイッチ2設定	非常操作ユニットのコールサイン2スイッチのコールサイン音源を設定します。	1～8 ※コールサイン音源の種類は、「非常操作スイッチ1設定」と同じです。	
ページング起動設定	ページング放送の起動時のコールサイン音源を設定します。	1～9 「1」：標準上り4音 「2」：標準下り4音 「3」：なし 「4」：音源1 「5」：音源2 「6」：音源3 「7」：音源4 「8」：音源5 「9」：音源6 ※音源1～6を使用するには内蔵音源登録が必要です。	170
ページング終了設定	ページング放送の終了時のコールサイン音源を設定します。	1～9 ※「1」～「9」のコールサイン音源の種類は、「ページング起動設定」と同じです。	
非常リモコン (WR-EC500)			171
非常リモコンユニット設定	設定する非常リモコンのユニットアドレスを設定します。	1～8 ※システム構成登録による。	
スイッチ1設定	非常リモコンのコールサイン1スイッチのコールサイン音源を設定します。	1～8 ※コールサイン音源の種類は、「非常操作スイッチ1設定」と同じです。	
スイッチ2設定	非常リモコンのコールサイン2スイッチのコールサイン音源を設定します。	1～8 ※コールサイン音源の種類は、「非常操作スイッチ1設定」と同じです。	
マルチリモコンマイク (WR-MC100A)			172
マルチリモコンユニットマイク設定	設定するマルチリモコンマイクのユニットアドレスを設定します。	1～8 ※システム構成登録による。	
上りスイッチ設定	マルチリモコンマイクのコールサイン上りスイッチのコールサイン音源を設定します。	1～9 「1」：標準上り4音 「2」：標準下り4音 「3」：RM音源 「4」：音源1 「5」：音源2 「6」：音源3 「7」：音源4 「8」：音源5 「9」：音源6 ※音源1～6を使用するには内蔵音源登録が必要です。	
下りスイッチ設定	マルチリモコンマイクのコールサイン下りスイッチのコールサイン音源を設定します。	1～9 ※コールサイン音は、「マルチリモコンマイク上りスイッチ設定」と同じです。	
リモコンマイク (WR-201/205A/210A) 上りスイッチ設定	リモコンマイクのコールサイン上りスイッチのコールサイン音源を設定します。	1～8 ※コールサイン音源の種類は、「非常操作スイッチ1設定」と同じです。	173
リモコンマイク (WR-201/205A/210A) 下りスイッチ設定	リモコンマイクのコールサイン下りスイッチのコールサイン音源を設定します。	1～8 ※コールサイン音源の種類は、「非常操作スイッチ1設定」と同じです。	
EMG24V個別制御			174
EMG24V個別接点設定	EMG24V個別ブレイク端子の端子Noを設定します。	1～140 ※システム構成登録による。	
放送先設定	放送先（スピーカー回線）を設定します。	1～340（複数設定可能） ※システム構成登録による。	
緊急放送時有効設定	緊急放送時に使用するかどうかを設定します。	有効／無効	

設定編について

設定編では、導入編で説明した画面・操作を使用して、本機で使用する設定データを編集・確認し、本機のメモリーに保存します。

実際の運用で使用する設定の流れを説明します。

設定の流れ

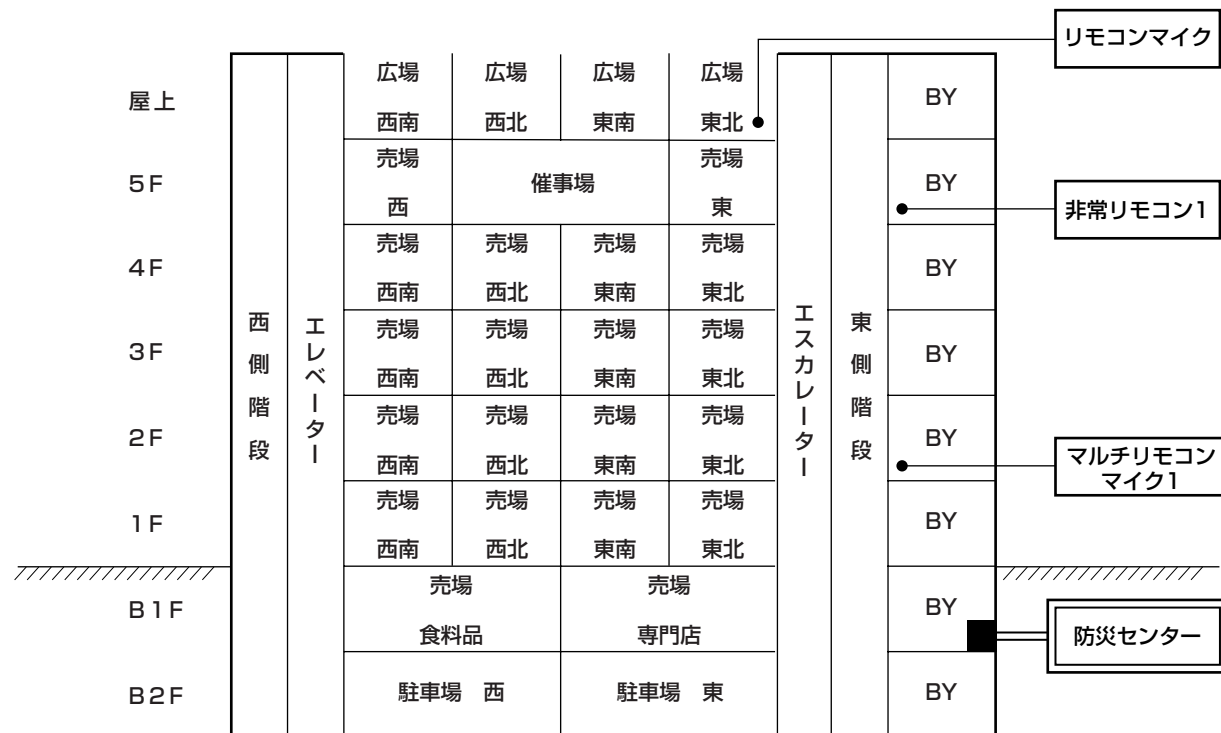


設定表の作成

書き込みを行う前に、出火階・連動階設定表と入出力設定表を作成し、システムの放送系統を確認してください。設定表は巻末にありますので、コピーしてご使用ください。

下記の建築物の例について、設定表を作成します。

例：商業施設



BY・・・バックヤードの略

●放送用途

非常放送

- ・音声警報
- ・マイク放送

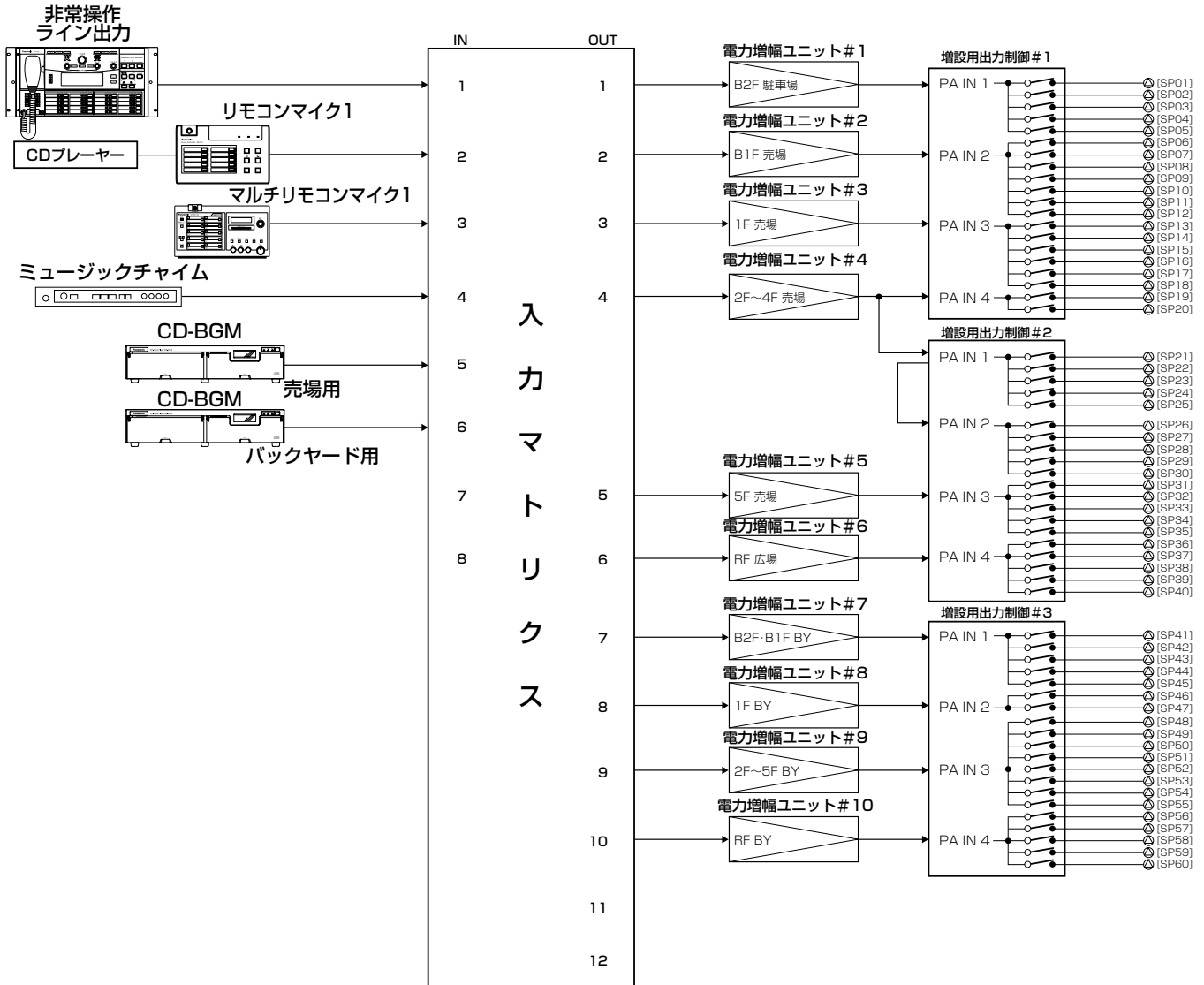
緊急放送

- ・緊急事態通知／内蔵音源でのメッセージ放送（緊急事態発生、地震発生など）

業務放送

- ・売場内BGM放送（CD-BGM）
- ・バックヤード内BGM・ラジオ体操など（CD-BGM）
- ・バックヤード内チャイム（チャイム）
- ・客用呼出放送（マルチリモコンマイク1）
- ・屋上広場呼出放送（リモコンマイク1）

●音声系統図



設定編

●おもなシステム構成

(架内接続については、設置工事編をご参照ください)

	数	備考
非常選択スイッチ	40局	非常操作ユニット (WK-ER500) と増設用操作ユニット (WK-EX520またはWR-EX520) 1台を使用
業務選択スイッチ	20局	増設用操作ユニット (WK-EX520またはWR-EX520) 1台を使用
音声入力	8in×12out	入力マトリクスユニット (WU-MX544) を6台使用
スピーカー回線	60回線	増設用出力制御ユニット (WU-ER552) を2台追加
リモコンマイク	1台	
マルチリモコンマイク	1台	

設定表の作成

●スイッチの割り当て

非常選択スイッチ

非常選択 スイッチ	放送エリア	出火階G	階別信号 No.	階情報音声		スピーカー回線 No.
				No.	文章	
1	B2F 駐車場東		1	61	地下駐車場	1、2、3、
2	B2F 駐車場西					4、5
3	B2F BY		2	44	地下2階	41、42
4	B1F 食料品売場		3	45	地下1階	6、7、8、9
5	B1F 専門店売場					10、11、12
6	B1F BY		4	45	地下1階	43、44、45
7	1F 売場東北		5	101	1階東側	13、14
8	1F 売場東南					15、16
9	1F 売場西北		6	102	1階西側	17
10	1F 売場西南					18
11	1F BY		7	1	1階	46、47
12	2F 売場東北		8	103	2階東側	19
13	2F 売場東南					20
14	2F 売場西北	9	104	2階西側	21	
15	2F 売場西南				22	
16	2F BY	10	2	2階	48、49	
17	3F 売場東北		11	105	3階東側	23
18	3F 売場東南					24
19	3F 売場西北		12	106	3階西側	25
20	3F 売場西南					26
21	3F BY		13	3	3階	50、51
22	4F 売場東北		14	107	4階東側	27
23	4F 売場東南					28
24	4F 売場西北		15	108	4階西側	29
25	4F 売場西南					30
26	4F BY		16	4	4階	52、53
27	5F 売場東			17	5	5階
28	5F 売場西	32				
29	5F 催事場	18		46	屋上	33、34、35
30	5F BY					54、55
31	RF 広場東北		19	46	屋上	36
32	RF 広場東南					37
33	RF 広場西北					38
34	RF 広場西南					39
35	RF BY		20	56		
36	エレベーター		21	53	エレベーター	57
37	エスカレーター		22	54	エスカレーター	58
38	東側階段		23	47	階段	59
39	西側階段		24	47	階段	60
40						

BY…バックヤードの略

業務選択スイッチ

業務選択 スイッチ	放送エリア	音声入力	スピーカー回線 No.	優先放送
1	売場一斉	CH 5 (客用BGM)	6、 7、 8、 9、 10、 11、 12、 13、 14、 15、 16、 17、 18、 19、 20、 21、 22、 23、 24、 25、 26、 27、 28、 29、 30、 31、 32、 33、 34、 35、 36、 37、 38、 39、 57、 58、 59、 60	×
2	駐車場一斉	CH 5 (客用BGM)	1、 2、 3、 4、 5	×
3				
4				
5				
6	BY一斉	CH 6 (BY用BGM)	41、 42、 43、 44、 45、 46、 47、 48、 49、 50、 51、 52、 53、 54、 55、 56	○
7				
8				
9				
10				
11	B2F一斉	CH 1	1、 2、 3、 4、 5、 41、 42	○
12	B1F一斉	CH 1	6、 7、 8、 9、 10、 11、 12、 43、 44、 45	○
13	1F一斉	CH 1	13、 14、 15、 16、 17、 18、 46、 47	○
14	2F一斉	CH 1	19、 20、 21、 22、 48、 49	○
15	3F一斉	CH 1	23、 24、 25、 26、 50、 51	○
16	4F一斉	CH 1	27、 28、 29、 30、 52、 53	○
17	5F一斉	CH 1	31、 32、 33、 34、 35、 54、 55	○
18	RF一斉	CH 1	36、 37、 38、 39、 56	○
19				
20				

BY…バックヤードの略

●設定表の記入

- ・ 出火階・連動階設定表記入例 (→62ページ)
- ・ 入出力設定表記入例 (→63ページ)

入出力設定表 (作成例)


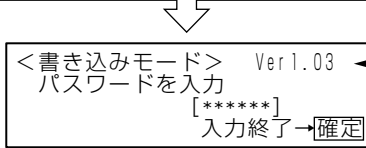
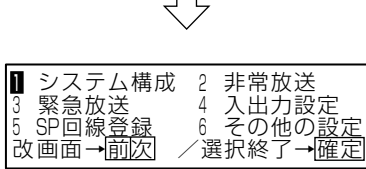
スイッチ種別	ユニット	階	スイッチ名称	スイッチ No.	優先順位		S		P		回		線			
					H	C	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
非常選択SW	非常操作本体		非常選択SW.1	1												
			非常選択SW.2	2												
			非常選択SW.3	3												
			非常選択SW.4	4												
			非常選択SW.5	5												
			非常選択SW.6	6												
			非常選択SW.7	7												
			非常選択SW.8	8												
			非常選択SW.9	9												
			非常選択SW.10	10												
			非常選択SW.11	11												
			非常選択SW.12	12												
			非常選択SW.13	13												
			非常選択SW.14	14												
			非常選択SW.15	15												
			非常選択SW.16	16												
			非常選択SW.17	17												
			非常選択SW.18	18												
			非常選択SW.19	19												
			非常選択SW.20	20												
業務選択SW	増設用操作 1		業務選択SW.1	1												
			業務選択SW.2	2												
			業務選択SW.3	3												
			業務選択SW.4	4												
			業務選択SW.5	5												
			業務選択SW.6	6												
			業務選択SW.7	7												
			業務選択SW.8	8												
			業務選択SW.9	9												
			業務選択SW.10	10												
			業務選択SW.11	11												
			業務選択SW.12	12												
			業務選択SW.13	13												
			業務選択SW.14	14												
			業務選択SW.15	15												
			業務選択SW.16	16												
			業務選択SW.17	17												
			業務選択SW.18	18												
			業務選択SW.19	19												
			業務選択SW.20	20												
業務選択SW	増設用操作 2		業務選択SW.1	1												
			業務選択SW.2	2												
			業務選択SW.3	3												
			業務選択SW.4	4												
			業務選択SW.5	5												
			業務選択SW.6	6												
			業務選択SW.7	7												
			業務選択SW.8	8												
			業務選択SW.9	9												
			業務選択SW.10	10												
			業務選択SW.11	11												
			業務選択SW.12	12												
			業務選択SW.13	13												
			業務選択SW.14	14												
			業務選択SW.15	15												
			業務選択SW.16	16												
			業務選択SW.17	17												
			業務選択SW.18	18												
			業務選択SW.19	19												
			業務選択SW.20	20												

・非常選択スイッチの場合は、入カマトリクスの入カCH1に設定します。

書き込み作業

書き込み作業の開始と終了

●書き込みを開始するには

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	液晶画面になにも表示されていない状態のときに、 動作選択 を3回押す ＜書き込みモード＞パスワード入力画面が表示されます。		本体のソフトウェアバージョン
2	マイクドア内テンキースイッチを使用してパスワードを入力し、 確定 を押す 入力したパスワードは「*****」で表示されます。お買い上げ時の設定は「999999」です。		
3	パスワードが正しければ、書き込みメニュー画面が表示されます。 これで書き込み作業を開始できます。		

※パスワードに誤りがあると、書き込みメニュー画面に移れません。

※パスワードを忘れてしまったときは、販売店（工事店）または販売会社にお問い合わせください。

書き込み作業

●書き込みを保存終了するには

番号	操作	画面	備考
—	—	書き込み画面	
1	書き込み画面表示中（どの画面であっても）に [動作選択] を押す 設定データ保存画面が表示されます。	↓ [動作選択] 設定データを保存します 1 はい 2 いいえ ※ 「はい」 選択 → 放送停止 移動 → [▶] [◀] / 選択終了 → [確定]	
2	[1] を押し、[確定] を押す <処理中>が表示され、保存処理中は「**」が右に 流れます。	↓ 1 [確定] <処理中> **	
3	保存処理を終了すると、<再起動>画面が表示され、 再起動処理が開始されます。	↓ <再起動> 再起動します	
4	再起動後、書き込みで設定した設定データが反映され た状態で、本機は動作します。	↓ 起動処理中 ↓ 非常用放送設備 WK-ER500 V1.03 ← 本体のソフト ウェア バージョン ↓	
5	保存する設定データのシステム構成が更新された場 合、不一致を示す画面が表示されます。問題があるな ら、[戻る] を押して保存を中止し、設定を再確認しま す。	↓ 前回のシステム構成から変更有り 現在のシステム構成で保存します ■ 変更点表示 2 保存・再起動 移動 → [▶] [◀] / 選択終了 → [確定]	

変更点表示で表示される画面の説明を次ページに示します。

●変更点を示す画面の説明

変更点	画面表示例	原因・対処
非常操作一増設用操作ユニット台数	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 本体増設用操作ユニット台数 前回情報: 1 現在情報: 2 改画面 → 前次 / 表示終了 → 戻る </div>	<p>非常操作ユニット (WK-ER500) に接続した増設用操作ユニット (WK-EX510/520、WR-EX510/520) の台数が、前回に登録した台数と異なる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現在情報」に表示している台数が、設定した台数と正しいことを確認します。
非常操作一増設用操作ユニットスイッチ数	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 本体増設用操作ユニット1 SW 数 前回情報: 20 現在情報: 10 改画面 → 前次 / 表示終了 → 戻る </div>	<p>非常操作ユニット (WK-ER500) に接続した増設用操作ユニット (WK-EX510/520、WR-EX510/520) のうち、前回に登録したときと設定したスイッチ数が異なる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現在情報」に表示している台数が、設定した台数と正しいことを確認します。
入力マトリクスユニット台数	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 入力マトリクスユニット台数 前回情報: 1 現在情報: 8 改画面 → 前次 / 表示終了 → 戻る </div>	<p>入力マトリクスユニット (WU-MX544) の台数が、前回登録したときと異なる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現在情報」に表示している台数が、設定した台数と正しいことを確認します。
入力マトリクスユニット有無	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 入力マトリクスユニット2 前回情報: 無 現在情報: 有 改画面 → 前次 / 表示終了 → 戻る </div>	<p>入力マトリクスユニット (WU-MX544) の有無が、前回登録したときと異なる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現在情報」に表示している情報が、設定した情報と一致することを確認します。
増設用出力制御ユニット台数	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 増設用出力制御ユニット台数 前回情報: 1 現在情報: 2 改画面 → 前次 / 表示終了 → 戻る </div>	<p>増設用出力制御ユニット (WU-ER551/552) の台数が、前回登録したときと異なる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「現在情報」に表示している台数が、設定した合計台数と正しいことを確認します。

書き込み作業

変更点	画面表示例	原因・対処
増設用出力制御ユニット有無	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 増設用出力制御ユニット² 前回情報: 無 現在情報: 有 改画面 → 前次 / 表示終了 → 戻る </div>	増設用出力制御ユニット (WU-ER551/552) の有無が、前回登録したときと異なる。 ・「現在情報」に表示している情報が、設定した情報と一致することを確認します。
増設用出力制御ユニット回線数	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 増設用出力制御ユニット¹ 回線数 前回情報: 20 現在情報: 10 改画面 → 前次 / 表示終了 → 戻る </div>	増設用出力制御ユニット (WU-ER551/552) 1が、前回登録したときと回線数が異なる。 ・「現在情報」に表示している回線数が、設定した回線数と正しいことを確認します。
拡張制御ユニット有無	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 拡張制御ユニット¹ 前回情報: 無 現在情報: 有 改画面 → 前次 / 表示終了 → 戻る </div>	拡張制御ユニット (WU-EX590) 1が、前回登録したときと異なる。 ・「現在情報」に表示している情報が、設定した情報と一致することを確認します。
拡張制御ユニットの入力機能	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 拡張制御ユニット¹ 入力機能 前回情報: 外部 現在情報: 一般 改画面 → 前次 / 表示終了 → 戻る </div>	拡張制御ユニット (WU-EX590) 1の入力機能が、前回登録したときと異なる。 ・「現在情報」に表示されている機能が、設定された機能と正しいことを確認します。
非常制御出力ユニット有無	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 非常制御出力ユニット¹ 前回情報: 無 現在情報: 有 改画面 → 前次 / 表示終了 → 戻る </div>	非常制御出力ユニット (WU-EM552) 1が、前回登録したときと異なる。 ・「現在情報」に表示している情報が、設定した情報と一致することを確認します。
非常制御出力ユニットの入力機能	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 非常制御出力ユニット¹ 入力機能 前回情報: 外部 現在情報: 一般 改画面 → 前次 / 表示終了 → 戻る </div>	非常制御出力ユニット (WU-EM552) 1の入力機能が、前回登録したときと異なる。 ・「現在情報」に表示されている機能が、設定された機能と正しいことを確認します。
非常リモコン有無	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 非常RM² 前回情報: 無 現在情報: 有 改画面 → 前次 / 表示終了 → 戻る </div>	非常リモコン (WR-EC500) 2が、前回登録したときと異なる。 ・「現在情報」に表示している情報が、設定した情報と一致することを確認します。

変更点	画面表示例	原因・対処
非常リモコン増設用 操作ユニット台数	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 非常RM1増設操作ユニット台数 前回情報:0 現在情報:1 改画面→前次 / 表示終了→戻る </div>	非常リモコン (WR-EC500) に接続した増設用操作ユニット (WK-EX510/520、WR-EX510/520) の台数が、前回登録した台数と異なる。 ・「現在情報」に表示している台数が、接続中の台数と正しいことを確認します。
非常リモコン増設用 操作ユニットスイッチ 数	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> 非常RM1増設操作ユニット1 SW数 前回情報:0 現在情報:20 改画面→前次 / 表示終了→戻る </div>	非常リモコン (WR-EC500) に接続した増設用操作ユニット (WK-EX510/520、WR-EX510/520) のうち、前回登録したときと設定したスイッチ数が異なる。 ・「現在情報」に表示している台数が、接続中の台数と正しいことを確認します。
マルチリモコンマイク 有無	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成情報変更点> マルチRM2 前回情報:無 現在情報:有 改画面→前次 / 表示終了→戻る </div>	マルチリモコンマイク (WR-MC100A) 2が、前回登録したときと異なる。 ・「現在情報」に表示している情報が、設定した情報と一致することを確認します。



●新たに接続した機器について

本機に新たに接続した機器は、正しくアドレス設定し接続が行われると、構成情報取得により認識します。以降のページで各機能を設定するとき、接続した機器のスイッチや回線が使用できない場合は、「メニュー」→「システム構成」→「確認/設定」により、正しく認識できていることを確認してください。

書き込み作業

●書き込みを保存せずに終了するには

番号	操作	画面	備考
—	—	書き込み画面	
1	書き込み画面表示中（どの画面であっても）に 動作選択 を押す 設定データ保存画面が表示されます。	↓ 動作選択	
2	2 を押し、確定 を押す 設定データを保存せず、書き込みを終了します。	設定データを保存します 1 はい 2 いいえ ※ 「はい」 選択 → 放送停止 移動 → ▶◀ / 選択終了 → 確定	
—	—	↓ 2 確定	


※ 設定データを保存しないで書き込み作業を終了すると、設定した各種データは消去され、以前の設定データが有効になります。

システム構成登録

本機を組み上げたとき、ユニットを追加／削除したとき、スイッチなどの機能を変更するときに、システム構成登録を行います。

システム構成登録は、使用目的によって以下の3つの機能が用意されています。

- (1) **初期化** : 本機を最初に組み上げたときに使用します。
実行と同時に内蔵コンピューターが、接続ユニットとそのディップスイッチやロータリースイッチの設定情報を自動的に取得し、システム構成情報とします。
さらに、取得したシステム構成情報に合わせて、スイッチ、スピーカーなどの設定値に初期値を自動設定します。
※実行後、設定データを自動的に保存し、本機を再起動します。再起動後は、取得した構成情報と初期化された設定値で動作します。実行後、必ず「確認／設定」で、取得したシステム構成情報を確認してください。
- (2) **更新** : ユニット追加／削除したときに使用します。
実行と同時に内蔵コンピューターが、接続ユニットとそのディップスイッチやロータリースイッチの設定情報を自動的に取得し、システム構成情報とします。ただし、スイッチやスピーカーなどの設定値は、以前の設定値を使用します。
ユニットの追加や、ディップスイッチやロータリースイッチの設定を変更した場合は、その部分の設定値は空欄になります。ユニットを削除した場合は、その部分の設定値は消去されます。
※実行後、必ず「確認／設定」で、取得したシステム構成情報を確認してください。
- (3) **確認／設定** : 初期化や、更新のあとに、システム構成を確認するときに使用します。
ただし、下記の情報は初期化や更新で自動取得できません。手動で設定します。
- ①非常操作ユニット (WK-ER500) のスイッチの機能
 - ②増設用操作ユニット (WK-EX510/520、WR-EX510/520) のスイッチの機能
 - ③入出力制御ユニット (WU-ER550) の接点入力の機能
 - ④入出力制御ユニット (WU-ER550) の接点出力の機能

 **重要** ● ディップスイッチやロータリースイッチの設定情報はシステムの電源投入時に認識されます。変更したときは、システムの電源を「切」にし、再度「入」にしてください。

書き込み作業

(1) 初期化

本機の配線を正しく接続し、各ユニットのディップスイッチやロータリースwitchを正しく設定してから、本機能を実施します。

番号	操作	画面	備考
—	—		65ページ参照
1	<p>書き込みメニュー画面を表示します。</p> <p>1 を押し、確定 を押す</p> <p>システム構成メニューが表示されます。</p> <p>1 を押し、確定 を押す</p>		
2	<p>確認画面が表示されます。</p>		
3	<p>1 を押し、確定 を押す</p> <p>システム構成の初期化が開始されます。</p> <p>システム構成の初期化処理中は、液晶画面上を「**」が右に流れます。</p>		
4	<p>10～20秒後、システム構成の初期化処理が終了し、再起動処理が開始します。</p>		
5	<p>「システム構成初期化」により設定された設定データが反映された状態で、本機が再起動します。</p>		

システム構成の初期化を実行すると、自動取得したシステム構成情報に基づいて、設定値が自動設定されます。その設定値を次ページに示します。



- 必ず、再起動後、システム構成の確認/設定（76ページ）で、システム構成情報を確認してください。実際のシステム構成と不一致がある場合は、ユニット間接続、ディップスイッチやロータリースwitchの設定に誤りがある場合があります。接続、ディップスイッチ、ロータリースwitchを再度確認後、システムの電源を「切」にし、再度「入」にしてから、再びシステム構成の初期化を実行してください。
- システム構成の初期化を実行すると、以前の設定データはすべて上書き消去されます。

「初期化」実行時に設定される値

スピーカー関連の初期値

スピーカー回線	非常操作ユニット	増設用操作ユニット	マルチリモコンマイク	一般リモコン	EMG24V個別	外部制御入力
スピーカー回線-1	非常選択スイッチ-1		ブロックスイッチ-1	ブロックスイッチ-1	EMG24V個別-1	外部制御入力-1
スピーカー回線-2	非常選択スイッチ-2		ブロックスイッチ-2	ブロックスイッチ-2	EMG24V個別-2	外部制御入力-2
スピーカー回線-3	非常選択スイッチ-3		ブロックスイッチ-3	ブロックスイッチ-3	EMG24V個別-3	外部制御入力-3
スピーカー回線-4	非常選択スイッチ-4		ブロックスイッチ-4	ブロックスイッチ-4	EMG24V個別-4	外部制御入力-4
スピーカー回線-5	非常選択スイッチ-5		ブロックスイッチ-5	ブロックスイッチ-5	EMG24V個別-5	外部制御入力-5
スピーカー回線-6	非常選択スイッチ-6		ブロックスイッチ-6	ブロックスイッチ-6	EMG24V個別-6	外部制御入力-6
スピーカー回線-7	非常選択スイッチ-7		ブロックスイッチ-7	ブロックスイッチ-7	EMG24V個別-7	外部制御入力-7
スピーカー回線-8	非常選択スイッチ-8		ブロックスイッチ-8	ブロックスイッチ-8	EMG24V個別-8	外部制御入力-8
スピーカー回線-9	非常選択スイッチ-9		ブロックスイッチ-9	ブロックスイッチ-9	EMG24V個別-9	外部制御入力-9
スピーカー回線-10	非常選択スイッチ-10		ブロックスイッチ-10	ブロックスイッチ-10	EMG24V個別-10	外部制御入力-10
スピーカー回線-11	非常選択スイッチ-11		ブロックスイッチ-11	ブロックスイッチ-11	EMG24V個別-11	拡張外部制御入力-1
スピーカー回線-12	非常選択スイッチ-12		ブロックスイッチ-12	ブロックスイッチ-12	EMG24V個別-12	拡張外部制御入力-2
スピーカー回線-13	非常選択スイッチ-13		ブロックスイッチ-13	ブロックスイッチ-13	EMG24V個別-13	拡張外部制御入力-3
スピーカー回線-14	非常選択スイッチ-14		ブロックスイッチ-14	ブロックスイッチ-14	EMG24V個別-14	拡張外部制御入力-4
スピーカー回線-15	非常選択スイッチ-15		ブロックスイッチ-15	ブロックスイッチ-15	EMG24V個別-15	拡張外部制御入力-5
スピーカー回線-16	非常選択スイッチ-16		ブロックスイッチ-16	ブロックスイッチ-16	EMG24V個別-16	拡張外部制御入力-6
スピーカー回線-17	非常選択スイッチ-17		ブロックスイッチ-17	ブロックスイッチ-17	EMG24V個別-17	拡張外部制御入力-7
スピーカー回線-18	非常選択スイッチ-18		ブロックスイッチ-18	ブロックスイッチ-18	EMG24V個別-18	拡張外部制御入力-8
スピーカー回線-19	非常選択スイッチ-19		ブロックスイッチ-19	ブロックスイッチ-19	EMG24V個別-19	拡張外部制御入力-9
スピーカー回線-20	非常選択スイッチ-20		ブロックスイッチ-20	ブロックスイッチ-20	EMG24V個別-20	拡張外部制御入力-10
スピーカー回線-21		非常選択スイッチ-21		ブロックスイッチ-21	EMG24V個別-21	拡張外部制御入力-11
スピーカー回線-22		非常選択スイッチ-22		ブロックスイッチ-22	EMG24V個別-22	拡張外部制御入力-12
スピーカー回線-23		非常選択スイッチ-23		ブロックスイッチ-23	EMG24V個別-23	拡張外部制御入力-13
スピーカー回線-24		非常選択スイッチ-24		ブロックスイッチ-24	EMG24V個別-24	拡張外部制御入力-14
スピーカー回線-25		非常選択スイッチ-25		ブロックスイッチ-25	EMG24V個別-25	拡張外部制御入力-15
スピーカー回線-140		非常選択スイッチ-140		ブロックスイッチ-140	EMG24V個別-140	拡張外部制御入力-130
スピーカー回線-141		非常選択スイッチ-141		ブロックスイッチ-141		拡張外部制御入力-131
スピーカー回線-150		非常選択スイッチ-150		ブロックスイッチ-150		拡張外部制御入力-140
スピーカー回線-151		非常選択スイッチ-151				
スピーカー回線-339		非常選択スイッチ-339				
スピーカー回線-340		非常選択スイッチ-340				

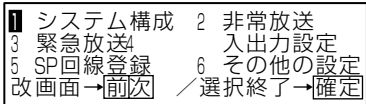

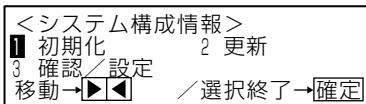

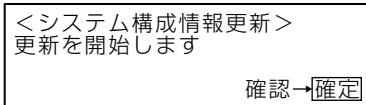

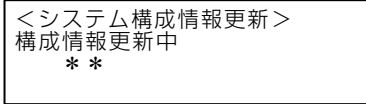

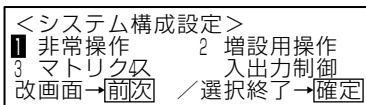
※システム構成により、数が合わない場合（スピーカー回線と非常選択スイッチ数など）は、余った部分は空白になります。

非常選択スイッチ関連の初期値

非常選択ユニット	増設操作ユニット	汎用出力	階別信号	階情報
非常選択スイッチ-1		汎用出力-1	階別信号-1	階情報-1
非常選択スイッチ-2		汎用出力-2	階別信号-2	階情報-2
非常選択スイッチ-3		汎用出力-3	階別信号-3	階情報-3
非常選択スイッチ-4		汎用出力-4	階別信号-4	階情報-4
非常選択スイッチ-5		汎用出力-5	階別信号-5	階情報-5
非常選択スイッチ-6		汎用出力-6	階別信号-6	階情報-6
非常選択スイッチ-7		汎用出力-7	階別信号-7	階情報-7
非常選択スイッチ-8		汎用出力-8	階別信号-8	階情報-8
非常選択スイッチ-9		汎用出力-9	階別信号-9	階情報-9
非常選択スイッチ-10		汎用出力-10	階別信号-10	階情報-10
非常選択スイッチ-11		拡張汎用出力-1	階別信号-11	階情報-11
非常選択スイッチ-12		拡張汎用出力-2	階別信号-12	階情報-12
非常選択スイッチ-13		拡張汎用出力-3	階別信号-13	階情報-13
非常選択スイッチ-14		拡張汎用出力-4	階別信号-14	階情報-14
非常選択スイッチ-15		拡張汎用出力-5	階別信号-15	階情報-15
非常選択スイッチ-16		拡張汎用出力-6	階別信号-16	階情報-16
非常選択スイッチ-17		拡張汎用出力-7	階別信号-17	階情報-17
非常選択スイッチ-18		拡張汎用出力-8	階別信号-18	階情報-18
非常選択スイッチ-19		拡張汎用出力-9	階別信号-19	階情報-19
非常選択スイッチ-20		拡張汎用出力-10	階別信号-20	階情報-20
	非常選択スイッチ-21	拡張汎用出力-11	階別信号-21	階情報-21
	非常選択スイッチ-22	拡張汎用出力-12	階別信号-22	階情報-22
	非常選択スイッチ-23	拡張汎用出力-13	階別信号-23	階情報-23
	非常選択スイッチ-24	拡張汎用出力-14	階別信号-24	階情報-24
	非常選択スイッチ-25	拡張汎用出力-15	階別信号-25	階情報-25
	非常選択スイッチ-66	拡張汎用出力-56	階別信号-66	階情報-66
	非常選択スイッチ-67	拡張汎用出力-57	階別信号-67	
	非常選択スイッチ-150	拡張汎用出力-140	階別信号-140	
	非常選択スイッチ-151		階別信号-141	
	非常選択スイッチ-339		階別信号-339	
	非常選択スイッチ-340		階別信号-340	

(2) 更新

本機にユニットを追加または削除した場合や、ユニットのディップスイッチやロータリースイッチの設定を変更した場合に、本機能を実施します。

番号	操作	画面	備考
—	—		65ページ参照
1	書き込みメニュー画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す システム構成メニューが表示されます。 [2] を押し、[確定] を押す	 [1] [確定]	
2	確認画面が表示されます。 [確定] を押す		
3	確認画面が表示されます。 [確定] を押す	 [2] [確定]	
3	システム構成の更新が開始されます。		
3	システム構成の更新処理中は、液晶画面上を「**」が右に流れます。	 [確定]	
4	10～20秒後、システム構成の更新処理が終了し、システム構成設定メニュー画面が表示されます。システム構成更新後、更新データの確認／設定をするため、自動的にシステム構成設定メニュー画面に移ります。		
			
			

- 重要** ●必ず、更新処理後システム構成の確認／設定（76ページ）で、システム構成情報を確認してください。実際のシステム構成と不一致がある場合は、ユニット間接続、ディップスイッチ、ロータリースイッチの設定に誤りがある場合があります。接続、ディップスイッチ、ロータリースイッチを再度確認後、システムの電源を「切」にし、再度「入」にしてから、再びシステム構成の更新を実行してください。

※外部制御入力のグループ化機能（159ページ）を使用しているときは、拡張制御ユニット（WU-EX590）、非常制御出力ユニット（WU-EM552）の構成を更新すると、すべての外部制御入力グループは解除されます。更新実行後は、再度外部制御入力のグループ化設定を行ってください。

書き込み作業

(3) 確認／設定

システム構成の確認や、手動でシステム構成を変更する場合に本機能を実行します。

●非常操作ユニット（WK-ER500）の放送階スイッチの機能を確認／設定します。

スイッチ機能は以下の2つ

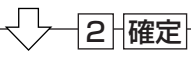
- ①非常選択スイッチ： 非常放送、緊急放送、業務放送で使用可
- ②業務選択スイッチ： 業務放送のみ使用可

番号	操作	画面	備考
—	—		65ページ参照
1	①を押し、 確定 を押す		
2	③を押し、 確定 を押す		
3	①を押し、 確定 を押す		
4	非常操作ユニット放送階スイッチ設定画面が表示され、現在設定されている値が表示されます。20局の放送階スイッチを非常選択スイッチと業務選択スイッチで5局単位の割付けを行います。 必要なスイッチ数を ▲▼ で設定後、確定 を押す システム構成メニュー画面に戻ります。		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※非常操作ユニットのスイッチ設定は、システム構成—初期化では、取得できない設定情報です。そのため、初期化実行時に強制的に非常選択スイッチに設定されています。必ず、手動で必要数を設定してください。

- 重要** ●非常選択スイッチは、非常操作ユニットと非常操作ユニットに接続する増設用操作ユニットの合計で、最低5局を設定してください。全体で0局には設定できません。

●増設用操作ユニット（WK-EX510/520、WR-EX510/520）の放送階スイッチの局数と機能を確認／設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		65ページ参照
1	書き込みメニュー画面を表示します。 ①を押し、 確定 を押す		
2	システム構成メニューが表示されます。 ③を押し、 確定 を押す		
3	システム構成設定メニュー画面が表示されます。 ②を押し、 確定 を押す		
4	増設用操作ユニット接続台数設定画面が表示され、接続されている増設用操作ユニットの台数が表示されます。 台数を変更する場合：必要な台数設定後 確定 を押す 変更のない場合： 確定 を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	増設用操作ユニットアドレス設定画面が表示されます。 確認／設定する増設用操作ユニットのアドレス番号設定後、 確定 を押す 増設用操作ユニット設定メニュー画面が表示されます。		
			
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※非常操作ユニットに接続される増設用操作ユニットの台数は、システム構成・初期化／更新で、自動取得できる構成情報です。設置台数と表示が異なる場合は、増設用操作ユニットの配線（接続）または、ロータリースイッチの設定を再確認します。

重要 ●増設用操作ユニットを手動設定するときの注意
システム構成の基本的な考えかたとして、非常操作ユニットと非常リモコン（WR-EC500）に接続される増設用操作ユニットは同じ台数としています。
したがって、本項目で非常操作ユニットに接続される増設用操作ユニットの台数を手動で設定した場合は、非常リモコンにも同じ台数の増設用操作ユニットが自動的に設定されます（非常リモコンがあるシステムに限定）。
非常リモコンに接続される増設用操作ユニットの台数を減らしたい場合、非常リモコンの設定（→87ページ）で増設用操作ユニットの接続設定を必ず行ってください。

以降の表中の番号は、本ページの表の続きとしています。増設用操作ユニットの設定項目についてそれぞれ説明を記述していますので、それぞれのページへお進みください。

書き込み作業

・増設用操作ユニット（WK-EX510/520、WR-EX510/520）の放送階スイッチの局数を確認／設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		77ページ参照
6	<p>増設用操作ユニット設定メニュー画面を表示します。</p> <p>1 を押し、確定 を押す</p> <p>増設用操作ユニットスイッチ設定画面が表示され、設定されている局数が反転表示されます。</p>		
7	<p>放送階スイッチの局数を確認し、設定したい局数を反転表示させてから、確定 を押す</p> <p>増設用操作ユニット設定メニュー画面に戻ります。</p>		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※非常操作ユニットに接続される増設用操作ユニットの局数は、システム構成・初期化／更新で、自動取得できる構成情報です。設置環境と表示が異なる場合は、増設用操作ユニットの接続を再確認します。

・増設用操作ユニット（WK-EX510/520、WR-EX510/520）の放送階スイッチの局数を確認／設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		77ページ参照
6	<p>増設用操作ユニット設定メニュー画面を表示します。</p> <p>2 を押し、確定 を押す</p> <p>増設用操作ユニット機能設定画面が表示され、設定されている機能が反転表示されています。</p>		
7	<p>増設用操作ユニットの機能を確認し、設定したい機能を反転表示させてから、確定 を押す</p> <p>増設用操作ユニットの機能は以下3つ</p> <p>①非常選択スイッチ用</p> <p>②業務選択スイッチ用</p> <p>③音源／汎用スイッチ用</p> <p>※③の音源／汎用スイッチ用は、スイッチ数20局のユニット限定で、非常操作ユニット下に1台限定です。</p> <p>増設用操作ユニット設定メニュー画面に戻ります。</p>		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※非常操作ユニットに接続される増設用操作ユニットの機能は、システム構成・初期化では、取得できない設定情報です。そのため、初期化実行時に強制的に非常選択スイッチで設定されています。必ず、手動で必要数を設定します。

※音源／汎用スイッチ機能の増設用操作ユニットは、メッセージスイッチ10局と汎用出力スイッチ10局から構成されたものです。メッセージスイッチへの内蔵音源の割り付けは168ページ、汎用出力スイッチの機能の割り付けは135ページをお読みください。

・入力マトリクスユニット (WU-MX544) 構成を確認／設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		65ページ参照
2	書き込みメニュー画面を表示します。 ①を押し、 確定 を押す		
3	システム構成メニューが表示されます。 ③を押し、 確定 を押す		
4	システム構成設定メニュー画面が表示されます。 ③を押し、 確定 を押す 入力マトリクスユニット設定画面に、設定されている入出力のチャンネル構成が表示されます。		
5	表示される入力チャンネル数と出力チャンネル数を確認し、 確定 を押す 変更する場合は、設定したいチャンネル数に設定変更後、 確定 を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	システム構成メニュー画面に戻ります。		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※入力マトリクスユニットの構成は、システム構成・初期化／更新で、自動取得できる構成情報です。設置環境と表示が異なる場合は、入力マトリクスユニットの接続、ロータリースイッチの設定を再確認します。

※入力マトリクスユニットを接続してない場合でも、入力チャンネル1、出力チャンネル1が表示されます。

※入力マトリクスユニットは、1台あたり入力4チャンネル 出力4チャンネルのユニットを、最大16台を組み合わせることができますが、構成には制約があります。

(例) 入力16チャンネル 出力8チャンネルの入力マトリクスを設定すると、下図の のような構成になります。

		出力チャンネル							
		4	8	12	16	20	24	28	32
入力チャンネル	4	(1)	(9)	(17)	(25)	(33)	(41)	(49)	(57)
	8	(2)	(10)	(18)	(26)	(34)	(42)	(50)	(58)
	12	(3)	(11)	(19)	(27)	(35)			
	16	(4)	(12)	(20)	(28)				
	20	(5)	(13)	(21)					
	24	(6)	(14)						
	28	(7)	(15)						
	32	(8)	(16)						

() 内はユニットアドレス

※ 入力マトリクスユニットの構成とアドレス設定については、工事説明書 設置工事編をお読みください。

書き込み作業

●入出力制御ユニット（WU-ER550）の入出力の機能を確認／設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		65ページ参照
1	書き込みメニュー画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す		
2	システム構成メニューが表示されます。 [3] を押し、[確定] を押す		
3	システム構成設定メニュー画面が表示されます。 入出力制御ユニット設定メニュー画面が表示されます。 [4] を押し、[確定] を押す		
—	—		

以降の表中の番号は、本ページの表の続きとしています。入出力制御ユニットの設定項目についてそれぞれ説明を記述していますので、それぞれのページへお進みください。

・ 入出力制御ユニット (WU-ER550) の入力接点の機能を確認／設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		80ページ参照
4	<p>入出力制御ユニット設定メニュー画面を表示します。</p> <p>① を押し、確定 を押す</p> <p>入出力制御ユニット入力接点設定画面が表示され、設定されている機能と接点数が表示されます。</p>		
5	<p>入力接点の機能と接点数を確認し、設定したい機能の接点数を ▲▼ で設定してから、確定 を押す</p> <p>入出力制御ユニットには、入力接点が20接点用意されています。その接点をリモコンマイクと外部制御入力で、5接点単位で割り振ります。 ※リモコンマイクは、液晶画面では、「一般RM」と表示されます。</p> <p>システム構成設定メニュー画面に戻ります。</p>		
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※入出力制御ユニットの機能は、システム構成—初期化では、取得できない設定情報です。そのため、初期化実行時に強制的にリモコンマイク10接点、外部制御入力10接点に設定されています。必ず、手動で必要数を設定します。

※リモコンマイクの詳細設定は120ページ、外部制御入力の詳細設定は緊急用104ページ、業務用115ページをお読みください。

書き込み作業

・入出力制御ユニット（WU-ER550）の出力接点の機能を確認／設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <入出力制御ユニット設定> 1 入力接点数 2 出力接点数 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div>	80ページ参照
4	入出力制御ユニット設定メニュー画面を表示します。 [2]を押し、[確定]を押し 入出力制御ユニット出力接点設定画面が表示され、設定されている機能と接点数が表示されます。	<div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <入出力制御ユニット設定> 状態出力接点数：10 汎用出力接点数：0 移動→▶◀◀ / 入力終了→[確定] </div>	
5	出力接点の機能と接点数を確認し、設定したい機能の接点数を▲▼で設定してから、[確定]を押し 入出力制御ユニットには、出力接点が10接点用意されています。その接点を状態出力と汎用出力で、5接点単位で割り振ります。 システム構成設定メニュー画面に戻ります。	<div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <システム構成設定> 1 非常操作 2 増設用操作 3 マトリクス 4 入出力制御 改画面→[前次] / 選択終了→[確定] </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※入出力制御ユニットの機能は、システム構成—初期化では、取得できない設定情報です。そのため、初期化実行時に強制的に汎用出力10接点に設定されています。必ず、手動で必要数を設定します。
 ※状態出力の機能設定は134ページ、汎用出力の機能設定は135ページをお読みください。

・増設用出力制御ユニット（WU-ER551/552）の構成を確認／設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		65ページ参照
1	書き込みメニュー画面を表示します。 1を押し、 確定 を押す		
2	システム構成メニューが表示されます。 3を押し、 確定 を押す		
3	システム構成設定メニュー画面が表示されます。 5を押し、 確定 を押す		
4	増設用出力制御ユニット台数設定画面が表示され、接続台数が表示されます。 台数を変更する場合：必要な台数設定後 確定 を押す 変更のない場合： 確定 を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	増設用出力制御ユニットアドレス設定画面が表示されます。 確認／設定する増設用出力制御ユニットのアドレス番号を設定後、 確定 を押す		
6	増設用出力制御ユニットの回線数設定画面が表示され、設定されている回線数が反転表示されます。 回線数を確認し、設定したい回線数を反転表示させてから、 確定 を押す 増設用出力制御ユニットアドレス設定画面に戻ります。		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※増設用出力制御ユニットの回線数は、システム構成・初期化／更新で、自動取得できる構成情報です。設置環境と表示が異なる場合は、増設用出力制御ユニットの接続、ロータリースイッチの設定を再確認します。

書き込み作業

● 拡張制御ユニット (WU-EX590) と非常制御出力ユニット (WU-EM552) の構成と機能を確認/設定します。
 拡張制御ユニット (WU-EX590) と非常制御出力ユニット (WU-EM552) の設置台数は、合計で7台までです。

番号	操作	画面	備考
—	—		65ページ参照
1	書き込みメニュー画面を表示します。 1 を押し、 確定 を押す		
2	システム構成メニューが表示されます。 3 を押し、 確定 を押す		
3	システム構成設定メニュー画面が表示されます。 6 を押し、 確定 を押す		
4	拡張/非常制御出力ユニット設定画面が表示され、接続台数が表示されます。 台数を変更する場合：必要な台数設定後 確定 を押す 変更のない場合： 確定 を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	拡張/非常制御出力ユニットアドレス設定画面が表示されます。 確認/設定する拡張/非常制御出力ユニットのアドレス番号を設定後、 確定 を押す		
6	拡張/非常制御出力ユニットのユニット選択画面が表示され、設定されているユニット名称が反転表示されます。		

※外部制御入力のグループ化機能 (159ページ) を使用しているときは、拡張制御ユニット、非常制御ユニットの構成を変更すると、すべての外部制御入力グループは解除されます。構成変更後は、再度外部制御入力のグループ化設定を行ってください。

以降の表中の番号は、本ページの表の続きとしています。拡張制御/非常出力制御ユニットの設定項目についてそれぞれ説明を記述していますので、それぞれのページへお進みください。

・ 拡張制御ユニット（WU-EX590）の入力接点の機能を確認／設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> < 拡張／非常制御ユニット1 > 1 拡張制御 2 非常制御出力 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	84ページ参照
7	<p>1を押し、確定を押す</p> <p>拡張制御ユニット設定画面が表示され、入力接点に設定されている機能が反転表示されます。</p>	<div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> < 拡張制御ユニット1 > 1 一般RM 2 拡張外部 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	
8	<p>入力接点の機能を確認し、設定したい機能を反転表示させてから、確定を押す</p> <p>拡張制御ユニットの入力接点は、その接点をリモコンマイク用とするか拡張外部制御入力用とするか設定します。</p> <p>※リモコンマイクは、液晶画面では、「一般RM」と表示されます。</p> <p>拡張／非常制御出力ユニットアドレス設定画面に戻ります。</p>	<div style="text-align: center;">↓</div>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> < 拡張／非常制御ユニット設定 > アドレス：■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定 </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※拡張制御ユニットの入力接点の機能は、システム構成・初期化／更新で、自動取得できる構成情報です。設置環境と表示が異なる場合は、拡張制御ユニットの接続、ロータリースイッチの設定を再確認します。

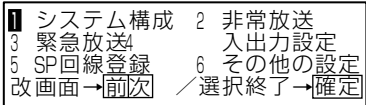

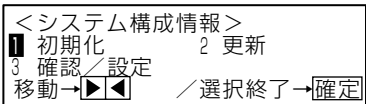

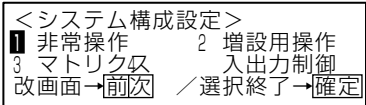
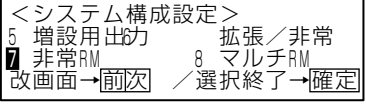

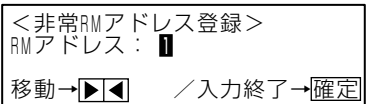

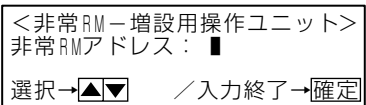

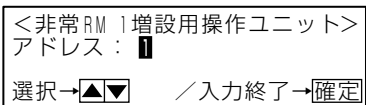

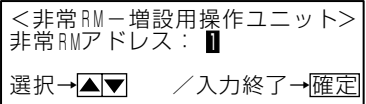
書き込み作業

・非常制御出力ユニット（WU-EM552）の入力接点の機能を確認／設定します。


番号	操作	画面	備考
—	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> < 拡張／非常制御ユニット1 > 1 拡張制御 2 非常制御出力 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	84ページ参照
7	<p>拡張／非常制御出力ユニットのユニット選択画面を表示します。</p> <p>2を押し、確定を押す</p> <p>非常制御出力ユニット設定画面が表示され、入力接点に設定されている機能が反転表示されます。</p>	<div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> < 非常制御出力ユニット1 > 1 一般RM 2 拡張外部 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	
8	<p>入力接点の機能を確認し、設定したい機能を反転表示させてから、確定を押す</p> <p>非常制御出力ユニットの入力接点は、その接点をリモコンマイク用とするか拡張外部制御入力用とするか設定します。</p> <p>※リモコンマイクは、液晶画面では、「一般RM」と表示されます。</p> <p>拡張／非常制御出力ユニットアドレス設定画面に戻ります。</p>	<div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> < 拡張／非常制御ユニット設定 > アドレス：■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定 </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※非常制御出力ユニットの入力接点の機能は、システム構成・初期化／更新で、自動取得できる構成情報です。設置環境と表示が異なる場合は、非常制御出力ユニットの接続、ロータリースイッチの設定を再確認します。

・非常リモコン（WR-EC500）の構成を確認／設定します。

番号	操作	画面	備考
1	—		65ページ参照
2	書き込みメニュー画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す	 [1] [確定]	
3	システム構成メニューが表示されます。 [3] を押し、[確定] を押す		
4	システム構成設定メニュー画面が表示されます。 [7] を押し、[確定] を押す	 [3] [確定]	
5	非常リモコンアドレス登録画面が表示され、接続されている非常リモコンのアドレスがすべて表示されます。 アドレスを変更する場合：必要なアドレスを設定後、[確定] を押す 変更のない場合：[確定] を押す		
			
6	非常リモコンアドレス設定画面が表示されます。 確認／設定する非常リモコンのアドレス番号を設定後、[確定] を押す	 [7]	
	非常リモコンに接続されているすべての増設用操作ユニットのアドレスが表示されます。 アドレスを変更する場合：必要なアドレスを設定後、[確定] を押す 変更のない場合：[確定] を押す		
7	非常リモコンアドレス設定画面に戻ります。	 [確定]	設定値の入力方法は21ページをお読みください
			
		 [1] [確定]	
			
		 [確定]	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。
			

※非常リモコンの台数と増設用操作ユニットの局数は、システム構成・初期化／更新で、自動取得できる構成情報です。設置環境と表示が異なる場合は、非常リモコン、増設用操作ユニットの接続、ロータリースイッチの設定を再確認します。

 ●非常リモコンに接続できる増設用操作ユニットの台数は、非常操作ユニットに接続した増設用操作ユニットと同じか、それ以下です。非常操作ユニット側でない増設用操作ユニットのアドレスは設定できません。

書き込み作業

・マルチリモコンマイク (WR-MC100A) の構成を確認／設定します。

番号	操作	画面	備考
1	—		65ページ参照
2	書き込みメニュー画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す		
3	システム構成メニューが表示されます。 [3] を押し、[確定] を押す		
4	システム構成設定メニュー画面が表示されます。 [8] を押し、[確定] を押す マルチリモコンマイクアドレス登録画面が表示され、接続されているすべてのアドレスが表示されます。		
5	アドレスを変更する場合は、必要なアドレスを設定後、[確定] を押す ※マルチリモコンマイクは、液晶画面では、「マルチRM」と表示されます。		設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	システム構成設定メニュー画面に戻ります。		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※マルチリモコンマイクの台数は、システム構成・初期化／更新で、自動取得できる構成情報です。設置環境と表示が異なる場合は、マルチリモコンマイクの接続、マルチリモコンマイクの設定を再確認します。

非常放送設定

出火階・連動階設定表

				階		B2	B2	B2	B1	B1	B1	1	1	1	1	1	
				No.		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
				スイッチ名称		B2F	B2F	B2F	B1F	B1F	B1F	1F	1F	1F	1F	1F	
				階情報		駐	駐	BY	食	専	BY	赤	赤	赤	赤	BY	
				名称		車	車		料	門		道	道	道	道		
階	スイッチ No.	階別信号 No.	No.	名称	場	場		品	店		東	東	西	西			
B2	1	1	61	地下駐車場	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
B2	2				●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B2	3				●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
B1	4	3	45	地下1階	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	
B1	5				○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	
B1	6				○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	
1	7	5	特101	1階東側	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	
1	8				○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●
1	9				○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●
1	10	6	特102	1階西側	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	
1	11				○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●
1	11	7	1	1階	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	

(1) 階別信号—スイッチの設定

階別信号（EL）番号を非常選択スイッチに割り当てます。

- システム構成情報初期化直後は、階別信号No.1以降がそれぞれ非常選択スイッチNo.1以降に1対1で割り当てています。

● 階別信号No.設定画面を表示します。

番号	操作	画面	備考
—	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 システム構成 2 非常放送 3 緊急放送 4 入出力設定 5 SP回線登録 6 その他の設定 改画面→前次 / 選択終了→確定</p> </div>	65ページ参照
1	書き込みメニュー画面を表示します。	↓ 2 確定	
2	2 を押し、 確定 を押す 非常放送メニュー画面が表示されます。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><非常放送メニュー> 1 階別信号-SW 2 出火連動設定 3 音声警報 4 汎用出力有無 移動→▶◀ / 選択終了→確定</p> </div>	
3	確定 を押す 階別信号No.設定画面が表示されます。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><階別信号-非常SW> 階別信号No: ■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定</p> </div>	

次ページの番号4に続きます。

書き込み作業

・作成した出火階・連動階設定表（本体スイッチの割り当て）にしたがい、階別信号No.と非常選択スイッチを設定します。

番号	操作	画面	備考
4	階別信号No.を入力する 【例】階別信号No.1を設定します。 1を押し、確定を押す		89ページ参照 設定値の入力方法は21ページをお読みください。
5	非常選択スイッチNo.を入力する 【例】階別信号No.1を非常選択スイッチNo.1とNo.2に割り当てます。 [,]、2を押し、確定を押す		
6	階別信号が入力したときに、放送する階情報を設定する 【例】階別信号No.1を階情報No.61「地下駐車場」に割り当てます。 ・[取消]を押して表示値を消す ・[6]、[1]を押し、[確定]を押す ※選択した階情報を[モニター音量]を押して、モニタースピーカーからの音声で確認できます。		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の4～6を繰り返して、各階別信号No.を設定します。



- 出火階グループ内で階別信号ごとに階情報を設定する場合は、先に(2)出火連動設定(→92ページ)を終了させてから階情報を設定してください。
- (2)出火連動設定(→92ページ)を変更すると、出火階グループの状況に合わせて階情報も自動的に変更されます。
出火連動設定を変更した場合は、再度階情報の設定を確認してください。
- 階情報No.には、67～100が存在しません。階情報を設定する際は注意してください。

標準登録されている標準階情報の一覧を以下に示します。

標準階情報

No.	日本語	英語	No.	日本語	英語
0		3	4	34階	on the 34th floor.
1	1階	on the 1st floor.	35	35階	on the 35th floor.
2	2階	on the 2nd floor.	36	36階	on the 36th floor.
3	3階	on the 3rd floor.	37	37階	on the 37th floor.
4	4階	on the 4th floor.	38	38階	on the 38th floor.
5	5階	on the 5th floor.	39	39階	on the 39th floor.
6	6階	on the 6th floor.	40	40階	on the 40th floor.
7	7階	on the 7th floor.	41	地下1階	in the 1st basement.
8	8階	on the 8th floor.	42	地下2階	in the 2nd basement.
9	9階	on the 9th floor.	43	地下3階	in the 3rd basement.
10	10階	on the 10th floor.	44	地下4階	in the 4th basement.
11	11階	on the 11th floor.	45	地下5階	in the 5th basement.
12	12階	on the 12th floor.	46	屋上	on the roof.
13	13階	on the 13th floor.	47	階段	on the stairs.
14	14階	on the 14th floor.	48	東階段	in the east stairway.
15	15階	on the 15th floor.	49	西階段	in the west stairway.
16	16階	on the 16th floor.	50	南階段	in the south stairway.
17	17階	on the 17th floor.	51	北階段	in the north stairway.
18	18階	on the 18th floor.	52	中央階段	at the central stairway.
19	19階	on the 19th floor.	53	エレベーター	in the elevator.
20	20階	on the 20th floor.	54	エスカレーター	on the escalator.
21	21階	on the 21st floor.	55	体育館	in the gymnasium.
22	22階	on the 22nd floor.	56	講堂	In the auditorium.
23	23階	on the 23rd floor.	57	体育館1階	on the 1st floor of the gymnasium.
24	24階	on the 24th floor.	58	体育館2階	on the 2nd floor of the gymnasium.
25	25階	on the 25th floor.	59	給食棟	in the kitchen building.
26	26階	on the 26th floor.	60	機械室	in the machine room.
27	27階	on the 27th floor.	61	地下駐車場	in the basement parking garage.
28	28階	on the 28th floor.	62	屋上駐車場	on the roof parking lot.
29	29階	on the 29th floor.	63	武道館	in the budoh-kan.
30	30階	on the 30th floor.	64	塔屋	in the cabin on the roof.
31	31階	on the 31st floor.	65	プール	at the swimming pool.
32	32階	on the 32nd floor.	66	この付近	in this vicinity.
33	33階	on the 33rd floor.			

書き込み作業

(2) 出火連動を設定

出火階の非常選択スイッチと連動階とする非常選択スイッチ番号を設定します。


番号	操作	画面	備考
—	—		65ページ参照
1	書き込みメニュー画面を表示します。		
2	2 を押し、確定 を押す 非常放送メニュー画面が表示されます。		
3	2 を押し、確定 を押す 出火階No.設定画面が表示されます。		

次ページの番号4に続きます。

・作成した出火階・連動階設定表にしたがい、出火階の非常選択スイッチNo.と連動階の非常選択スイッチNo.を設定します。

番号	操作	画面	備考
4	出火階（出火階を示す出火階表示灯<赤>と作動表示灯<緑>が点灯）の非常選択スイッチを設定します。 非常選択スイッチNo.を入力する 【例】非常選択スイッチNo.1を設定します。 1 を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <出火階連動階設定> 出火階SWNo : <input type="text" value="1"/> 選択→▲▼ / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">↓ 1 確定</div>	92ページ参照 設定値の入力方法は21ページをお読みください。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <出火階連動階設定> 出火階SWNo : 1 出火階グループSWNo : 1 移動→▶◀ / 入力終了→確定 </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">↓ 取消</div>	
5	出火階グループ（階別信号が入力したときに、同時に 出火階となる非常選択スイッチを出火階グループと呼 びます）を設定する 【例】非常選択スイッチNo.1, 2, 3を出火階グループに 設定します。 ・ 取消 を押し、入力欄を消去する ・ 1 、 , 、 2 、 , 、 3 を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <出火階連動階設定> 出火階SWNo : 1 出火階グループSWNo : 移動→▶◀ / 入力終了→確定 </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">↓ 1、2、3</div>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <出火階連動階設定> 出火階SWNo : 1 出火階グループSWNo : 3 移動→▶◀ / 入力終了→確定 </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">↓ 確定</div>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <出火階連動階設定> 出火階グループSWNo : 1, 2 連動階グループSWNo : 移動→▶◀ / 入力終了→確定 </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">↓ 4、5、6、7、8 9、10、11</div>	
6	出火階グループに対する連動階グループを設定する 【例】非常選択スイッチ4~11を連動階グループに設定 します。 ・ 取消 を押し表示値を消す ・ 4 、 , 、 5 、 , 、 6 、 , 、 7 、 , 、 8 、 , 、 9 、 , 、 10 、 , 、 11 、 , 、 11 、 , 押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <出火階連動階設定> 出火階グループSWNo : 1, 2 連動階グループSWNo : 10, 11 移動→▶◀ / 入力終了→確定 </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">↓ 確定</div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <出火階連動階設定> 出火階SWNo : <input type="text" value="1"/> 選択→▲▼ / 選択終了→確定 </div>	

上表の4~6を繰り返して、各出火階No.を設定します。

-  (1)階別信号-スイッチの設定 (→89ページ) でグループ設定を行うと、出火連動設定も自動的にグループ化されます。ただし、階別信号-スイッチの設定のグループ化を解除した場合は、出火連動設定のグループが解除されることはありません。階別信号-スイッチの設定のグループ化の設定/解除を行った場合は、出火連動設定を再度確認してください。

書き込み作業

(3) 音声警報の設定

非常放送の音声警報に関する設定をします。消防法令および管轄消防の指導にしたがった設定をします。



- 消防検査終了後の変更は、管轄消防の承認が必要です。

音声警報設定項目	設定内容	備考
発信機・手動起動放送	発報	
	火災	
発報連動	発報連動	
	発報連動停止	
感知器連動	連動	
	連動一斉	
言語設定	日本語	
	日本語+英語	
	日本語+英語+第2外国語	(増設メモリーボード必要)
	日本語+英語+第2外国語+第3外国語	(増設メモリーボード必要)
発報放送繰り返し回数	2回	
	3回	
	4回	
	5回	
	繰り返し	(0と入力)
発報放送繰り返し間隔	秒	(1~60秒)
火災放送移行タイマー	分 秒	(2分00秒~59分59秒)
一斉火災放送移行タイマー	有効	
	分 秒	(0分、2分00秒~59分59秒)
	無効	
手動連動設定	連動	
	個別	

●音声警報を設定するために、設定項目を選択する画面を表示します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。		65ページ参照
2	2 を押し、 確定 を押す 非常放送メニュー画面が表示されます。		
3	3 を押し、 確定 を押す 音声警報設定メニュー画面が表示されます。		

以降の表中の番号は、本ページの表の続きとしています。音声警報の設定項目についてそれぞれ説明を記述していますので、それぞれのページへお進みください。

・発信機・手動起動放送を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
4	音声警報設定メニュー画面を表示します。 1 を押し、 確定 を押す 発信機・手動起動放送設定が表示されます。		上表を参照
5	発報放送または火災放送を選択する 【例】発報を選択します。 1 を押し、 確定 を押す		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

書き込み作業

・発報連動を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 1 発信機・手動 2 発報連動 3 感知器連動 4 言語設定 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div>	95ページ参照
4	音声警報設定メニュー画面を表示します。 [2]を押し、[確定]を押す 発報連動/発報連動停止選択画面が表示されます。	<div style="text-align: center;">↓ [2] 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <発報連動設定> 1 発報連動 2 発報連動停止 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	
5	発報連動または発報連動停止を選択する 【例】発報連動を選択します。 [1]を押し、[確定]を押す	<div style="text-align: center;">↓ [1] 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 1 発信機・手動 2 発報連動 3 感知器連動 4 言語設定 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

・感知器起動・連動を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 1 発信機・手動 2 発報連動 3 感知器連動 4 言語設定 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div>	95ページ参照
4	音声警報設定メニュー画面を表示します。 [3]を押し、[確定]を押す 連動/連動一斉選択画面が表示されます。	<div style="text-align: center;">↓ [3] 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <感知器起動連動設定> 1 連動一斉 2 連動 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	
5	連動または連動一斉を選択する 【例】連動を選択します。 [2]を押し、[確定]を押す	<div style="text-align: center;">↓ [2] 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 1 発信機・手動 2 発報連動 3 感知器連動 4 言語設定 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

・言語設定を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 1 発信機・手動 2 発報連動 3 感知器連動 4 言語設定 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div>	95ページ参照
4	音声警報設定メニュー画面を表示します。 [4]を押し、[確定]を押す 言語設定画面が表示されます。	<div style="text-align: center;">↓ [4] 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <言語設定> 1 日 2 日+英 3 日+英+第2 4 日+英+第2+3 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	
5	放送言語を選択する 【例】日本語+英語を選択します。 [2]を押し、[確定]を押す	<div style="text-align: center;">↓ [2] 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 1 発信機・手動 2 発報連動 3 感知器連動 4 言語設定 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

・発報放送を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
4	音声警報設定メニュー画面を表示します。 [5] を押し、[確定] を押す 発報放送設定メニュー画面が表示されます。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <音声警報> 1 発信機・手動 2 発報連動 3 感知器連動 4 言語設定 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓ [5]</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 5 発報放送 6 火災移行時間 7 一斉火災移行 8 手動連動 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div>	95ページ参照
5	発報放送繰り返し回数を設定する [1] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <発報放送> 1 発報放送回数 2 発報放送間隔 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓ [1] 確定</div>	
6	発報放送繰り返し回数を選択する 【例】2回を選択します。 [確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <発報放送回数設定> 繰り返し回数：2 選択→▲▼ / 入力終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓ 確定</div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください。
7	発報放送繰り返し間隔を設定する [2] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <発報放送> 1 発報放送回数 2 発報放送間隔 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓ [2] 確定</div>	
8	発報放送繰り返し間隔を選択する 【例】2秒を選択します。 [▲] を1回押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <発報放送間隔設定> 繰り返し間隔時間：1 (秒) 選択→▲▼ / 入力終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓ [▲] 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <発報放送> 1 発報放送回数 2 発報放送間隔 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください。 設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

書き込み作業

・火災放送移行タイマーを設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		95ページ参照
4	音声警報設定メニュー画面を表示します。 6 を押し、 確定 を押す 火災放送移行タイマー設定画面が表示されます。		
5	火災放送移行タイマー時間を入力する 【例】4分30秒と入力します。 取消 を押して表示値を消し、 4 、 ▶ 、 3 、 0 を押し 確定 を押す	 	設定値の入力方法は21ページをお読みください。 設定値を保存する方法は66ページをお読みください。



●火災放送移行タイマーの設定時間が5分を越える場合は、所轄消防署の確認が必要です。

・一斉火災放送移行タイマーを設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 1 発信機・手動 2 発報連動 3 感知器連動 4 言語設定 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div>	95ページ参照
4	音声警報設定メニュー画面を表示します。 [7]を押し、[確定]を押す 一斉火災放送移行タイマー設定画面が表示されます。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 5 発報放送 6 火災移行時間 7 一斉火災移行 8 手動連動 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div> <p style="text-align: center;">↓ [7]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 5 発報放送 6 火災移行時間 7 一斉火災移行 8 手動連動 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div> <p style="text-align: center;">↓ [確定]</p>	
5	一斉火災放送移行タイマー有無を設定する 【例】有効を選択します。 [1]を押し、[確定]を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <一斉火災移行> 一斉火災放送移行設定 1 有効 2 無効 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <p style="text-align: center;">↓ [1] [確定]</p>	
6	一斉火災放送移行タイマー時間を入力する 【例】4分30秒と入力します。 [取消]を押して表示値を消し、[4]、[▶]、[3]、[0]を押し、[確定]を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <一斉火災移行時間> 一斉火災放送移行時間設定 第2タイマー： 6分 0秒 移動→▶◀ / 入力終了→確定 </div> <p style="text-align: center;">↓ [4] [▶] [3] [0]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <一斉火災移行時間> 一斉火災放送移行時間設定 第2タイマー： 4分 30秒 移動→▶◀ / 入力終了→確定 </div> <p style="text-align: center;">↓ [確定]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 1 発信機・手動 2 発報連動 3 感知器連動 4 言語設定 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください。 設定値を保存する方法は66ページをお読みください。



●一斉火災放送移行タイマーの設定時間が5分を越える場合は、所轄消防署の確認が必要です。

書き込み作業

・手動連動を設定します。


番号	操作	画面	備考
—	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 1 発信機・手動 2 発報連動 3 感知器連動 4 言語設定 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div>	95ページ参照
4	音声警報設定メニュー画面を表示します。 8 を押し、 確定 を押す 手動連動設定画面が表示されます	<div style="text-align: center;">↓ 8</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 5 発報放送 6 火災移行時間 7 一斉火災移行 8 手動連動 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div>	
	5	連動または個別を選択する 【例】連動を選択します。 1 を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <手動連動> 手動連動設定 1 連動 2 個別 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>
<div style="text-align: center;">↓ 1 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <音声警報> 1 発信機・手動 2 発報連動 3 感知器連動 4 言語設定 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div>			

●非常放送における汎用出力の有無を設定します。

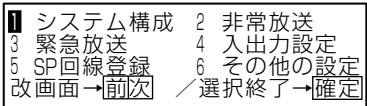
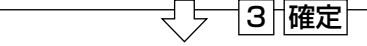
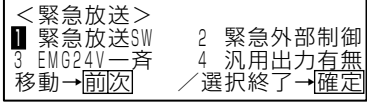
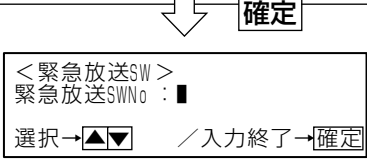
番号	操作	画面	備考
—	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 1 システム構成 2 非常放送 3 緊急放送 4 入出力設定 5 SP回線登録 6 その他の設定 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div>	65ページ参照
1	書き込みメニュー画面を表示します。 2 を押し、 確定 を押す	<div style="text-align: center;">↓ 2 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <非常放送メニュー> 1 階別信号-SW 2 出火連動設定 3 音声警報 4 汎用出力有無 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	
	2	非常放送メニューが表示されます。 4 を押し、 確定 を押す	<div style="text-align: center;">↓ 4 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <汎用出力> 非常放送時出力 1 有効 2 無効 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>
汎用出力有無選択画面が表示されます。 有効/無効を選択する ※ 非常放送時に、汎用出力を有効にするか無効にするかを設定します。 【例】有効を選択します。 1 を押し、 確定 を押す		<div style="text-align: center;">↓ 1 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <非常放送メニュー> 1 階別信号-SW 2 出火連動設定 3 音声警報 4 汎用出力有無 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	

緊急放送設定

(1) 緊急放送スイッチを設定します。

-  ●緊急放送スイッチは、工場出荷状態では音声の選択および放送先が設定されていないため、使用できません。緊急放送設定を行ない、使用できるようにしてください。

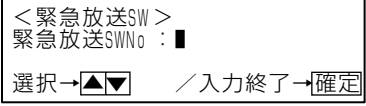
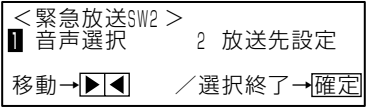
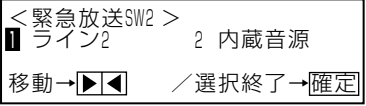

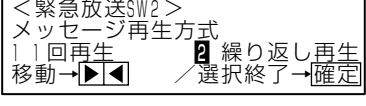
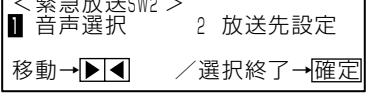
- 緊急放送スイッチNo.設定画面を表示します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。		65ページ参照
2	3 を押し、 確定 を押す 緊急放送メニュー画面が表示されます。		
3	確定 を押す 緊急放送スイッチNo.設定画面が表示されます。		
			

以降の表中の番号は、本ページの表の続きとしています。緊急放送スイッチの設定項目についてそれぞれ説明を記述していますので、それぞれのページへお進みください。

書き込み作業

- ・緊急放送スイッチの音声を選択します。
非常操作ユニット（WK-ER500）のライン2入力か、あらかじめ内蔵している内蔵音源から選択できます。

番号	操作	画面	備考
—	—		101ページ参照
4	緊急放送スイッチNo.設定画面を表示します。 緊急放送スイッチNo.を選択する 【例】緊急放送スイッチNo.2を設定します。 [▲]を2回押し、[確定]を押す		[▲] [▼] で 選択可能
5	音声を選択する [1]を押し、[確定]を押す		
6	ライン2または内蔵音源を選択する 【例】内蔵音源No.1 ・ [2]を押し、[確定]を押す 音源No.を選択する画面が表示されます。 ・ [1]を押し、[確定]を押す そのあと、音源再生の繰り返しを選択する。 (右の例は繰り返し再生です。)		
			
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の4~6を繰り返して、各緊急放送スイッチ（1~3）を設定します。



- ・本機には、お買い上げ時に10種類のメッセージが入った内蔵音源がすでに登録されています。(168ページのメッセージ一覧を参照してください)
また、お客様オリジナルのメッセージを登録することができます。(詳しくは設定支援ソフトの取扱説明書をお読みください)

・緊急放送スイッチの放送先スピーカー回線No.を選択します。

番号	操作	画面	備考
—	—		101ページ参照
4	緊急放送スイッチNo.設定画面を表示します。 緊急放送スイッチNo.を選択する 【例】緊急放送スイッチNo.1を設定します。 ▲ を押し、 確定 を押す	<緊急放送SW > 緊急放送SWNo : ■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定	設定値の入力方法は21ページをお読みください。
		↓ ▲ 確定	
5	放送先設定を選択する 2 を押し、 確定 を押す	<緊急放送SW1 > ■ 音声選択 2 放送先設定 移動→▶◀ / 選択終了→確定	▲ ▼ で選択可能
		↓ 2 確定	
6	放送先スピーカー回線番号を選択する 【例】スピーカー回線No.1～No.10を選択します。 1、,、2、,、3、,、4、,、 5、,、6、,、7、,、8、,、 9、,、1、0 を押したあと、 確定 を押す	<緊急放送SW1 > SPNo : ■ 移動→▶◀ / 入力終了→確定	設定値の入力方法は21ページをお読みください。
		↓ 1、2、3、 4、5、6	
		<緊急放送SW1 > SPNo : 1, 2, 3, 4, 5, 6 移動→▶◀ / 入力終了→確定	
		↓ , 7, 8, 9 , 10	
		<緊急放送SW1 > SPNo : 7, 8, 9, 10 改画面→前次 / 入力終了→確定	
		↓ 確定	
		<緊急放送SW1 > ■ 音声選択 2 放送先設定 移動→▶◀ / 選択終了→確定	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の4～6を繰り返して、各緊急放送スイッチ（1～3）を設定します。

書き込み作業

(2) 緊急用外部制御入力、設定



- 緊急用外部制御入力を設定するには、外部制御入力接点が必要です。システム構成で入出力制御ユニット（WU-ER550）の入力接点をすべてリモコンマイク（WR-201/205A/210A、WU-RM205）用に設定すると、外部制御用に設定するための入力接点なくなり、本項目は設定できません。
- 外部制御入力は、緊急放送と、業務放送で共用できません。緊急放送に使用する場合は、緊急用としての設定が必要です。


●緊急用外部制御入力No.設定画面を表示します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示する		65ページ参照
2	3 を押し、 確定 を押す 緊急放送メニュー画面が表示されます。		
3	2 を押し、 確定 を押す 緊急用外部制御入力No.入力画面が表示されます。		

以降の表中の番号は、本ページの表の続きとしています。緊急用外部制御入力の設定項目についてそれぞれ説明を記述していますので、それぞれのページへお進みください。

- 緊急用外部制御入力の音声を選択します。
非常操作ユニット (WK-ER500) のライン2入力もしくは、あらかじめ内蔵している内蔵音源から選択できます。

番号	操作	画面	備考
—	—		104ページ参照
4	緊急用外部制御入力No.設定画面を表示します。 緊急用外部制御入力No.を選択する 【例】緊急用外部制御入力No.5を設定します。 5 を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <緊急外部制御入力> 外部制御入力No: 5 選択→▲▼ / 入力終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓ 5 確定</div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください。
5	音声を選択する 1 を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <緊急外部制御入力5 > 1 音声選択 2 放送先設定 3 優先順位設定 4 緊急設定解除 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓ 1 確定</div>	
6	ライン2または内蔵音源を選択する 【例】内蔵音源No.2 <ul style="list-style-type: none"> ・2を押し、確定を押す 音源No.を選択する画面が表示されます。 ・2を押し、確定を押す そのあと、音源再生の繰り返しを選択する。 (右の例は繰り返し再生です。) 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <緊急外部制御入力5 > 1 ライン2 2 内蔵音源 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓ 2 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <緊急外部制御入力5 > 内蔵音源 メッセージNo: 2 選択→▲▼ / 入力終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓ 2 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <緊急外部制御入力5 > メッセージ再生方式 1 1回再生 2 繰り返し再生 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓ 2 確定</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <緊急外部制御入力5 > 1 音声選択 2 放送先設定 3 優先順位設定 4 緊急設定解除 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください。 設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

- 
 ●本機には、お買い上げ時に10種類のメッセージが入った内蔵音源がすでに登録されています。(168ページのメッセージ一覧を参照してください)
 また、お客様オリジナルのメッセージを登録することができます。(詳しくは設定支援ソフトの取扱説明書をお読みください)

書き込み作業

・緊急用外部制御入力の放送先スピーカー回線No.を選択します。

番号	操作	画面	備考
—	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <緊急外部制御入力> 外部制御入力No: ■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定 </div>	104ページ参照
4	緊急用外部制御入力No.設定画面を表示します。 緊急用外部制御入力No.を選択する 【例】緊急用外部制御入力No.10を設定します。 1 、 0 を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <緊急外部制御入力10> 1 音声選択 2 放送先設定 3 優先順位設定 4 緊急設定解除 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください。
5	放送先設定を選択する 2 を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <緊急外部制御入力10> SPNo: ■ 移動→▶◀ / 入力終了→確定 </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください。
6	放送先スピーカー回線番号を選択する 【例】スピーカー回線No.6~No.10を選択します。 6 、 , 、 7 、 , 、 8 、 , 、 9 、 , 、 1 、 0 を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <緊急外部制御入力10> SPNo: 6, 7, 8, 9, 10 移動→▶◀ / 入力終了→確定 </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

・緊急用外部制御入力の優先順位を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <緊急外部制御入力> 外部制御入力No: ■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定 </div>	104ページ参照
4	緊急用外部制御入力No.設定画面を表示します。 緊急用外部制御入力No.を選択する 【例】緊急用外部制御入力No.15を設定します。 1 、 5 を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <緊急外部制御入力15> 1 音声選択 2 放送先設定 3 優先順位設定 4 緊急設定解除 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください。
5	優先順位設定を選択する 3 を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <緊急外部制御入力15> 優先順位(1-16): 0 (位) 選択→▲▼ / 入力終了→確定 </div>	
6	優先順位を入力する 【例】3位に設定します。 取消 を押して表示値を消し、 3 を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <緊急外部制御入力15> 1 音声選択 2 放送先設定 3 優先順位設定 4 緊急設定解除 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

・緊急用に設定した外部制御入力を、業務用に戻す設定方法です。

番号	操作	画面	備考
—	—	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <緊急外部制御入力> 外部制御入力No: ■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定 </div>	104ページ参照
4	緊急用外部制御入力No.設定画面を表示します。 緊急用外部制御入力No.を選択する 【例】緊急用外部制御入力No.1の解除を行います。 1を押し、確定を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ↓ 1 確定 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <緊急外部制御入力1> 1 音声選択 2 放送先設定 3 優先順位設定 4 緊急設定解除 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	緊急設定解除を選択する 4を押し、確定を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ↓ 4 確定 </div>	
6	解除する 1を押し、確定を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <緊急外部制御入力1> 緊急用設定を解除します 1 はい 2 いいえ 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ↓ 1 確定 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <緊急外部制御入力1> 1 音声選択 2 放送先設定 3 優先順位設定 4 緊急設定解除 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

書き込み作業

(3) EMG24V一斉ブレイク制御の設定

緊急放送時に、EMG24V一斉ブレイク接点の制御を行うかを設定します。

- ・緊急放送時EMG24V一斉ブレイク制御選択画面を表示し、設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		65ページ参照
1	書き込みメニュー画面を表示します。		
2	③を押し、 確定 を押す 緊急放送メニュー画面が表示されます。		
3	③を押し、 確定 を押す 緊急放送時EMG24V一斉ブレイク制御選択画面が表示されます。		
4	制御を行うかを設定する 【例】緊急放送時にEMG24V一斉ブレイク制御を行うように設定します。 ①を押し、 確定 を押す		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

- ・緊急放送における汎用出力の有無を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		65ページ参照
1	書き込みメニュー画面を表示します。		
2	④を押し、 確定 を押す 汎用出力有無選択画面が表示されます。		
3	有効／無効を選択する ※ 緊急放送時に、汎用出力を有効にするか無効にするかを設定します。 【例】有効を選択します。 ①を押し、 確定 を押す		

(4) ライン2の設定

非常操作ユニット（WK-ER500）のライン2入力を緊急放送専用または業務放送と兼用かを設定します。

・ライン2設定画面を表示し、設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。		65ページ参照
2	3を押し、確定を押す 緊急放送メニュー画面が表示されます。		
3	5を押し、確定を押す ライン2緊急専用／緊急業務兼用選択画面が表示されます。	 	
4	専用／兼用のいずれかを設定する 【例】ライン2を緊急放送専用に設定します。 1を押し、確定を押す		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

入出力設定

非常放送、緊急放送以外の放送に関わる設定をします。放送起動元ごとにメニューが分かれています。

●入出力設定メニューを表示します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。 4 を押し、 確定 を押す		65ページ参照
	入出力設定メニュー画面が表示されます。		

以降の表中の番号は、本ページの表の続きとしています。設定を行う放送起動元ごとに説明を記述していますので、それぞれのページへお進みください。

- (1) 本体スイッチ
- (2) 業務用外部制御入力
- (3) リモコンマイク (WR-201/205A/210A、WU-RM205) (画面では「一般RM」と表記しています。)
- (4) マルチリモコンマイク (WR-MC100A) (画面では「マルチRM」と表記しています。)
- (5) 非常リモコン (WR-EC500)
- (6) チャイム起動
- (7) ページング起動
- (8) BGM起動

(1) 本体スイッチの設定

非常操作ユニット (WK-ER500)、非常リモコン (WR-EC500) に接続される非常選択スイッチの放送先スピーカー回線No.、業務選択スイッチの音声入力チャンネル、放送先スピーカー回線No.および優先放送を設定します。さらに非常操作ユニットの優先順位を設定します。

・非常選択スイッチの放送先スピーカー回線No.を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	入出力設定メニュー画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す		110ページ参照
3	本体スイッチ設定メニュー画面が表示されます。 [1] を押し、[確定] を押す		
4	非常選択スイッチNo.を入力する。 【例】非常選択スイッチ1を設定します。 [1] を押し、[確定] を押す ※システム構成にないスイッチNo.は入力できません。		スイッチ総数 設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	放送先スピーカー回線No.を設定する 【例】スピーカー回線No.1~No.2設定します。 [取消] を押して表示値を消し、[1]、[、]、[2] を押し、[確定] を押す		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の2~5を繰り返して、各非常選択スイッチを設定します。

書き込み作業

・業務選択スイッチの音声を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	入出力設定メニュー画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <入出力設定> 1 本体SW 2 外部制御入力 3 一般RM 4 マルチRM 改画面→前次 /選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">↓ [1] [確定]</div>	110ページ参照
3	本体スイッチ設定メニュー画面が表示されます。 [2] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <本体SW> 1 非常選択SW 2 業務選択SW 3 本体優先順位 移動→▶◀ /選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">↓ [2] [確定]</div>	
4	業務選択スイッチNo.を入力する ※システム構成にないスイッチNo.は入力できません	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <業務選択SW>SW数: 20 ← 業務選択SWNo: [] 選択→▶◀ /入力終了→[確定] </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">↓ [1] [確定]</div>	スイッチ 総数
5	音声を選択する。 [1] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <業務選択SW1 > 1 音声入力CH 2 放送先設定 移動→▶◀ /選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">↓ [1] [確定]</div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	マトリクスユニットの音声入力チャンネルを選択する 【例】入力CH1を選択します。 [取消] を押して表示値を消し、[1] を押し、[確定] を押す ※入力CH2以降を選択するためには、あらかじめシステム構成で入力マトリクスユニットを登録しておきます (→79ページ)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <業務選択SW1 > 音声入力CH: [0] 選択→▶◀ /入力終了→[確定] </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;">↓ [取消] [1] [確定]</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <業務選択SW1 > 1 音声入力CH 2 放送先設定 移動→▶◀ /選択終了→[確定] </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください 設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の2～6を繰り返して、各業務選択スイッチを設定します。

・業務選択スイッチの放送先スピーカー回線No.を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	入出力設定メニュー画面を表示します。 1 を押し、 確定 を押す		110ページ参照
3	本体スイッチ設定メニュー画面が表示されます。 2 と、 確定 を押す		
4	業務選択スイッチNo.を入力する ※システム構成にないスイッチNo.は入力できません。		スイッチ総数 設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	放送先設定を設定する 2 を押し、 確定 を押す		
6	放送先スピーカー回線No.を設定する 【例】スピーカー回線No.3～No.6を設定します。 取消 を押して表示値を消し、 3 、 , 、 4 、 , 、 5 、 , 、 6 を押したあと、 確定 を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
7	優先放送を設定する* 【例】優先放送OFFを選択します。 2 を押し、 確定 を押す		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の2～7を繰り返して、各業務選択スイッチを設定します。

※優先放送を有効（「ON」設定）にすると、スピーカー回線のアッテネーター（音量調整器）の調整音量に関係なく最大音量で放送できます。アッテネーターが「OFF」のときでも最大音量で放送できます。（ただし、3線式配線の場合にかぎりませす。）

書き込み作業

・非常操作ユニット（WK-ER500）の業務放送における優先順位を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	入出力設定メニュー画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <入出力設定> 1 本体SW 2 外部制御入力 3 一般RM 4 マルチRM 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> ↓ [1] 確定 </div>	110ページ参照
	本体スイッチ設定メニュー画面が表示されます。 [3] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <本体SW> 1 非常選択SW 2 業務選択SW 3 本体優先順位 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> ↓ [3] 確定 </div>	
3	優先順位を入力する 【例】優先順位8位に設定します。 [取消] を押して表示値を消し、[8] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <非常操作ユニット優先順位> 優先順位(1-16) : 9 (位) 選択→▲▼ / 入力終了→確定 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> ↓ [取消] [8] 確定 </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <本体SW> 1 非常選択SW 2 業務選択SW 3 本体優先順位 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。


(2) 業務用外部制御入力の設定

業務放送用の外部制御入力接点の音声、放送先スピーカー回線No.および優先放送を設定します。さらに優先順位を設定します。

業務用外部制御入力は、放送する音声として以下から選択できます。

音声

- ・非常操作ユニット（WK-ER500）に接続するライン1～4
- ・非常操作ユニット（WK-ER500）にあらかじめ内蔵した内蔵音源1～10（1回のみ再生／繰り返し再生を選択可能）
- ・入力マトリクスユニット（WU-MX544）に接続する入力CH2以降の音声

-  **重要**
- 業務用外部制御入力の設定を行うためには、あらかじめ外部制御入力接点が必要です。システム構成で入出力制御ユニット（WU-ER550）の入力接点をすべてリモコンマイク用に設定すると、外部制御入力接点がなくなってしまい、本項目は表示されず設定できなくなります。
 - 外部制御入力は、緊急用と業務用を共用することはできません。緊急用に設定されている外部制御入力は、業務用には設定できません。

書き込み作業

・業務用外部制御入力の音声として本体ライン入力を設定します。


番号	操作	画面	備考
—	—		
2	入出力設定メニュー画面を表示します。 2 を押し、 確定 を押す 業務用外部制御入力No.設定画面が表示されます。	<p><入出力設定> 1 本体SW 2 外部制御入力 3 一般RM 4 マルチRM 改画面→前次 / 選択終了→確定</p>	110ページ参照
3	業務用外部制御入力No.を入力する 【例】外部制御入力7を設定します。 7 を押し、 確定 を押す 業務用外部制御入力設定メニュー画面が表示されます。	<p><業務外部制御入力> 外部制御入力No: 7 選択→▲▼ / 入力終了→確定</p>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
4	設定項目からマトリクスユニットの音声入力CHを選択する 1 を押し、 確定 を押す	<p><業務外部制御入力7 > 1 音声入力CH 2 放送先設定 3 優先順位設定 移動→▶◀ / 選択終了→確定</p>	
5	マトリクスユニットの音声入力CH1を設定する 取消 を押して表示値を消し、 1 を押し、 確定 を押す ※非常操作ユニットに接続する音声（ライン1～4）を設定する場合は、音声入力はCH1設定に限定されます。	<p><業務外部制御入力7 > 音声入力CH: 1 選択→▲▼ / 入力終了→確定</p>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	音声としてライン入力を選択する 1 を押し、 確定 を押す 放送するライン入力No.を設定する 【例】ライン3を設定します 取消 を押して表示値を消し、 3 を押し、 確定 を押す	<p><業務外部制御入力7 > 音声選択 1 ライン入力 2 内蔵音源 移動→▶◀ / 選択終了→確定</p>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
		<p><業務外部制御入力7 > ライン入力設定 ライン入力: 3 選択→▲▼ / 入力終了→確定</p>	
		<p><業務外部制御入力7 > 1 音声入力CH 2 放送先設定 3 優先順位設定 移動→▶◀ / 選択終了→確定</p>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の2～6を繰り返して、各業務用外部制御入力を設定します。

・業務用外部制御入力の音声として内蔵音源を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	入出力設定メニュー画面を表示します。 2 を押し、 確定 を押す 業務用外部制御入力No.設定画面が表示されます。		110ページ参照
3	業務用外部制御入力No.を入力する 【例】 外部制御入力8を設定します。 8 を押し、 確定 を押す 業務用外部制御入力設定メニュー画面が表示されます。		設定値の入力方法は21ページをお読みください
4	設定項目からマトリクスユニットの音声入力CHを選択する 1 を押し、 確定 を押す		
5	マトリクスユニットの音声入力CH1を設定する 取消 を押して表示値を消し、 1 を押し、 確定 を押す ※内蔵音源を選択する場合は、音声入力はCH1設定に限定されます。		設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	音声として内蔵音源を選択する 2 を押し、 確定 を押す		
7	放送する内蔵音源のメッセージNo.を設定する 【例】 メッセージ5を設定します 5 を押し、 確定 を押す 再生方式を選択する 【例】 1回再生を選択します。 1 を押し、 確定 を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の2～7を繰り返して、各業務用外部制御入力を設定します。

- 
 本機には、お買い上げ時に10種類のメッセージが入った内蔵音源がすでに登録されています。(168ページのメッセージ一覧を参照してください)
 また、お客様オリジナルのメッセージを登録することができます。(詳しくは設定支援ソフトの取扱説明書をお読みください)

書き込み作業

・業務用外部制御入力の放送先スピーカー回線No.を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	入出力設定メニュー画面を表示します。 [2] を押し、[確定] を押す 業務用外部制御入力No.設定画面が表示されます。		110ページ参照
3	業務用外部制御入力No.を入力する 【例】外部制御入力9を設定します。 [9] を押し、[確定] を押す 業務用外部制御入力設定メニュー画面が表示されます。		設定値の入力方法は21ページをお読みください
4	設定項目から放送先設定を選択する [2] を押し、[確定] を押す		
5	放送先スピーカー回線No.を設定する 【例】スピーカー回線No.7~No.8を設定します。 [取消] を押して表示値を消し、[7]、[.]、[8] を押したあと、[確定] を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	優先放送を設定する* 【例】優先放送ONを選択します。 [1] を押し、[確定] を押す		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の2~6を繰り返して、各業務用外部制御入力を設定します。

※優先放送を有効（「ON」設定）にすると、スピーカー回線のアッテネーター（音量調整器）の調整音量に関係なく最大音量で放送できます。アッテネーターが「OFF」のときでも最大音量で放送できます。（ただし、3線式配線の場合にかぎります。）

・業務用外部制御入力の業務放送における優先順位を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	入出力設定メニュー画面を表示します。 [2] を押し、 [確定] を押し 業務用外部制御入力No.設定画面が表示されます。		110ページ参照
3	業務用外部制御入力No.を入力する [1] 、 [0] を押し、 [確定] を押し 業務用外部制御入力設定メニュー画面が表示されます。		設定値の入力方法は21ページをお読みください
4	設定項目から放送先設定を選択する [3] を押し、 [確定] を押し		
5	優先順位を入力する [取消] を押して表示値を消し、 [5] を押し、 [確定] を押し [例] 優先順位5位に設定します。		設定値の入力方法は21ページをお読みください
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の2～5を繰り返して、各業務用外部制御入力を設定します。

書き込み作業

(3) リモコンマイク (WR-201/205A/210A、WU-RM205) の設定

リモコンマイク (WR-201/205A/210A、WU-RM205) の音声入力チャンネル、ブロックスイッチの放送先スピーカー回線No.および優先放送、一斉スイッチの優先放送を設定します。さらにリモコンマイク (WR-201/205A/210A、WU-RM205) の優先順位を設定します。

●リモコンマイク (WR-201/205A/210A、WU-RM205) 設定メニュー画面を表示します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	入出力設定メニュー画面を表示します [3] と [確定] を押す		110ページ参照
	リモコンマイク設定メニュー画面が表示されます。 ※リモコンマイクは液晶画面上、「一般RM」と表示されています。		

以降の表中の番号は、上記表の続きとしています。リモコンマイクの設定項目についてそれぞれ記述していますので、それぞれのページへお進みください。

・リモコンマイク (WR-201/205A/210A) の音声入力を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	リモコンマイク設定メニュー画面を表示します [1] を押し、 [確定] を押す		上表を参照
	音声入力チャンネル設定画面が表示されます ※入力マトリクスユニットがシステム構成にないときは、この操作は無効です		設定値の入力方法は21ページをお読みください
4	入力マトリクスユニットの入力チャンネルNo.を入力する 【例】入力CH2選択します [取消] を押して表示値を消し、 [2] を押し、 [確定] を押す		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。
	※システム構成に関係ない入力チャンネルは入力できません		



- リモコンマイクの音声を入力マトリクスユニットのCH2以降に接続した場合、リモコンマイクのコールサインスイッチは使用できなくなります。
- リモコンマイクの音声を入出力制御ユニット (WU-ER550) に接続した場合は、入力マトリクスユニットの入力チャンネルはCH1に設定してください。(入力マトリクスユニットがシステム構成にないときは、その必要はありません。)

・リモコンマイク（WR-201/205A/210A、WU-RM205）ーブロック選択スイッチの放送先スピーカー回線 No.を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	リモコンマイク設定メニュー画面を表示します。 [2]を押し、[確定]を押す ブロック選択スイッチの設定画面が表示されます。		120ページ参照
4	ブロック選択スイッチNo.を選択する 【例】ブロック選択スイッチNo.1を選択します。 [1]を押し、[確定]を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	放送先スピーカー回線番号を選択する 【例】スピーカー回線No.3~No.6を選択します。 [取消]を押して表示値を消し、 [3]、[]、[4]、[]、[5]、[]、[6]を押したあと、 [確定]を押す		
6	優先放送を設定する 【例】優先放送OFFを選択します。 [2]を押し、[確定]を押す		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の3~6を繰り返して、各ブロック選択スイッチを設定します。

※優先放送を有効（「ON」）にすると、スピーカー回線のアッテネーター（音量調整器）の音量調整に関係なく最大音量で放送できます。アッテネーターが「OFF」のときでも最大音量で放送できます。（ただし、3線式配線の場合にかぎります。）

・リモコンマイク（WR-201/205A/210A、WU-RM205）の優先順位を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	リモコンマイク設定メニュー画面を表示します。 [3]を押し、[確定]を押す 優先順位設定画面が表示されます。		120ページ参照
4	優先順位を入力する 【例】優先順位を3位に設定します。 [取消]、[3]を押し、[確定]を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください

書き込み作業

・リモコンマイク（WR-201/205A/210A、WU-RM205）――斉スイッチの優先放送を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	リモコンマイク設定メニュー画面を表示します。 [4]を押し、[確定]を押し ――斉スイッチ優先放送設定画面が表示されます。		120ページ参照
4	優先放送を設定する 【例】優先放送OFFを選択します。 [2]を押し、[確定]を押し		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※ 優先放送を有効（「ON」設定）にすると、スピーカー回線のアッテネーター（音量調整器）の音量調整に関係なく最大音量で放送できます。アッテネーターが「OFF」のときでも最大音量で放送できます。（ただし、3線式配線の場合にかぎりませう。）

(4) マルチリモコンマイク (WR-MC100A) の設定

マルチリモコンマイク (WR-MC100A) の音声、ブロックスイッチの放送先スピーカー回線No.および優先、一斉スイッチの優先を設定します。さらにマルチリモコンマイク (WR-MC100A) の優先順位を設定します。

●マルチリモコンマイク (WR-MC100A) のユニットNo.選択を行ってから、設定項目選択画面を表示します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	入出力設定メニュー画面を表示します。 4 を押し、 確定 を押す マルチリモコンマイクアドレス設定画面が表示されます。 ※ マルチリモコンマイクは液晶画面上、「マルチRM」と表示されています。		110ページ参照
3	マルチリモコンマイクのユニットNo.を入力する 1 を押し、 確定 を押す マルチリモコンマイク設定メニュー画面を表示させます。		設定値の入力方法は21ページをお読みください

以降の表中の番号は、上表の続きとしています。マルチリモコンマイクの設定項目についてそれぞれ記述していますので、それぞれのページへお進みください。

・マルチリモコンマイク (WR-MC100A) の音声入力を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
4	マルチリモコンマイク設定メニュー画面を表示します。 1 を押し、 確定 を押す マルチリモコンマイクの、入力マトリクスユニットの音声入力チャンネル設定画面が表示されます。 ※入力マトリクスがシステム構成にないときは、この操作は無効です。		上表を参照
5	入力チャンネルNo.を入力する 取消 を押して表示値を消し、 3 を押して、 確定 を押す ※システム構成にない入力チャンネルNo.は入力できません。		設定値の入力方法は21ページをお読みください
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の4～5を繰り返して、各マルチリモコンマイクを設定します。

- 重要**
- マルチリモコンマイクの音声を入出力制御ユニット (WU-ER550) に接続する場合、入力マトリクスユニットの入力チャンネルはCH1に設定してください。(入力マトリクスユニットがシステム構成にないときは、その必要はありません。)

書き込み作業

・マルチリモコンマイク (WR-MC100A) –ブロック選択スイッチの放送先スピーカー回線No.を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
4	マルチリモコンマイク設定メニュー画面を表示します。 [2]を押し、[確定]を押す ブロック選択スイッチ設定画面が表示されます。		123ページ参照
5	ブロック選択スイッチNo.を設定する 【例】ブロック選択スイッチNo.2を設定します。 [2]を押し、[確定]を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	放送先スピーカー回線番号を設定する 【例】スピーカー回線No.5～No.8を設定します。 [取消]を押して表示値を消し、 [5]、[]、[6]、[]、[7]、[]、[8]を押したあと、 [確定]を押す		
7	優先放送を設定する* 【例】優先放送OFFを選択します。 [2]を押し、[確定]を押す		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の4～7を繰り返して、各ブロック選択スイッチを設定します。

※優先放送を有効（「ON」設定）にすると、スピーカー回線のアッテネーター（音量調整器）の音量調整に関係なく最大音量で放送できます。アッテネーターが「OFF」のときでも最大音量で放送できます。（ただし、3線式配線の場合にかぎりませう。）

・マルチリモコンマイク (WR-MC100A) の優先順位を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
4	マルチリモコンマイク設定メニュー画面を表示します。 [3]を押し、[確定]を押す マルチリモコン優先順位設定画面が表示されます。		123ページ参照
5	優先順位を入力する 【例】優先順位を4位に設定します。 [取消]を押して表示値を消し、[4]を押して、 [確定]を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

・マルチリモコンマイク（WR-MC100A）一斉スイッチの優先放送を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
4	マルチリモコンマイク設定メニュー画面を表示します。 [4]を押し、[確定]を押し		123ページ参照
	マルチリモコンマイク一斉スイッチ優先放送選択画面が表示されます。		
5	優先放送を設定する 【例】優先放送OFFを選択します。 [2]を押し、[確定]を押し		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※優先放送を有効（「ON」設定）にすると、スピーカー回線のアッテネーター（音量調整器）の音量調整に関係なく最大音量で放送できます。アッテネーターが「OFF」のときでも最大音量で放送できます。（ただし、3線式配線の場合にかぎります。）

書き込み作業

(5) 非常リモコン (WR-EC500) の設定

非常リモコン (WR-EC500) の優先順位を設定します。

・非常リモコン (WR-EC500) のユニットNo.を選択し、各優先順位を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	<p>入出力設定メニュー画面を表示します。</p> <p>5 を押し、 確定 を押す</p> <p>非常リモコンアドレス設定画面が表示されます。</p>	<p><入出力設定> 5 非常RM 2 外部制御入力 3 一般RM 4 マルチRM 改画面→前次 / 選択終了→確定</p>	110ページ参照
3	<p>非常リモコンのユニットNo.を入力する</p> <p>【例】ユニットNo.1を選択します。</p> <p>1 を押し、 確定 を押す</p>	<p><非常RM> アドレス: ■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定</p>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
4	<p>優先順位を入力する</p> <p>【例】優先順位を9位に設定します。</p> <p>取消 を押して表示値を消し、 9 を押し、 確定 を押す</p>	<p><非常RM1> 優先順位(1-16): 9 (位) 選択→▲▼ / 入力終了→確定</p>	
		<p><非常RM> アドレス: ■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定</p>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

(6) チャイム起動の設定

チャイム起動放送の放送先スピーカー回線No.と優先放送を設定します。さらに優先順位を設定します。

・チャイム起動放送の放送先スピーカー回線No.を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	入出力設定メニュー画面を表示します。 [6]を押し、[確定]を押す チャイム起動の設定メニュー画面が表示されます。		110ページ参照
3	放送先設定を選択する [1]を押し、[確定]を押す		
4	放送先スピーカー回線No.を入力する 【例】スピーカー回線No.1～No.10を設定します。 [取消]を押して表示値を消し、 [1]、[.]、[2]、[.]、[3]、[.]、[4]、[.]、[5]、[.]、 [6]、[.]、[7]、[.]、[8]、[.]、[9]、[.]、[1]、[0] を押し、[確定]を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	優先放送を設定する* 【例】優先放送OFFを選択します。 [2]を押し、[確定]を押す		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※優先放送を有効（「ON」設定）にすると、スピーカー回線のアッテネーター（音量調整器）の音量調整に関係なく最大音量で放送できます。アッテネーターが「OFF」のときでも最大音量で放送できます。（ただし、3線式配線の場合にかぎりませう。）

書き込み作業

・チャイム起動の優先順位を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	<p>入出力設定メニュー画面を表示します。</p> <p>6を押し、確定を押し</p> <p>チャイム起動設定メニュー画面が表示されます。</p>	<p><入出力設定> 1 本体SW 2 外部制御入力 3 一般RM 4 マルチRM 改画面→前次 /選択終了→確定</p> <p>↓ 6</p> <p><入出力設定> 5 非常RM 6 チャイム起動 7 ページング 8 BGM 改画面→前次 /選択終了→確定</p> <p>↓ 確定</p>	110ページ参照
3	<p>優先順位設定を選択する</p> <p>2を押し、確定を押し</p>	<p><チャイム起動> 1 放送先設定 2 優先順位設定 移動→▶◀ /選択終了→確定</p> <p>↓ 2 確定</p>	
4	<p>優先順位を設定する</p> <p>【例】優先順位1位を設定します。</p> <p>取消を押して表示値を消し、1を押して、確定を押す</p>	<p><チャイム起動> 優先順位(1-16) : 0 (位) 選択→▲▼ /入力終了→確定</p> <p>↓ 取消 1 確定</p> <p><チャイム起動> 1 放送先設定 2 優先順位設定 移動→▶◀ /選択終了→確定</p>	<p>設定値の入力方法は21ページをお読みください</p> <p>設定値を保存する方法は66ページをお読みください。</p>

(7) ページング起動の設定

ページング起動の放送先スピーカー回線No.および優先放送を設定します。さらに優先順位を設定します。

・ページング起動の放送先スピーカー回線No.を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	<p>入出力設定メニュー画面を表示します。</p> <p>7 を押し、 確定 を押す</p> <p>ページング起動設定メニュー画面が表示されます。</p>	<p><入出力設定></p> <p>1 本体SW 2 外部制御入力</p> <p>3 一般RM 4 マルチRM</p> <p>改画面→前次 / 選択終了→確定</p> <p style="text-align: center;">↓ 7</p> <p><入出力設定></p> <p>5 非常RM 6 チャイム起動</p> <p>7 ページング 8 BGM</p> <p>改画面→前次 / 選択終了→確定</p> <p style="text-align: center;">↓ 確定</p>	110ページ参照
3	<p>放送先設定を選択する</p> <p>1 を押し、 確定 を押す</p>	<p><ページング起動></p> <p>1 放送先設定 2 優先順位設定</p> <p>移動→▶◀ / 選択終了→確定</p> <p style="text-align: center;">↓ 1 確定</p>	
4	<p>放送先スピーカー回線No.を入力する</p> <p>【例】スピーカー回線No.1～No.10を設定します。</p> <p>取消 を押して表示値を消し、</p> <p>1、,、2、,、3、,、4、,、5、,、6、,、7、,、8、,、9、,、1、0 を押し、 確定 を押す</p>	<p><ページング起動></p> <p>SP No : 21</p> <p>改画面→次 / 入力終了→確定</p> <p style="text-align: center;">↓ 取消 1 , 2 , 3 , 4 , 5 , 6</p> <p><ページング起動></p> <p>SP No : 1, 2, 3, 4, 5, 6</p> <p>改画面→次 / 入力終了→確定</p> <p style="text-align: center;">↓ , 7 , 8 , 9 , 10 確定</p>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	<p>優先放送を設定する</p> <p>【例】優先放送OFFを選択します。</p> <p>2 を押し、 確定 を押す</p>	<p><ページング起動></p> <p>優先放送設定</p> <p>1 ON 2 OFF</p> <p>移動→▶◀ / 選択終了→確定</p> <p style="text-align: center;">↓ 2 確定</p> <p><ページング起動></p> <p>1 放送先設定 2 優先順位設定</p> <p>移動→▶◀ / 選択終了→確定</p>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※優先放送を有効（「ON」設定）にすると、スピーカー回線のアッテネーター（音量調整器）の音量調整に関係なく最大音量で放送できます。アッテネーターが「OFF」のときでも最大音量で放送できます。（ただし、3線式配線の場合にかぎります。）

書き込み作業

・ペーシング起動の優先順位を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	入出力設定メニュー画面を表示します。 7 を押し、 確定 を押す ペーシング起動設定メニュー画面が表示されます。	<入出力設定> 1 本体SW 2 外部制御入力 3 一般RM 4 マルチRM 改画面→前次 / 選択終了→確定	110ページ参照
		↓ 7 <入出力設定> 5 非常RM 6 チャイム起動 7 ペーシング 8 BGM 改画面→前次 / 選択終了→確定	
3	優先順位設定を選択する 2 を押し、 確定 を押す	↓ 確定 <ペーシング起動> 1 放送先設定 2 優先順位設定 移動→▶◀ / 選択終了→確定	設定値の入力方法は21ページをお読みください
		↓ 2 確定 <ペーシング起動> 優先順位(1-16) : 0 (位) 選択→▶◀ / 入力終了→確定	
4	優先順位を設定する 【例】優先順位4位を設定します。 取消 を押して表示値を消し、 4 を押して、 確定 を押す	↓ 取消 4 確定 <ペーシング起動> 1 放送先設定 2 優先順位設定 移動→▶◀ / 選択終了→確定	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。
		<ペーシング起動> 1 放送先設定 2 優先順位設定 移動→▶◀ / 選択終了→確定	

(8) BGM起動の設定

BGM放送が単独で起動したときの、放送先スピーカー回線No.を設定します。

・ BGM起動の放送先スピーカー回線No.を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	<p>入出力設定メニュー画面を表示します。</p> <p>[8]を押し、[確定]を押す</p> <p>BGM起動の放送先スピーカー回線No.設定画面が表示されます。</p>	<p><入出力設定> 1 本体SW 2 外部制御入力 3 一般RM 4 マルチRM 改画面→前次 / 選択終了→確定</p> <p>↓ 8</p> <p><入出力設定> 5 非常RM 6 チャイム起動 7 ページング 8 BGM 改画面→前次 / 選択終了→確定</p> <p>↓ 確定</p>	110ページ参照
3	<p>放送先スピーカー回線No.を入力する</p> <p>【例】スピーカー回線No.1～No.5を設定します。</p> <p>[取消]を押して表示値を消し、 [1]、[.]、[2]、[.]、[3]、[.]、[4]、[.]、[5]、[.]を押 し、[確定]を押す</p>	<p><BGM 起動> SP No : 8 改画面→次 / 入力終了→確定</p> <p>↓ 取消 1 . 2 . 3 . 4 . 5 確定</p> <p><入出力設定> 1 本体SW 2 外部制御入力 3 一般RM 4 マルチRM 改画面→前次 / 選択終了→確定</p>	<p>設定値の入力方法は21ページをお読みください</p> <p>設定値を保存する方法は66ページをお読みください。</p>

スピーカー回線登録

入力マトリクスユニット（WU-MX544）の出力チャンネルにスピーカー回線No.を割り当てます。1つのスピーカー回線を複数の出力チャンネルに割り当ててはできません。入力マトリクスユニット（WU-MX544）→電力増幅ユニット→増設用出力制御ユニット（WU-ER551/552）の音声接続と合致した設定とします。この設定が合致しないと、音声スピーカーへ出力されません。

- ・スピーカー回線登録を行います。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。		65ページ参照
2	5 を押し、 確定 を押す スピーカー回線登録画面が表示されます。 ※システム構成に入力マトリクスチャンネル数が登録されていないときは、 5 を押しても選択されません。また画面にスピーカー回線登録が表示されません。		設定値の入力方法は21ページをお読みください
3	入力マトリクスユニットの音声出力チャンネルを入力する 【例】出力CH2を入力します。 2 を押し、 確定 を押す		
4	スピーカー回線No.を入力する 【例】スピーカー回線No.6～No.11を登録します。 6 、 , 、 7 、 , 、 8 、 , 、 9 、 , 、 1 、 0 、 , 、 1 、 1 を押し、 確定 を押す		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の3、4を繰り返して、各音声チャンネルを設定します。

その他の設定

その他の設定で、以下の機能を設定します。

(1) 状態出力の設定

(2) 汎用出力の設定

(1)、(2)の設定を行うと、本機の放送／起動状態を外部機器に出力できます。

(3) PCカードのデータ保存、読み出し

対象となるデータは、以下のとおりです

① 本機の放送／制御を設定する設定データ

② 非常放送および緊急・業務放送で使用する音源データ

(4) 最小構成設定

設定内容が分からなくなってしまった場合や、いったんお買い上げ時の構成から、設定をやり直したいときに行ってください。

(5) パスワード変更

書き込みモードに入るときに使用するパスワードを変更できます。

書き込み作業

(1) 状態出力の設定

入出力制御ユニット（WU-ER550）の出力接点を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。		65ページ参照
2	6 を押し、 確定 を押す その他の設定メニュー画面が表示されます。		
3	1 を押し、 確定 を押す 状態出力設定画面が表示されます。 ※状態出力接点が構成にない場合は、表示されません。		
4	状態出力接点No.を選択する 【例】接点No.1を入力します。 1 を押し、 確定 を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	状態を選択する <input type="checkbox"/> を押し、複数選択できます。 ▲ ▼ で選択し、 確定 を押す		状態項目の設定方法は23ページをお読みください。
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の3～5を繰り返して、すべての状態出力を設定します。



- 状態出力を設定するには、状態出力接点が必要です。システム構成で入出力制御ユニット（WU-ER550）の出力接点に状態出力を設定しなければ、本機能は表示されません。使用する場合は、システム構成の確認／設定で状態出力を設定してください。（→82ページ）



- 状態選択の設定値については、53ページを参照してください。

(2) 汎用出力の設定

入出力制御ユニット（WU-ER550）の出力接点を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。		65ページ参照
2	6 を押し、 確定 を押す その他の設定メニュー画面が表示されます。		
3	2 を押し、 確定 を押す 汎用出力設定画面が表示されます。 ※汎用出力接点が構成にない場合は、表示されません。		
4	汎用出力接点No.を選択する 【例】接点No.1を入力します。 1 を押し、 確定 を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	放送起動元を選択する [] を押し、複数選択できます。 [▲▼] で選択し、 確定 を押す		起動元の設定方法は23ページをお読みください。
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の3～5を繰り返して、すべての汎用出力を設定します

- 重要** ● 汎用出力を設定するには、汎用出力接点が必要です。システム構成で入出力制御ユニット（WU-ER550）の出力接点に汎用出力を設定しなければ、本機能は表示されません。（→82ページ）

- memo** ● 起動元選択の設定値については、53ページを参照してください。

書き込み作業

(3) PCカードの制御

本機のメモリーに記録する設定データ・音源データのPCカードからの保存。また、PCカードへの読み出しが
できます。

・設定データをPCカードから本機へ転送・保存します。

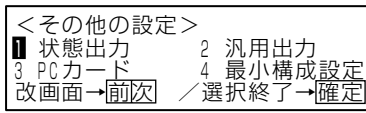
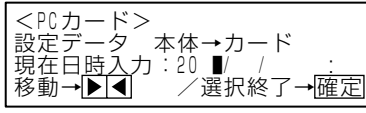
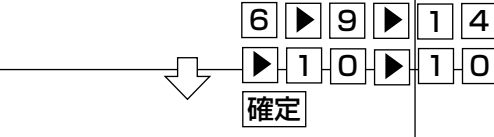
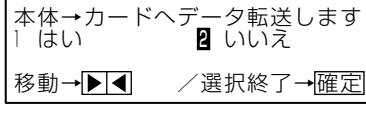

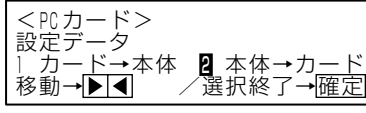
番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。		65ページ 参照
2	[6]を押し、[確定]を押す その他の設定メニュー画面が表示されます。		
3	[3]を押し、[確定]を押す PCカード対象データ選択画面が表示されます。		
4	設定データを選択する [1]を押し、[確定]を押す		
5	「カード→本体」を選択する [1]を押し、[確定]を押す		
6	保存するファイル名を選択する [▲][▼]で選択し、[確定]を押す		
7	転送・保存を開始する [1]を押し、[確定]を押す データ転送処理中は、液晶画面上を「**」が右に流れます。		

設定データ保存画面 (→66ページ) に切り換わります。



- PCカードのドライブ直下に置くファイル数は(フォルダー含む)は、35以下にしてください。36以上の場合、ファイルが認識できないことがあります。その場合は、新規にフォルダーを作成し、使用しないファイルをその中に移動してください。

・設定データを本機メモリーからPCカードへ転送・読み出します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。 [6]を押し、[確定]を押す	 <p>1 システム構成 2 非常放送 3 緊急放送 4 入出力設定 5 SP回線登録 6 その他の設定 改画面→前次 / 選択終了→[確定]</p>	65ページ参照
2	その他の設定メニューが表示されます。 [3]を押し、[確定]を押す	 <p><その他の設定> 1 状態出力 2 汎用出力 3 PCカード 4 最小構成設定 改画面→前次 / 選択終了→[確定]</p>	
3	PCカード対象選択データ選択画面が表示されます。 設定データを選択する [1]を押し、[確定]を押す	 <p><PCカード> 1 設定データ 2 本体階情報 3 ボード階情報 4 内蔵音源 移動→▶◀ / 選択終了→[確定]</p>	
4	「本体→カード」を選択する [2]を押し、[確定]を押す	 <p><PCカード> 設定データ 1 カード→本体 2 本体→カード 移動→▶◀ / 選択終了→[確定]</p>	
5	現在日時を入力する 【例】2006年9月14日10時10分を入力する。 [6]、[▶]、[9]、[▶]、[1]、[4]、[▶]、[1]、[0]、 [▶]、[1]、[0]、[確定]を押す ※入力する現在日時を、読み出すデータのファイル名として しています。できるだけ正確な日時を入力します。	 <p><PCカード> 設定データ 本体→カード 現在日時入力：20 / / : 移動→▶◀ / 選択終了→[確定]</p>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	本体からPCカードへの読み出しを開始する [1]を押し、[確定]を押す データ転送処理中は、液晶画面上を「**」が右に流れます。	 <p>6 ▶ 9 ▶ 1 4 ▶ 1 0 ▶ 1 0 [確定]</p>	
7	読み出し処理が終了すると、画面は出力選択画面に戻ります。	 <p>本体→カードへデータ転送します 1 はい 2 いいえ 移動→▶◀ / 選択終了→[確定]</p>	
		 <p><設定データ転送中> 本体→カード 0609141010 **</p>	
		 <p><PCカード> 設定データ 1 カード→本体 2 本体→カード 移動→▶◀ / 選択終了→[確定]</p>	

書き込み作業

・本体増設階情報データを、PCカードから本機へ転送・保存します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。		65ページ参照
2	その他の設定画面を表示する [6]を押し、[確定]を押し その他の設定メニュー画面が表示されます。		
3	[3]を押し、[確定]を押し PCカード対象データ選択画面が表示されます。		
4	本体増設階情報データを選択する [2]を押し、[確定]を押し		
5	「カード→本体」を選択する [1]を押し、[確定]を押し		
6	保存するファイル名を選択する [▲][▼]で選択し、[確定]を押し		
7	転送・保存を開始する [1]を押し、[確定]を押し データ転送処理中は、液晶画面上を「**」が右に流れます。	 	

自動的に再起動します。



●PCカードのドライブ直下に置くファイル数は（フォルダー含む）は、35以下にしてください。36以上の場合、ファイルが認識できないことがあります。その場合は、新規にフォルダーを作成し、使用しないファイルをその中に移動してください。

・本体増設階情報データを本機メモリーからPCカードへ転送・読み出します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。 [6]を押し、[確定]を押す		65ページ参照
2	その他の設定メニューが表示されます。 [3]を押し、[確定]を押す		
3	PCカード対象選択データ選択画面が表示されます。 本体階情報を選択する [2]を押し、[確定]を押す		
4	「本体→カード」を選択する [2]を押し、[確定]を押す		
5	現在日時を入力する 【例】2006年9月14日10時10分を入力する。 [6]、[▶]、[9]、[▶]、[1]、[4]、[▶]、[1]、[0]、 [▶]、[1]、[0]、[確定]を押す ※入力する現在日時を、読み出すデータのファイル名として しています。できるだけ正確な日時を入力します。		設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	本体からPCカードへの読み出しを開始する [1]を押し、[確定]を押す データ転送処理中は、液晶画面上を「**」が右に流れます。		
7	読み出し処理が終了すると、画面は出力選択画面に戻ります。		

書き込み作業

・増設ボード階情報データを、PCカードから本機へ転送・保存します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。		65ページ参照
2	6 を押し、 確定 を押す その他の設定メニュー画面が表示されます。		
3	3 を押し、 確定 を押す PCカード対象データ選択画面が表示されます。		
4	増設ボード増設階情報データを選択する 3 を押し、 確定 を押す		
5	「カード→本体」を選択する 1 を押し、 確定 を押す		
6	保存するファイル名を選択する ▲ ▼ で選択し、 確定 を押す		
7	転送・保存を開始する 1 を押し、 確定 を押す データ転送処理中は、液晶画面上を「**」が右に流れます。	 	

↓
自動的に再起動します。



- PCカードのドライブ直下に置くファイル数は（フォルダー含む）は、35以下にしてください。36以上の場合、ファイルが認識できないことがあります。その場合は、新規にフォルダーを作成し、使用しないファイルをその中に移動してください。

・増設ボード階情報データを本機メモリーからPCカードへ転送・読み出します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。 [6]を押し、[確定]を押す		65ページ参照
2	その他の設定メニューが表示されます。 [3]を押し、[確定]を押す		
3	PCカード対象選択データ選択画面が表示されます。 ボード階情報を選択する [3]を押し、[確定]を押す		
4	「本体→カード」を選択する [2]を押し、[確定]を押す		
5	現在日時を入力する 【例】2006年9月14日10時10分を入力する。 [6]、[▶]、[9]、[▶]、[1]、[4]、[▶]、[1]、[0]、 [▶]、[1]、[0]、[確定]を押す ※入力する現在日時を、読み出すデータのファイル名として しています。できるだけ正確な日時を入力します。		設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	本体からPCカードへの読み出しを開始する [1]を押し、[確定]を押す データ転送処理中は、液晶画面上を「**」が右に流れます。		
7	読み出し処理が終了すると、画面は出力選択画面に戻ります。		

書き込み作業

・内蔵音源データを、PCカードから本機へ転送・保存します。

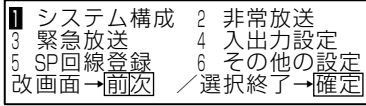
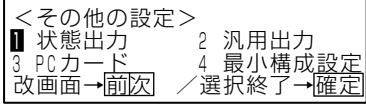
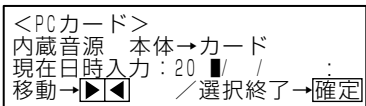
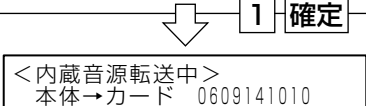
番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。		65ページ参照
2	6 を押し、 確定 を押す その他の設定メニュー画面が表示されます。		
3	3 を押し、 確定 を押す PCカード対象データ選択画面が表示されます。		
4	内蔵音源データを選択する 4 を押し、 確定 を押す	 	
5	「カード→本体」を選択する 1 を押し、 確定 を押す	 	
6	保存するファイル名を選択する ▲ ▼ で選択し、 確定 を押す	 	
7	転送・保存を開始する 1 を押し、 確定 を押す データ転送処理中は、液晶画面上を「**」が右に流れます。	 	

自動的に再起動します。



- PCカードのドライブ直下に置くファイル数は（フォルダー含む）は、35以下にしてください。36以上の場合、ファイルが認識できないことがあります。その場合は、新規にフォルダーを作成し、使用しないファイルをその中に移動してください。

・内蔵音源データを本機メモリーからPCカードへ転送・読み出します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。 [6]を押し、[確定]を押す	 <p>1 システム構成 2 非常放送 3 緊急放送 4 入出力設定 5 SP回線登録 6 その他の設定 改画面→前次 / 選択終了→確定</p>	65ページ参照
2	その他の設定メニューが表示されます。 [3]を押し、[確定]を押す	 <p><その他の設定> 1 状態出力 2 汎用出力 3 PCカード 4 最小構成設定 改画面→前次 / 選択終了→確定</p>	
3	PCカード対象選択データ選択画面が表示されます。 内蔵音源を選択する [4]を押し、[確定]を押す	 <p><PCカード> 1 設定データ 2 本体階情報 3 ボード階情報 4 内蔵音源 移動→▶◀ / 選択終了→確定</p>	
4	「本体→カード」を選択する [2]を押し、[確定]を押す	 <p><PCカード> 内蔵音源データ 1 カード→本体 2 本体→カード 移動→▶◀ / 選択終了→確定</p>	
5	現在日時を入力する 【例】2006年9月14日10時10分を入力する。 [6]、[▶]、[9]、[▶]、[1]、[4]、[▶]、[1]、[0]、 [▶]、[1]、[0]、[確定]を押す ※入力する現在日時を、読み出すデータのファイル名として しています。できるだけ正確な日時を入力します。	 <p><PCカード> 内蔵音源 本体→カード 現在日時入力：20 / / 移動→▶◀ / 選択終了→確定</p>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	本体からPCカードへの読み出しを開始する [1]を押し、[確定]を押す データ転送処理中は、液晶画面上を「**」が右に流れます。	 <p>本体→カードへデータ転送します 1 はい 2 いいえ 移動→▶◀ / 選択終了→確定</p>	
7	読み出し処理が終了すると、画面は出力選択画面に戻ります。	 <p><内蔵音源転送中> 本体→カード 0609141010 **</p>	
		 <p><PCカード> 内蔵音源データ 1 カード→本体 2 本体→カード 移動→▶◀ / 選択終了→確定</p>	

書き込み作業

(4) 最小構成設定

最小構成設定を行います。設定内容が分からなくなってしまった場合や、いったんお買い上げ時の構成から設定をやり直したいときに行ってください。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。		65ページ参照
2	6 を押し、 確定 を押し その他の設定メニュー画面が表示されます。		
3	4 を押し、 確定 を押し 最小構成設定画面が表示されます。		
4	最小構成設定を開始する 1 を押し、 確定 を押し 構成情報変更中は、液晶画面上を「**」が右に流れます。		

自動的に再起動します。



- 最小構成設定を実行すると、現在の構成情報はすべて失われます。ご注意ください。

(5) パスワードの変更

設定書き込み画面のパスワード設定を変更できます。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。		65ページ参照
2	6を押し、確定を押す その他の設定メニュー画面が表示されます。		
3	パスワード入力画面を表示する 5を押し、確定を押す パスワード入力画面が表示されます。		
4	パスワードを入力する 6けたの新パスワードを入力し、確定を押す 新しいパスワードは液晶画面上「*****」で表示されます。		設定値の入力方法は21ページをお読みください。
5	1を押し、確定を押す パスワードが変更されます。		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

動作履歴

本機の放送状態、異常状態の発生／復旧、各イベントの起動情報などの履歴を非常操作ユニット（WK-ER500）内部に保存しています。その情報を動作履歴として、書き込みで確認、初期化、PCカードへの保存ができます。動作履歴は保存できる上限数が決まっています。上限数は約12,000件で、これを超えた分は履歴から自動的に消去されます。

●動作履歴モードメニュー画面を表示します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。 [7]を押し、[確定]を押し	<p>1 システム構成 2 非常放送 3 緊急放送 4 入出力設定 5 SP回線登録 6 その他の設定 改画面→前次 / 選択終了→確定</p> <p>↓ [7]</p> <p>7 動作履歴 8 高度な設定 改画面→前次 / 選択終了→確定</p>	65ページ参照
	動作履歴モードメニュー画面が表示されます。	<p>↓ [確定]</p> <p>《動作履歴モード》 1 履歴表示 2 履歴初期化 3 PCカード保存 移動→▶◀ / 選択終了→確定</p>	

以降の表中の番号は、本ページの表の続きとしています。動作履歴の項目ごとに説明を記述していますので、それぞれのページへお進みください。

- (1) 履歴表示
- (2) 履歴初期化
- (3) PCカード保存



●本機には、絶対時間を持つ時計機能はありません。そのため、動作履歴に表示される時間は、あくまで目安となる時間になります。

(1) 履歴表示

本機に保存されている動作履歴を、液晶画面上で確認する機能です。

- ・動作履歴を確認します。

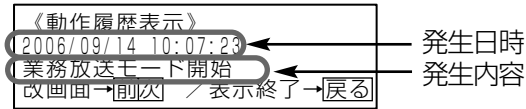
番号	操作	画面	備考
—	—		
2	動作履歴モードメニュー画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す		146ページ参照
			設定値の入力方法は21ページをお読みください
3	日時入力画面が表示されます。 現在日時を入力する 【例】2006年9月14日10時10分を入力します。 [6]、[▶]、[9]、[▶]、[1]、[4]、[▶]、[1]、[0]、 [▶]、[1]、[0]、[確定] を押す		
4	動作履歴画面が表示されます。 [前]、[次] で画面を切り替え、複数の履歴を確認できます。 動作履歴の確認が終了したら、[戻る] を押す 日時入力画面に戻ります。		

※ 日時の設定は、内部の時間と現在の日時を合わせるために必要です。

書き込み作業

●履歴表示画面の見方

表示例



・動作履歴一覧（一部）

No.	画面表示	意味
1	非常放送モード開始	非常放送の開始
2	緊急放送モード開始	緊急放送の開始
3	業務放送モード開始	業務放送の開始
4	書き込みモード開始	書き込みモードの開始
5	設定データ更新完了	システム設定データの更新完了
6	非常操作非常蓄電池点検完了	入出力制御ユニット接続の非常用蓄電池の点検が完了した
7	非常操作業務蓄電池点検完了	入出力制御ユニット接続の業務用蓄電池の点検が完了した
8	本体 非常起動SW	非常操作ユニットの非常起動スイッチが押下された
9	本体 非常復旧SW	非常操作ユニットの非常復旧スイッチが押下された
10	本体 火災放送SW	非常操作ユニットの火災放送スイッチが押下された
11	本体 非火災放送SW	非常操作ユニットの非火災放送スイッチが押下された
12	本体 緊急放送SW2	非常操作ユニットの緊急放送スイッチ2が押下された
13	本体 優先一斉SW	非常操作ユニットの優先一斉スイッチが押下された
14	本体 一般一斉SW	非常操作ユニットの一般一斉スイッチが押下された
15	本体 放送復旧SW	非常操作ユニットの放送復旧スイッチが押下された
16	本体 コールサイン上	非常操作ユニットのコールサインスイッチ1が押下された
17	本体 マイクSW ON	非常操作ユニットのマイクスイッチが「ON」された
18	本体 マイクSW OFF	非常操作ユニットのマイクスイッチが「OFF」された
19	本体 ブロッカー一斉05SW	非常操作ユニット接続の増設用操作ユニット5のブロックスイッチが押下された
20	本体 ブロック復旧05SW	非常操作ユニット接続の増設用操作ユニット5のブロック復旧スイッチが押下された
21	本体 感知器020受信 ON	階別信号No.20を受信した
22	本体 火災確認受信 ON	火災確認信号を受信した
23	本体 チャイム ON	チャイム起動端子がメイクされた
24	本体 BGM ON	BGM起動端子がメイクされた
25	本体 ページング ON	ページング起動端子がメイクされた
26	本体 外部制御002 ON	外部制御入力端子No.2がメイクされた
27	本体 停電起動 ON	停電起動端子がメイクされた
28	SP回線100 短絡異常	回線No.100のスピーカーが異常
29	SP回線100 短絡復旧	回線No.100のスピーカーの異常から復旧
30	非常RM3 通信異常	非常リモコンNo.3が通信異常発生
31	非常RM3 通信復旧	非常リモコンNo.3が通信異常から復旧
32	主電源電圧異常	本システムの主電源に異常が発生
33	主電源電圧復旧	本システムの主電源の異常復旧
34	非常操作 非常蓄電池異常	入出力制御ユニット接続の非常用蓄電池に異常発生
35	非常操作 非常蓄電池復旧	入出力制御ユニット接続の非常用蓄電池の異常復旧

(2) 履歴初期化

- ・動作履歴を消去します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	動作履歴モードメニュー画面を表示します。 [2] を押し、[確定] を押す	<p>《動作履歴モード》 1 履歴表示 2 履歴初期化 3 PCカード保存 移動→▶◀ / 選択終了→[確定]</p>	146ページ参照
3	動作履歴初期化確認画面が表示されます。 初期化を開始する [1] を押し、[確定] を押す	<p>《動作履歴初期化》 動作履歴を初期化します 1 はい 2 いいえ 移動→▶◀ / 選択終了→[確定]</p>	
4	初期化が終了すると、動作履歴モードメニュー画面にもどります。	<p><動作履歴初期化実行中> **</p>	



- 動作履歴の初期化を実行すると、現在までの動作履歴は全部消去され、復旧することはできません。

書き込み作業

(3) PCカード保存

・動作履歴をPCカードへ保存します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
2	動作履歴モードメニュー画面を表示します。 [3]を押し、[確定]を押す		146ページ参照
3	カード保存日時設定画面が表示されます。 現在日時を入力する 【例】2006年9月14日10時10分を入力します。 [6]、[▶]、[9]、[▶]、[1]、[4]、[▶]、[1]、[0]、 [▶]、[1]、[0]、[確定]を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
4	転送・保存を開始する [1]を押し、[確定]を押す		
5	PCカードへ動作履歴保存中は、動作履歴保存中画面が表示されます。 保存中は、液晶画面上を「**」が右に流れます。 保存が終了すると、動作履歴モードメニュー画面に戻ります。		



- PCカードのドライブ直下に置くファイル数は（フォルダー含む）は、35以下にしてください。36以上の場合、ファイルが認識できないことがあります。その場合は、新規にフォルダーを作成し、使用しないファイルをその中に移動してください。

高度な設定

高度な設定では、本機に搭載された新しい機能について設定します。

●高度な設定メニュー画面を表示します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
1	書き込みメニュー画面を表示します。 [8]を押し、[確定]を押す	<p>1 システム構成 2 非常放送 3 緊急放送 4 入出力設定 5 SP回線登録 6 その他の設定 改画面→前次 / 選択終了→確定</p> <p>↓ [8]</p> <p>7 動作履歴 8 高度な設定 改画面→前次 / 選択終了→確定</p> <p>↓ [確定]</p>	65ページ参照
2	高度な設定メニュー画面が表示されます。	<p><高度な設定> 1 拡張外部制御 2 グループ化 3 一斉SW 4 拡張汎用出力 改画面→前次 / 選択終了→確定</p>	

以降の表中の番号は、本ページの表の続きとしています。設定を行う放送起動元ごとに説明を記述していますので、それぞれのページへお進みください。

- (1) 拡張外部制御入力
- (2) グループ化
- (3) 一斉スイッチ
- (4) 拡張汎用出力
- (5) メッセージスイッチ
- (6) コールサイン
- (7) EMG24V個別

書き込み作業

(1) 拡張外部制御入力の設定

拡張外部制御入力は、システム構成で、拡張制御ユニット (WU-EX590)、非常制御出力ユニット (WU-EM552) の入力端子を拡張外部制御入力に設定した場合に使用できます。

拡張外部制御入力には、緊急放送用と業務放送用があり、緊急放送／業務放送の共用はできません。

拡張外部制御入力接点の音声、放送先スピーカー回線No.および優先放送を設定します。さらに優先順位を設定します。

業務用拡張外部制御入力は、放送する音声として以下から選択できます。

音声

- ・非常操作ユニット (WK-ER500) に接続するライン1~4
- ・非常操作ユニット (WK-ER500) にあらかじめ内蔵した内蔵音源1~10 (1回のみ再生／繰り返し再生を選択可能)
- ・入力マトリクスユニット (WU-MX544) に接続する入力CH2以降の音声

緊急用拡張外部制御入力は、放送する音声として以下から選択できます。

音声

- ・非常操作ユニット (WK-ER500) に接続するライン2
 - ・非常操作ユニット (WK-ER500) にあらかじめ内蔵した内蔵音源1~10 (1回のみ再生／繰り返し再生を選択可能)
- ※緊急放送では、入力マトリクスユニット (WU-MX544) の入力チャンネルはCH1に固定になります。

●拡張外部制御入力

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	高度な設定メニュー画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す		151ページ参照
4	拡張外部制御入力の接点No.を入力する 【例】拡張外部制御入力No.5を設定します。 [5] を押して、[確定] を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	拡張外部制御入力・緊急／業務選択画面が表示されます。		

以降の表中の番号は、本ページの表の続きとしています。設定を行う項目ごとに説明を記述していますので、それぞれのページへお進みください。

・業務用外部制御入力の音声として本体ライン入力を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	拡張外部制御入力・緊急／業務選択画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す		152ページ参照
7	業務用拡張制御入力設定メニュー画面が表示されます。 [1] を押し、[確定] を押す		
8	マトリクスユニットの音声入力チャンネルを設定する [1] を押し、[確定] を押す ※非常操作ユニットに接続する音声（ライン1～4）を設定する場合は、音声入力はCH1設定に限定されます。		設定値の入力方法は21ページをお読みください
9	音声としてライン入力を選択する [1] を押し、[確定] を押す		
10	放送するライン入力No.を設定する 【例】ライン3を設定します。 [取消] を押して表示値を消し、[3] を押し、[確定] を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

● 緊急用に設定している拡張外部制御入力を上記No6で業務放送を選択し、[確定] を押した時点で、緊急用に設定したデータは消去されます。ご注意ください。

書き込み作業

・業務用拡張外部制御入力の音声として内蔵音源を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	拡張外部制御入力・緊急／業務選択画面を表示します。 1を押し、 確定 を押す		152ページ参照
7	業務用拡張制御入力設定メニュー画面が表示されます。 1を押し、 確定 を押す		
8	マトリクスユニットの音声入力チャンネルを設定する 1を押し、 確定 を押す ※内蔵音源を選択する場合は、音声入力はCH1に限定されます。		設定値の入力方法は21ページをお読みください
9	音声として内蔵音源を選択する 2を押し、 確定 を押す		
10	放送する内蔵音源のメッセージNo.を設定する 【例】メッセージ5を設定します。 5を押し、 確定 を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
11	再生方式を選択する 【例】繰り返し再生を選択します。 2を押し、 確定 を押す		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。



●本機には、お買い上げ時に10種類のメッセージが入った内蔵音源がすでに登録されています。(168ページのメッセージ一覧を参照してください)

また、お客様オリジナルのメッセージを登録することができます。(詳しくは設定支援ソフトの取扱説明書をお読みください)

・業務用拡張外部制御入力の放送先スピーカー回線No.を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	拡張外部制御入力・緊急／業務選択画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す	<p><拡張外部制御入力5 > 放送選択 1 業務放送 2 緊急放送 移動→▶◀ / 選択終了→[確定]</p> <p>↓ [1] [確定]</p>	152ページ参照
7	業務用拡張制御入力設定メニュー画面が表示されます。 [2] を押し、[確定] を押す	<p><業務拡張外部制御5 > 1 音声入力CH 2 放送先設定 3 優先順位設定 移動→▶◀ / 選択終了→[確定]</p> <p>↓ [2] [確定]</p>	
8	放送先スピーカー回線No.を設定する 【例】スピーカー回線No.7～No.8を設定します。 [取消] を押して表示値を消し、[7]、[.]、[8] を押したあと、[確定] を押す	<p><業務拡張外部制御5 > SPNo: 6 移動→▶◀ / 入力終了→[確定]</p> <p>[取消]</p> <p>↓ [7]、[.]、[8] [確定]</p>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
9	優先放送を設定する* 【例】優先放送ONを選択します。 [1] を押し、[確定] を押す	<p><業務拡張外部制御5 > 優先放送設定 1 ON 2 OFF 移動→▶◀ / 選択終了→[確定]</p> <p>↓ [1] [確定]</p> <p><業務拡張外部制御5 > 1 音声入力CH 2 放送先設定 3 優先順位設定 移動→▶◀ / 選択終了→[確定]</p>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

※優先放送を有効（「ON」設定）にすると、スピーカー回線のアッテネーター（音量調整器）の調整音量に関係なく最大音量で放送できます。アッテネーターが「OFF」のときでも最大音量で放送できます。（ただし、3線式配線の場合にかぎります。）

書き込み作業

・業務用拡張外部制御入力の業務放送における優先順位を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	拡張外部制御入力・緊急／業務選択画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す		152ページ参照
7	業務用拡張制御入力設定メニュー画面が表示されます。 [3] を押し、[確定] を押す		
8	優先順位を設定する 【例】優先順位を5位に設定します。 [取消] を押して表示値を消し、[5] を押し、[確定] を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

・緊急用外部制御入力の音声として本体ライン入力を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	拡張外部制御入力・緊急／業務選択画面を表示します。 [2] を押し、[確定] を押す		152ページ参照
7	緊急用拡張制御入力設定メニュー画面が表示されます。 [1] を押し、[確定] を押す		
8	音声としてライン入力を選択する [1] を押し、[確定] を押す ※緊急放送で使用できるラインは、ライン2限定になります。		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。



・業務用に設定している拡張外部制御入力を緊急用に上書き設定すると、業務用に設定したデータは消去されます。ご注意ください。

・緊急用拡張外部制御入力の音声として内蔵音源を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	拡張外部制御入力・緊急／業務選択画面を表示します。 [2]を押し、[確定]を押し		152ページ参照
7	緊急用拡張制御入力設定メニュー画面が表示されます。 [1]を押し、[確定]を押し		
8	音声として内蔵音源を選択する [2]を押し、[確定]を押し		
9	放送する内蔵音源のメッセージNo.を設定する 【例】メッセージ4を設定します。 [4]を押し、[確定]を押し		設定値の入力方法は21ページをお読みください
10	再生方式を選択する 【例】繰り返し再生を選択します。 [2]を押し、[確定]を押し		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

- 業務用に設定している拡張外部制御入力を、上記No6で緊急放送を選択し、[確定]を押しした時点で、業務用に設定したデータは消去されます。ご注意ください。
- 本機には、お買い上げ時に10種類のメッセージが入った内蔵音源がすでに登録されています。(168ページのメッセージ一覧を参照してください)
- また、お客様オリジナルのメッセージを登録することができます。(詳しくは設定支援ソフトの取扱説明書をお読みください)

書き込み作業

・緊急用拡張外部制御入力の放送先スピーカー回線No.を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	拡張外部制御入力・緊急/業務選択画面を表示します。 [2]を押し、[確定]を押し		152ページ参照
7	緊急用拡張制御入力設定メニュー画面が表示されます。 [2]を押し、[確定]を押し		
8	放送先スピーカー回線No.を設定する 【例】スピーカー回線No.7~No.8を設定します。 [取消]を押して表示値を消し、[7]、[.]、[8]を 押したあと、[確定]を押し		設定値の入力方法は21ページをお読みください
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

・緊急用拡張外部制御入力の緊急放送における優先順位を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	拡張外部制御入力・緊急/業務選択画面を表示します。 [2]を押し、[確定]を押し		152ページ参照
7	緊急用拡張制御入力設定メニュー画面が表示されます。 [3]を押し、[確定]を押し		
8	優先順位を設定する 【例】優先順位を5位に設定します。 [取消]を押して表示値を消し、[5]を押し、[確定] を押し		設定値の入力方法は21ページをお読みください
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

(2) グループ化

業務放送用の外部制御入力と拡張外部制御入力に対して、グループ化を設定できます。グループ化とは、複数の外部制御入力／拡張外部制御入力を1つの集合体にするもので、その機能は以下のとおりです。

- 音声** : **グループ単位**
グループ内のどの外部制御入力／拡張外部制御入力をメイクしても、同一音声が発動します。
- 優先順位** : **グループ単位**
グループ内の複数の外部制御入力／拡張外部制御入力をメイクして放送している場合、他機器（優先順位が上位または同順位）の放送が起動したら、放送権が他機器に取られ、他機器の放送終了後、グループでの放送が再開されます。
- 放送先** : **外部制御入力単位**（外部制御入力／拡張外部制御入力設定で設定した放送先をそのまま継承）
複数の外部制御入力／拡張外部制御入力をメイクした場合、それぞれの外部制御入力／拡張外部制御入力を持つ放送先が加算されて放送されます。
- 優先放送** : **外部制御入力単位**（外部制御入力／拡張外部制御入力設定で設定した優先放送をそのまま継承）
それぞれの外部制御入力／拡張外部制御入力を持つ放送先に、それぞれの持つ設定で優先放送がされます。
- 汎用出力** : **外部制御入力単位**
汎用出力に外部制御入力／拡張外部制御入力を設定した場合、グループ化に影響されず、外部制御入力／拡張外部制御入力のそれぞれの設定で動作します。

●グループ設定メニュー画面を表示します。

番号	操作	画面	備考
3	高度な設定メニュー画面を表示します。 [2]を押し、[確定]を押す		151ページ参照
4	グループNo.を入力する 【例】グループNo.6を設定します。 [6]を押して、[確定]を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	グループ設定メニュー画面が表示されます。		

以降の表中の番号は、本ページの表の続きとしています。設定を行う項目ごとに説明を記述していますので、それぞれのページへお進みください。

書き込み作業

・外部制御入力をグループに登録します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	グループ設定メニュー画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <外部制御グループ6 > 1 グループ作成 2 グループ解除 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">1 [確定]</div>	159ページ参照
7	外部制御No.を選択する [1] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <外部制御グループ6 > 1 外部制御No 2 拡張外部No 3 音声入力CH 4 優先順位設定 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">1 [確定]</div>	
8	グループに登録する外部制御入力No.をすべて設定する 【例】外部制御入力No.2~No.3を設定します。 [2]、[]、[3] を押したあと、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <外部制御グループ6 > 外部制御入力No : ■ </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">2, 3 [確定]</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <外部制御グループ6 > 1 外部制御No 2 拡張外部No 3 音声入力CH 4 優先順位設定 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > 1 外部制御No 2 拡張外部No 3 音声入力CH 4 優先順位設定 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

・拡張外部制御入力をグループに登録します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	グループ設定メニュー画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <外部制御グループ6 > 1 グループ作成 2 グループ解除 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">1 [確定]</div>	159ページ参照
7	拡張外部No.を選択する [2] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <外部制御グループ6 > 1 外部制御No 2 拡張外部No 3 音声入力CH 4 優先順位設定 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">2 [確定]</div>	
8	グループに登録する外部制御入力No.をすべて設定する 【例】拡張外部制御入力No.20~No.21を設定します。 [2]、[0]、[]、[2]、[1] を押したあと、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <外部制御グループ6 > 拡張外部制御No : ■ </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: right; margin-right: 20px;">20, 21 [確定]</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <外部制御グループ6 > 1 外部制御No 2 拡張外部No 3 音声入力CH 4 優先順位設定 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > 1 外部制御No 2 拡張外部No 3 音声入力CH 4 優先順位設定 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

・グループの音声として本体ライン入力を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	グループ設定メニュー画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > 1 グループ作成 2 グループ解除 移動→▶◀ / 選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓ [1] [確定]</div>	159ページ参照
7	音声入力CHを選択する [3] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > 1 外部制御No 2 拡張外部No 3 音声入力CH 4 優先順位設定 移動→▶◀ / 選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓ [3] [確定]</div>	
8	マトリクスユニットの音声入力チャンネルを設定する [取消] を押して表示値を消し、[1] を押し、[確定] を押す ※非常操作ユニットに接続する音声（ライン1～4）を設定する場合は、音声入力はCH1設定に限定されます。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > 音声入力CH： 2 </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓ [取消] [1] [確定]</div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
9	音声としてライン入力を選択する [1] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > 音声選択 1 ライン入力 2 内蔵音源 移動→▶◀ / 選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓ [1] [確定]</div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
10	放送するライン入力No.を設定する 【例】ライン4を設定します。 [4] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > ライン入力設定 ライン入力： 1 </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓ [4] [確定]</div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > 1 外部制御No 2 拡張外部No 3 音声入力CH 4 優先順位設定 移動→▶◀ / 選択終了→[確定] </div>	

書き込み作業

・グループの音声として内蔵音源を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	グループ設定メニュー画面を表示します。 ①を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > ① グループ作成 ② グループ解除 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ① 確定 </div>	159ページ参照
7	音声入力CHを選択する ③を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > ① 外部制御No ② 拡張外部No ③ 音声入力CH ④ 優先順位設定 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ③ 確定 </div>	
8	マトリクスユニットの音声入力チャンネルを設定する ①を押し、 確定 を押す ※内蔵音源を選択する場合は、音声入力はCH1に限定されます。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > 音声入力CH： ② </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ① 確定 </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
9	音声として内蔵音源を選択する ②を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > 音声選択 ① ライン入力 ② 内蔵音源 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ② 確定 </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
10	放送する内蔵音源のメッセージNo.を設定する 【例】メッセージ5を設定します。 ⑤を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > 内蔵音源 メッセージNo： ⑤ </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ⑤ 確定 </div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
11	再生方式を選択する 【例】繰り返し再生を選択します。 ②を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6 > メッセージ再生方式 ① 1回再生 ② 繰り返し再生 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ② 確定 </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。



- 本機には、お買い上げ時に10種類のメッセージが入った内蔵音源がすでに登録されています。(168ページのメッセージ一覧を参照してください)
また、お客様オリジナルのメッセージを登録することができます。(詳しくは設定支援ソフトの取扱説明書をお読みください)

・グループの業務放送における優先順位を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	グループ設定メニュー画面を表示します。 [1] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6.> 1 グループ作成 2 グループ解除 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓ [1] [確定]</div>	159ページ参照
7	優先順位設定を選択する [4] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6.> 1 外部制御No 2 拡張外部No 3 音声入力CH 4 優先順位設定 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓ [4] [確定]</div>	
8	優先順位を設定する 【例】優先順位を3位に設定します。 [取消] を押して表示値を消し、[3] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6.> 優先順位(1-16) : 9 (位) 選択→▲▼ / 入力終了→[確定] </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓ [取消] [3] [確定]</div>	設定値の入力方法は21ページをお読みください
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6.> 1 外部制御No 2 拡張外部No 3 音声入力CH 4 優先順位設定 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

・グループの解除を行います。

番号	操作	画面	備考
—	—		
6	グループ設定メニュー画面を表示します。 [2] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6.> 1 グループ作成 2 グループ解除 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓ [2] [確定]</div>	159ページ参照
7	グループの解除を開始する [1] を押し、[確定] を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ6.> グループ6 を解除します 1 はい 2 いいえ 移動→▶◀◀ / 選択終了→[確定] </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">↓ [1] [確定]</div>	
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <外部制御グループ設定> グループNo : ■ </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

書き込み作業

(3) 一斉スイッチ

非常操作ユニット（WK-ER500）の一斉スイッチ（優先一斉スイッチ、一般一斉スイッチ）は、非常操作ユニット（WK-ER500）と非常操作ユニット（WK-ER500）に接続される増設用操作ユニット（WK-EX510/520、WR-EX510/520）がもつ、全非常選択スイッチの放送先を、一回のスイッチ操作で指定するものです。

非常リモコン（WR-EC500）、マルチリモコンマイク（WR-MC100A）、リモコンマイク（WR-201/205A/210A）の一斉スイッチも、お買い上げ時は非常操作ユニット（WK-ER500）の一斉スイッチと同じ、放送先を指定するように設定されていて、それを「全一斉」と呼びます。それに対し、自身のユニットが持つ全スイッチの放送先を一斉スイッチの放送先にする設定を「実装一斉」と呼びます。

書き込みの一斉スイッチの設定では、この「全一斉」と「実装一斉」を設定します。

- ・非常リモコン（WR-EC500）の一斉スイッチの設定を行います。
 - 「全一斉」：非常操作ユニット（WK-ER500）の一斉スイッチと同じ放送先
 - 「実装一斉」：自身のユニットとそれに接続されている増設用操作ユニット（WK-EX510/520、WR-EX510/520）の全非常選択スイッチの放送先

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	高度な設定メニュー画面を表示します。 [3] を押し、[確定] を押す	<高度な設定> 1 拡張外部制御 2 グループ化 3 一斉SW 4 拡張汎用出力 改画面→前次 / 選択終了→確定	151ページ参照
		↓ [3] 確定	
4	一斉スイッチ設定メニュー画面が表示されます。 [1] を押し、[確定] を押す	<一斉SW> 1 非常RM 2 マルチRM 3 一般RM 移動→▶◀ / 選択終了→確定	
		↓ [1] 確定	
5	設定する非常リモコンのアドレスを設定する 【例】非常リモコン2を設定します。 [2] を押し、[確定] を押す	<非常RM> アドレス： ■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定	設定値の入力方法は21ページをお読みください
		↓ [2] 確定	
6	全一斉または、実装一斉を選択する 【例】実装一斉を選択します。 [2] を押し、[確定] を押す	<非常RM2 > 一斉SW放送先選択 1 全一斉 2 実装一斉 移動→▶◀ / 選択終了→確定	
		↓ [2] 確定	
		<非常RM> アドレス： ■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の5、6を繰り返して、各非常リモコンの一斉スイッチを設定します。

- ・マルチリモコンマイク (WR-MC100A) の一斉スイッチを設定します。
 「全一斉」 : 非常操作ユニット (WK-ER500) の一斉スイッチと同じ放送先
 「実装一斉」 : 自身のユニットの全ブロックスイッチの放送先

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	高度な設定メニュー画面を表示します。 [3]を押し、[確定]を押し		151ページ参照
4	一斉スイッチ設定メニュー画面が表示されます。 [2]を押し、[確定]を押し		
5	設定するマルチリモコンマイクのアドレスを設定する 【例】マルチリモコンマイク4を設定します。 [4]を押し、[確定]を押し ※マルチリモコンマイクは液晶画面上は、「マルチRM」と表示されます。		設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	全一斉または、実装一斉を選択する 【例】全一斉を選択します。 [1]を押し、[確定]を押し		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の5、6を繰り返して、各マルチリモコンマイクの一斉スイッチを設定します

書き込み作業

- ・リモコンマイク (WR-201/205A/210A) の一斉スイッチを設定します。
 「全一斉」 : 非常操作ユニット (WK-ER500) の一斉スイッチと同じ放送先
 「実装一斉」 : リモコンマイク (WR-201/205A/210A) の全ブロックスイッチの放送先

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	高度な設定メニュー画面を表示します。 3 を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <高度な設定> 1 拡張外部制御 2 グループ化 3 一斉SW 4 拡張汎用出力 改画面→前次 / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> ↓ 3 確定 </div>	151ページ参照
4	一斉スイッチ設定メニュー画面が表示されます。 3 を押し、 確定 を押す ※リモコンマイクは液晶画面上は、「一般RM」と表示されます。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <一斉SW> 1 非常RM 2 マルチRM 3 一般RM 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> ↓ 3 確定 </div>	
5	全一斉または、実装一斉を選択する 【例】実装一斉を選択します。 2 を押し、 確定 を押す	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <一般RM> 音声入力1 一斉SW放送先選択 1 全一斉 2 実装一斉 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 5px;"> ↓ 2 確定 </div>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <一斉SW> 1 非常RM 2 マルチRM 3 一般RM 移動→▶◀ / 選択終了→確定 </div>	

(4) 拡張汎用出力

拡張汎用出力は、放送起動元を指定し、その放送起動により放送されている間、拡張汎用出力を有効（出力端子をメイク）にする機能です。選択できる放送起動元の詳細は、55ページをお読みください。また、1つの拡張汎用出力には、複数の放送起動元を設定できます。

拡張汎用出力は、システム構成で、拡張制御ユニット（WU-EX590）を設定した場合に使用できます。

- ・ 拡張汎用出力放送起動元を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	高度な設定メニュー画面を表示します。 [4]を押し、[確定]を押し		151ページ参照
4	拡張汎用出力No.を設定する 【例】拡張汎用出力No.12を設定します。 [1]、[2]を押し、[確定]を押し		
5	放送起動元を選択する [.]を押すと、複数選択できます。 [▲] [▼]で選択し、[確定]を押し		起動元の入力方法は23ページをお読みください
			設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の4、5を繰り返して、各拡張汎用出力の放送起動元を設定します。



- 起動元選択の設定値については、55ページを参照してください。

書き込み作業

(5) メッセージスイッチ

メッセージスイッチは、業務放送時に手動操作でメッセージ放送をする場合に使用するスイッチです。メッセージスイッチには、あらかじめ内蔵音源を設定することで、メッセージスイッチを押したときに、指定のメッセージを放送できます。

本機には、お買い上げ時に10種類のメッセージが入った内蔵音源がすでに登録されています。書き込みのメッセージスイッチの設定では、各スイッチに設定する内蔵音源を決定します。

(内蔵音源は、設定支援ソフトを使って、お客様オリジナルのメッセージを使用することも可能です。詳しくは、設定支援ソフトの取扱説明書をお読みください。)

メッセージスイッチは、システム構成で、増設用操作ユニット (WK-EX520、WR-EX520) に音源/汎用スイッチを設定した場合に使用できます。

- ・各メッセージスイッチに内蔵音源を設定します。

番号	操作	画面	備考
3	高度な設定メニュー画面を表示します。 5 を押し、 確定 を押す	<高度な設定> 1 拡張外部制御 2 グループ化 3 一斉SW 4 拡張汎用出力 改画面→前次 / 選択終了→確定	151ページ参照
		↓ 5 <高度な設定> 5 メッセージSW 6 コールサイン 7 EMG24V個別 改画面→前次 / 選択終了→確定	
4	メッセージスイッチNo.を設定する 【例】メッセージスイッチNo.6を設定します。 6 を押し、 確定 を押す	<メッセージSW> メッセージSWNo: ■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定	設定値の入力方法は21ページをお読みください
		↓ 6 確定 <メッセージSW6 > 内蔵音源 メッセージNo: ■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定	
5	設定する内蔵音源を選択する 【例】内蔵音源No.2を設定します。 2 を押し、 確定 を押す	↓ 2 確定 <メッセージSW6 > メッセージ再生方式 1 1回再生 2 繰り返し再生 移動→▶◀ / 選択終了→確定	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。
		↓ 2 確定 <メッセージSW > メッセージSWNo: ■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定	

上表の4~6を繰り返して、各メッセージスイッチの内蔵音源を設定します。

お買い上げ時に登録されているメッセージ一覧

No.	内容	時間	No.	内容	時間
1	訓練火災1:ウー (サイレン音約5秒)	約 5秒	6	ガス漏れ:4音 ガス漏れ警報機が作動しました…	約10秒
2	訓練火災2:ウー 訓練火災発生!…	約13秒	7	閉館放送:上り4音 本日はご来場ありがとうございました…	約23秒
3	地震放送:5音 ただいま地震が発生しました…	約11秒	8	蛍の光 (ワンコーラス)	約61秒
4	セキュリティ:防犯警報音 侵入者がいます…	約10秒	9	省エネ放送:上り4音 不要な照明を消して、省エネルギーに…	約18秒
5	停電放送:4音 ただいま停電が発生しております…	約11秒	10	チャイム:ウエストミンスターの鐘	約32秒

(6) コールサイン

非常操作ユニット (WK-ER500)、全非常リモコン (WR-EC500)、全マルチリモコンマイク (WR-MC100A)、リモコンマイク (WR-201/205A/210A)、ページングのコールサインの音源は、お買い上げ時「標準上り4音」「標準下り4音」が設定されています。

各ユニットのコールサインスイッチは、スイッチごとに任意のコールサインを設定できます。

本機には、お買い上げ時に標準のコールサインのほかに6種類のコールサイン音源がすでに登録されています。

書き込みのコールサインの設定では、コールサイン起動元ごとに設定するコールサイン音源を決定します。

(コールサイン音源は、設定支援ソフトを使って、お客様オリジナルのコールサインを使用できます。詳しくは、設定支援ソフトの取扱説明書をお読みください。)

登録されている内蔵コールサイン音源

音源No.	音源名	音源No.	音源名
音源1	1音	音源4	5音2回 (地震放送に使用している音源)
音源2	下り2音	音源5	4音1回 (停電放送に使用している音源)
音源3	上り2音	音源6	4音2回 (ガス漏れ放送に使用している音源)

・非常操作ユニット (WK-ER500) のコールサインスイッチのコールサイン音源を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	高度な設定メニュー画面を表示します。 [6] を押し、[確定] を押す	<高度な設定> 1 拡張外部制御 2 グループ化 3 一斉SW 4 拡張汎用出力 改画面→前次 / 選択終了→確定 ↓ [6] <高度な設定> 5 メッセージ W 6 コールサイン 7 EMG24V個別 改画面→前次 / 選択終了→確定	151ページ参照
4	[1] を押し、[確定] を押す	<コールサイン> 1 非常操作 2 ページング 3 非常RM 4 マルチRM 改画面→前次 / 選択終了→確定 ↓ [1] 確定	
5	設定するコールサインスイッチを選択する 【例】SW1を選択します。 [1] を押し、[確定] を押す	<非常操作> コールサインSW選択 1 SW1 2 SW2 移動→▶◀ / 選択終了→確定 ↓ [1] 確定	
6	コールサイン音源No.を選択する [次] [前] で画面を切り替え、8種類の音源から目的の音源を選択します。 【例】音源3を選択します。 [5] を押し、[確定] を押す	<非常操作-コールサイン1> 1 標準上り4音 2 標準下り4音 3 音源1 4 音源2 改画面→前次 / 選択終了→確定 ↓ [5] <非常操作-コールサイン1> 6 音源3 6 音源4 7 音源5 8 音源6 改画面→前次 / 選択終了→確定 ↓ 確定	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の5、6を繰り返して、コールサインスイッチ2のコールサイン音源を設定します。

書き込み作業

・ページング放送のコールサインを設定します。

ページング放送では、放送の開始時と終了時にコールサインを自動鳴動させることができます。コールサインを使用しない場合は、コールサイン「なし」に設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	高度な設定メニュー画面を表示します。 [6] を押し、[確定] を押す	<高度な設定> 1 拡張外部制御 2 グループ化 3 一斉SW 4 拡張汎用出力 改画面→[前次] / 選択終了→[確定]	151ページ参照
		↓ [6] <高度な設定> 5 メッセージSW 6 コールサイン 7 EMG24V個別 改画面→[前次] / 選択終了→[確定]	
4	コールサイン設定起動元メニュー画面が表示されます。 [2] を押し、[確定] を押す	<コールサイン> 1 非常操作 2 ページング 3 非常RM 4 マルチRM 改画面→[前次] / 選択終了→[確定]	
		↓ [2] [確定]	
5	設定するコールサインスイッチを選択する 【例】放送開始時を選択します。 [1] を押し、[確定] を押す	<ページング> コールサイン起動方法 1 放送開始時 2 放送終了時 移動→▶◀ / 選択終了→[確定]	
		↓ [1] [確定]	
6	コールサイン音源No.を選択する [次] [前] で画面を切り替え、9種類の音源から目的の音源を選択します。 【例】音源2を選択します。 [5] を押し、[確定] を押す ※No.3「なし」を設定すると、ページング放送開始時にコールサインは鳴動しません。	<ページング開始コールサイン> 1 標準上り4音 2 標準下り4音 3 なし 4 音源1 改画面→[前次] / 選択終了→[確定]	
		↓ [5]	
		<ページング開始コールサイン> 6 音源2 6 音源3 7 音源4 8 音源5 改画面→[前次] / 選択終了→[確定]	
		↓ [確定]	
		<非常操作> コールサインSW選択 1 SW1 2 SW2 移動→▶◀ / 選択終了→[確定]	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の5、6を繰り返して、放送終了時のコールサイン音源を設定します。

・非常リモコン（WR-EC500）のコールサインスイッチのコールサイン音源を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	高度な設定メニュー画面を表示します。 [6] を押し、[確定] を押す	<高度な設定> 1 拡張外部制御 2 グループ化 3 一斉SW 4 拡張汎用出力 改画面→前次 / 選択終了→確定 ↓ [6]	151ページ参照
4	コールサイン設定起動元メニュー画面が表示されます。 [3] を押し、[確定] を押す	<高度な設定> 5 メッセージSW 6 コールサイン 7 EMG24V個別 改画面→前次 / 選択終了→確定 ↓ [確定]	
5	非常リモコンのアドレスを設定する 【例】非常リモコンアドレス2を設定します。 [2] を押し、[確定] を押す	<コールサイン> 1 非常操作 2 ページング 3 非常RM 4 マル手RM 改画面→前次 / 選択終了→確定 ↓ [3] [確定]	設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	設定するコールサインスイッチを選択する 【例】SW1を選択します。 [1] を押し、[確定] を押す	<非常RM> アドレス: ■ 選択→▲▼ / 入力終了→確定 ↓ [2] [確定]	
7	コールサイン音源No.を選択する [次] [前] で画面を切り替え、8種類の音源から目的の音源を選択します。 【例】音源5を選択します。 [7] を押し、[確定] を押す	<非常RM2 - コールサイン1> 1 SW1 2 SW2 移動→▶◀ / 選択終了→確定 ↓ [1] [確定]	
		<非常RM2 - コールサイン1> 1 標準上り4音 2 標準下り4音 3 音源1 4 音源2 改画面→前次 / 選択終了→確定 ↓ [7]	
		<非常RM2 - コールサイン1> 6 音源3 6 音源4 7 音源5 8 音源6 改画面→前次 / 選択終了→確定 ↓ [確定]	
		<非常RM2 - コールサイン1> 1 SW1 2 SW2 移動→▶◀ / 選択終了→確定	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の5～7を繰り返して、各非常リモコンのコールサイン音源を設定します。

書き込み作業

・マルチリモコンマイク (WR-MC100A) のコールサインスイッチのコールサイン音源を設定します。

マルチリモコンマイク (WR-MC100A) のコールサインスイッチは、非常操作ユニット (WK-ER500) 内のコールサイン音源を鳴動させる場合と、マルチリモコンマイク (WR-MC100A) に内蔵されている音源を自身で鳴動させる場合があります。マルチリモコンマイク (WR-MC100A) 内蔵のコールサイン音を使用する場合は、「RM音源」を選択します。

また、マルチリモコンマイク (WR-MC100A) のライン出力音声を入力マトリクスユニット (WU-MX544) のCH2以降に接続する場合は、「RM音源」を選択します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	高度な設定メニュー画面を表示します。 [6] を押し、[確定] を押す	<高度な設定> 1 拡張外部制御 2 グループ化 3 一斉SW 4 拡張汎用出力 改画面→[前次] / 選択終了→[確定]	151ページ参照
4	コールサイン設定起動元メニュー画面が表示されます。 [4] を押し、[確定] を押す	<高度な設定> 5 メッセージSW 6 コールサイン 7 EMG24V個別 改画面→[前次] / 選択終了→[確定]	
5	マルチリモコンマイクのアドレスを設定する 【例】マルチリモコンマイクアドレス3を設定します。 [3] を押し、[確定] を押す	<コールサイン> 1 非常操作 2 ページング 3 非常RM 4 マルチRM 改画面→[前次] / 選択終了→[確定]	設定値の入力方法は21ページをお読みください
6	設定するコールサインスイッチを選択する 【例】上りを選択します。 [1] を押し、[確定] を押す	<マルチRMコールサイン> アドレス: ■ 選択→[▲▼] / 入力終了→[確定]	
7	コールサイン音源No.を選択する [次] [前] で画面を切り替え、9種類の音源から目的の音源を選択します。 【例】音源6を選択します。 [9] を押し、[確定] を押す	<マルチRM3 - コールサイン> コールサインSW選択 1 上り 2 下り 移動→[▶◀] / 選択終了→[確定]	
		<マルチRM3 コールサイン上り> 1 標準上り4音 2 標準下り4音 3 RM音源 4 音源1 改画面→[前次] / 選択終了→[確定]	
		<マルチRM3 コールサイン上り> 9 音源6 改画面→[前次] / 選択終了→[確定]	
		<マルチRM3 - コールサイン> コールサインSW選択 1 上り 2 下り 移動→[▶◀] / 選択終了→[確定]	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の5～7を繰り返して、各マルチリモコンマイクのコールサイン音源を設定します。

・リモコンマイク (WR-201/205A/210A) のコールサインスイッチのコールサイン音源を設定します。

リモコンマイク (WR-201/205A/210A) のコールサインスイッチは、非常操作ユニット (WK-ER500) 内のコールサイン音源を鳴動させています。リモコンマイク (WR-201/205A/210A) のライン出力音声を入力マトリクスユニット (WU-MX544) のCH2以降に接続する場合は、コールサインを鳴動させることができません。ご注意ください。

番号	操作	画面	備考
3	<p>高度な設定メニュー画面を表示します。</p> <p>6 を押し、 確定 を押す</p>	<p><高度な設定> 1 拡張外部制御 2 グループ化 3 一斉SW 4 拡張汎用出力 改画面→前次 / 選択終了→確定</p> <p style="text-align: center;">↓ 6</p> <p><高度な設定> 5 メッセージSW 6 コールサイン 7 EMG24V個別 改画面→前次 / 選択終了→確定</p> <p style="text-align: center;">↓ 確定</p>	151ページ参照
4	<p>コールサイン設定起動元メニュー画面が表示されます。</p> <p>5 を押し、 確定 を押す</p> <p>※リモコンマイクは、液晶画面上は「一般RM」と表示されます。</p>	<p><コールサイン> 1 非常操作 2 ページング 3 非常RM 4 マルチRM 改画面→前次 / 選択終了→確定</p> <p style="text-align: center;">↓ 5</p> <p><コールサイン> 6 一般RM 改画面→前次 / 選択終了→確定</p> <p style="text-align: center;">↓ 確定</p>	
5	<p>設定するコールサインスイッチを選択する</p> <p>【例】上りを選択します。</p> <p>1 を押し、 確定 を押す</p>	<p><一般RM> コールサインSW選択 1 上り 2 下り 移動→▶◀ / 選択終了→確定</p> <p style="text-align: center;">↓ 1 確定</p>	
6	<p>コールサイン音源No.を選択する</p> <p>次 前 で画面を切り替え、8種類の音源から目的の音源を選択します。</p> <p>【例】音源6を選択します。</p> <p>8 を押し、 確定 を押す</p>	<p><一般RM - コールサイン上り> 1 標準上り4音 2 標準下り4音 3 音源1 4 音源2 改画面→前次 / 選択終了→確定</p> <p style="text-align: center;">↓ 8</p> <p><一般RM - コールサイン上り> 5 音源3 6 音源4 7 音源5 8 音源6 改画面→前次 / 選択終了→確定</p> <p style="text-align: center;">↓ 確定</p>	設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の5、6を繰り返して、コールサインスイッチ下りのコールサイン音源を設定します。

書き込み作業

(7) EMG24V個別ブレイク制御

EMG24V個別ブレイク制御は、システム構成で、非常制御出力ユニット（WU-EM552）を設定した場合に使用できます。（86ページ）

EMG24V個別ブレイク制御は、非常放送、緊急放送時に設定したスピーカー回線の「ON」制御に合わせて、EMG24V個別ブレイク端子がブレイク動作をする機能です。

書き込みのEMG24V個別制御設定では、各EMG24V個別ブレイク端子にその制御対象となるスピーカー回線を設定します。さらに、緊急放送時での使用の有無を設定します。

番号	操作	画面	備考
—	—		
3	高度な設定メニュー画面を表示します。 [7] を押し、[確定] を押す		151ページ参照
4	設定するEMG24V個別ブレイク端子No.を設定する 【例】端子No.14を設定します。 [1]、[4] を押し、[確定] を押す		設定値の入力方法は21ページをお読みください
5	制御対象となるスピーカー回線No.を設定する 【例】スピーカー回線No.5～No.6を設定します。 [取消] を押して表示値を消し、[5]、[、]、[6] を押したあと、[確定] を押す		
6	緊急放送時有効選択画面が表示されます。 有効/無効を選択する 【例】緊急放送時有効にします。 [1] を押し、[確定] を押す		設定値を保存する方法は66ページをお読みください。

上表の4～6を繰り返して、各EMG24V個別ブレイク端子の設定を行います。

注意喚起画面一覧

本機では、操作結果が正しく反映できないときに、操作が無効であることを通知する「注意喚起画面」を表示することがあります。システムの構成や接続を確認のうえ、再度操作をやり直します。

番号	画面	原因・対処	備考
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><範囲外入力> 設定値を確認して下さい 表示終了→取消</p> </div>	<p>入力した値が、設定情報・構成情報に含まれていません。</p> <p>取消 を押し、左記画面を消去したあと、▲ ▼ を押し入力できる数値の範囲を確認してから、再度入力します。</p>	
2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><転送失敗> データ転送に失敗しました 表示終了→取消</p> </div>	<p>PCカードからのデータの転送・保存 または PCカードへのデータの転送・読み出しに失敗しました。</p> <p>以下の内容を確認します。</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCカードは正しく装着されているか？ <p><転送・保存></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCカードに正しいデータが入っているか？ <p><転送・読み出し></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCカードに十分な空き容量はあるか？ ・ PCカードのルートフォルダーに多数のファイルがないか？（35以下にします。） 	
3	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><PCカード認識失敗> PCカードを 正しく挿入してください 表示終了→戻る</p> </div>	<p>非常操作ユニット内PCカードスロットにPCカードが装着されていないか、または正しく装着されてません。</p> <p>以下の内容を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PCカードを再度、PCカードスロットに挿入しなおしてください。 	

設定表

非常用放送設備（出火階・連動階設定表）

●は出火階を、○は連動階を示します。

階	スイッチ名称	階別信号		階情報		スイッチNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
		No.	回線名称	No.	音声																						
		1		1		1																					
		2		2		2																					
		3		3		3																					
		4		4		4																					
		5		5		5																					
		6		6		6																					
		7		7		7																					
		8		8		8																					
		9		9		9																					
		10		10		10																					
		11		11		11																					
		12		12		12																					
		13		13		13																					
		14		14		14																					
		15		15		15																					
		16		16		16																					
		17		17		17																					
		18		18		18																					
		19		19		19																					
		20		20		20																					


非常用放送設備 (入出力設定表)

		S P 回 線																																				
スイッチ種別	ユニット	階	スイッチ名称	スイッチ No.	音源入力CH	優先順位	アンテナター	回路名称	回路番号																													
									1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20										
入カマトリクス 音声出力CH 増設用出力制御ユニット		1							スピーカー回線種別W数																													
非常選択スイッチ	非常操作本体			1																																		
緊急	本体			2																																		
チャイム ページング BGM	入出力制御			3																																		
	入出力制御			1																																		
	入出力制御			1																																		
外部制御入力	入出力制御			2																																		
				3																																		
				4																																		
				5																																		
				6																																		
				7																																		
				8																																		
				9																																		
				10																																		
		一般リモコン	入出力制御			1																																
				2																																		
				3																																		
				4																																		
				5																																		
				6																																		
				7																																		
				8																																		
				9																																		
				10																																		

メモ

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル  **0120-878-410** パナハ ヨイフ 受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは <https://sec.panasonic.biz/solution/info/>

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくために、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WL-8000, WL-8500
	販売店名	電話（ ） —				

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687 東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

3TR004528DAA
ASe1206-3010